2019 年度スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト・ビジネスパーソン向け国民運動

(地方自治体におけるスポーツ実施率向上のための基盤構築)

事業報告書

令和2年3月

株式会社 日本総合研究所

2019 年度スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト・ビジネスパーソン向け国民運動 (地方自治体におけるスポーツ実施率向上のための基盤構築)

事業報告書

目次

本事業の目的	1
第1章 アンケート調査項目の概要	
1. アンケート調査項目の考え方	2
2. 地域住民を対象としたアンケート調査項目	4
3. 行政担当者を対象としたアンケート調査項目	6
第2章 調査票	8
1. 地域住民を対象としたアンケート調査票	8
2. 行政担当者を対象としたアンケート調査票	14
第3章 モデル調査の実施	20
1. モデル調査の実施方法	20
2. A 自治体の調査結果概要	21
3. B 自治体の調査結果概要	59
4. モデル調査から得られた示唆	96
第4章 本事業の成果と課題	97

(参考資料1) 地域住民を対象としたアンケート調査票

(参考資料2) 行政担当者を対象としたアンケート調査票

本事業の目的

我が国の国民医療費が約42兆円に達し、その削減が喫緊の課題である中、スポーツ参画人口の拡大を図り、スポーツを通じた健康増進や疾病予防により、健康寿命を平均寿命に近づけていく社会の実現が求められている。

ビジネスパーソンを中心として、国民が生涯にわたって、できるだけ長い期間スポーツに親しみながら、健康的な生活を送るためには、様々なアプローチが必要となるが、生活の基盤となる地方自治体によるスポーツ活動を推進する施策の策定や環境整備等、運動・スポーツ習慣の定着を図るムーブメント創出に向けた取組を実施することが不可欠である。

そのためには、それぞれの地方自治体における課題を分析し「地方スポーツ推進計画」等に反映していくことが必要であるが、独自に課題の抽出・分析を行い、対応を実施できている地方自治体は少ない。また、保健福祉・介護予防部局とスポーツ推進部局との連携が取れていないことも課題である。

このため、地域住民の運動・スポーツ参加に関する特徴及び課題を把握するアンケート調査を実施するための調査項目等の検討を行い、地方自治体におけるモデル調査(2自治体)による検証を経て、調査票を作成した。

第1章 アンケート調査項目の概要

1. アンケート調査項目の考え方

前述の通り、地域住民の運動・スポーツ習慣の定着に向けて、生活の基盤となる地方自治体が、それぞれの課題を分析し、「地方スポーツ推進計画」等に反映していくことなどが必要であるものの、独自に課題の抽出・分析を実施できている地方自治体はまだまだ少ない。

本事業では、地方自治体がスポーツ推進に向けた課題の抽出・分析に取り組む後押しをすることを 目的に、地域住民の運動・スポーツ参加に関する特徴及び課題を把握するためのアンケート調査を実 施するためのアンケート調査項目(地域住民を対象としたアンケート調査項目)を策定した。

なお、「地方スポーツ推進計画」等に反映していくためには、自治体内の住民のスポーツ実施状況等について把握、分析するとともに、住民のスポーツ実施に影響を与えると想定される要因(公園などインフラ整備状況やサークルなど市民の活動状況など)を把握することが必要であると思われるため、スポーツ推進部局の担当者が保健福祉・介護予防部局等とも連携しながら把握しておくべき項目(行政担当者を対象とした調査項目)についても取りまとめた。

なお、アンケート調査項目の作成に当たっては、既存の自治体のスポーツ推進計画や、そのベース となっている住民向けアンケート調査項目などを参考とし、有識者(大学教員)への意見聴取を行い ながらとりまとめを行った。

前記の通り、既存の自治体のスポーツ推進計画や、そのベースとなっている住民向けアンケート調査項目などを整理するとともに、有識者(大学教員)の意見を参考にしながら、地方自治体がアンケート調査で把握すべき内容の大枠を整理した。

把握すべき調査項目としては、「住民のスポーツ実施に影響を与える要因」、「住民によるスポーツの 実施状況」、「スポーツ推進による効果」の3つの視点で整理を行った。

「住民のスポーツ実施に影響を与える要因」としては、住民の運動・スポーツへの印象(実施理由・未実施理由など)、地域の運動・スポーツ環境(スポーツクラブ、サークル、指導者へのアクセス)、 行政サービスの利用可能性(施設、事業、情報)の3点から整理した。また、子供、高齢者・障がい者ならでの要因についても特記的に項目を設けている。

「住民によるスポーツの実施状況」については、「する」、「みる」、「ささえる」スポーツの実施状況 に加えて、一日の歩行時間など日常の身体活動量を把握するための項目も含めている。

「スポーツ実施による効果」については、住民の健康状態を把握するものと、自治体内の医療・介護の提供状況(要介護認定者数、要介護認定率)を把握するための項目を含めた。

これらの項目については、地域住民を対象としたアンケート調査で把握すべき項目と行政担当者を 対象としたアンケート調査で把握すべき項目にわけて整理している。

調査項目の全体像は次ページに示した図表の通り。

図表 1 調査項目の全体像

大項目	地域住民を対象とした	行政担当者を対象とした
	アンケート調査項目	アンケート調査項目
スポーツ実施率に影響		
運動・スポーツへの 印象について	・ 運動・スポーツへの好き・嫌い・ スポーツの未実施理由	-
運動・スポーツ環境 について	 ・ スポーツクラブ、スポーツサークルへの参加 状況、参加意向 ・ 地域のスポーツイベントへの参加状況、参加 意向 ・ スポーツ指導者へのニーズ ・ スポーツを実施する場所 ・ 各家庭の支出のスポーツ実施に占める割合 ・ 職場におけるスポーツの実施状況 	・遊歩道の整備状況・検診の受診率・運動型健康増進施設の数・スポーツ指導者の数
行政サービスの利 用について	・ スポーツ施設の利用状況、認知度、要望 ・ スポーツ事業の利用状況、認知度、要望	・ スポーツ大会の主催、共催数、参加者数 ・ スポーツ施設の数、スポーツ施設の利用状況 ・ 自治体による健康教室、運動プログラムの実 施回数、利用者数
子供について	・ スポーツ少年団、総合型の認知度、利用状況・ 子供の運動・スポーツ実施環境に関するニーズ	・ 体力・運動能力調査の結果・ 児童公園の数・ 各学校における児童数・ 総合型、少年団への参加児童数
高齢者・障がい者に ついて	・ 高齢者の社会参加の状況・ 介護予防事業などへの参加状況	・ 介護予防教室の数、利用者数 ・ 障害者対応のスポーツ施設の数、指導員数
スポーツ実施率・実施	意向	
「する」スポーツの実施状況	・ この1年間に実施したスポーツ・ スポーツの実施頻度・ 今後実施したいスポーツ	-
「する」スポーツ以 外での身体活動量	・一日の歩行時間	-
「みる」スポーツの 実施状況	・ 観戦したスポーツ・ スポーツ観戦の実施頻度	-
「ささえる」スポー ツの実施状況	スポーツボランティア活動等の実施内容スポーツボランティア活動等の実施頻度	-
スポーツ実施による効	 果	
健康	・運動不足感、健康状態について	-
医療・介護	-	要介護・要介護認定率要支援・要介護認定者回復率(悪化率)介護保険の自治体負担分地域における「がん」の罹患率
基本情報		
基本情報(追加)	・ 年齢・性別・ 職業・ 家族構成・ 世帯年収・ 居住地区	・年少人口、生産年齢人口、老年人口・面積・人口集中地区面積、人口

2. 地域住民を対象としたアンケート調査項目

上図表に示した調査項目の全体像に則り、地域住民を対象としたアンケート調査項目を作成した。

基本情報(職業や家族構成、年収等の区分)と運動・スポーツの実施状況については、特に各地域におけるスポーツ実施率について、スポーツ庁の実施する「スポーツの実施状況等に関する世論調査」との比較分析が可能なように、基本的には世論調査の調査項目に準拠させることとした。なお、市区町村内でも、居住しているエリアによってスポーツの実施環境は大きく異なることが予期されることから、回答者が居住する地域区分についても調査項目に含めている。また、行政サービスについては、自治体ごとの状況を把握するために、自治体が保有する主なスポーツ施設やスポーツ関連事業について意見を聴取するようにしている(自治体ごとに選択肢が異なる。)。

地域住民を対象としたアンケート調査項目は下図表の通り。

図表 2 地域住民を対象としたアンケート調査項目

	調査目的		調査項目	備考		
		Q1	あなたの年齢・性別についてお答えください。			
		Q2	あなたの職業をお答えください。	世論調査の調査項目 に準拠。		
		Q3	あなたの体の状況について(障がいの有無、運動の可否)をお答 えください。	世論調査の調査項目 に準拠。		
1	基本情報	Q4	あなたが現在一緒に住んでいるご家族をお答えください。	世論調査の調査項目 を一部改変。		
		Q5	世帯年収(生計を一にする家族全員の収入の合算)は、去年1年間で、およそどれくらいになりましたか。	世論調査の調査項目 に準拠。		
		Q6	あなたがお住まいの地域をお答えください。	自治体ごとに選択肢 (地域名)が異なる。		
2	身体状況(健康、日	Q7	あなたは、自分の生活が充実していると思いますか。この中から 1つお答えください。			
	常生活)	Q8	あなたの1日あたりの平均歩数はどのくらいですか。この中から 1つお答えください。※1,000歩=10分程度です。			
	運動・スポ ーツの実 施状況		Q	Q9	この中にあなたがこの1年間に行った運動やスポーツがあれば 全部あげてください(学校の体育の授業として行ったものや,職 業として行ったものは除きます)。	世論調査の調査項目に準拠。
		Q10	この1年間に運動やスポーツを実施した日数を全部合わせると、 何日くらいになりますか。この中から1つだけお答えください。	世論調査の調査項目 に準拠。		
		Q11	運動・スポーツをすることが好きですか。この中から1つだけお答えください。			
3		Q12	運動・スポーツが嫌いではないにも関わらず、この1年間に、あなたが運動・スポーツをなかなか実施できなかったのはどのような理由からですか。(3つまで)	世論調査の調査項目 を一部改変。		
		Q13	今後あなたが行いたいと思う運動・スポーツ (現在行っている運動・スポーツも含めて) があればあげてください。	世論調査の調査項目 に準拠。		
		Q14	あなたはご自身が実施する運動・スポーツのために1年間にいく ら程度費用をかけていますか(飲料・サプリメント代等は含みませ ん)。	世論調査の調査項目 に準拠。		

	調査目的		調査項目	備考	
		Q15	あなたは、現在、スポーツ団体、運動やスポーツに関する同好会、 サークル等へ加入していますか。また、どのようなスポーツ団体 等があれば加入したいと思いますか。		
	運動・スポ	Q16	この1年間に、どのようなスポーツイベント、大会に参加しましたか。また、どのようなスポーツイベント、大会であれば参加したいと思いますか。		
4	ーツの実 施環境	Q17	普段、運動・スポーツの指導やサポート (リーダー的な存在として運動・スポーツに一緒に取り組んでくれる人も含む)を受けていますか。また、自分の身の周りにどのような運動・スポーツ指導者 (サポートしてくれる人) がいれば、指導を受けてみたいと思いますか。		
		Q18	企業・団体にお勤めの方にお聞きします。あなたの職場では、従 業員の運動・スポーツ実施を支援するような取組が実施されてい ますか。		
		Q19	次の施設の中で知っているものを全てお答えください。またその 中で利用したことがあるものを全てお答えください。	自治体ごとに選択肢 (施設名) が異なる。	
5	行政サー	Q20	公共のスポーツ施設に改善を望むことはなんですか。		
	ビス	ビス	Q21	次の事業(教室、セミナー等)の中で知っているものを全てお答えください。その中で利用、参加したことがあるものを全てお答えください。	自治体ごとに選択肢 (事業名)が異なる。
6	子供の運 動・スポー	Q22	小学生以下の子供と同居している方にお聞きします。お子様は定期的に運動・スポーツを実施していますか。どのような場(少年団、総合型など)で実施していますか。		
	ツ実施	Q23	どのような環境が整えば (クラブ、施設、指導者など)、子供に 運動・スポーツを実施させたいと思いますか。		
7	高齢者の 運動・スポ	Q24	あなたが定期的に実施している活動(趣味、町内会活動、老人クラブなど)はありますか。		
	ーツ実施	Q25	行政などが提供している介護予防事業などに継続的に参加して いますか。		
	スポーツ	Q26	あなたは、この1年間にスポーツを観戦したことがありますか。 観戦した種目をこの中からいくつでもお選びください。	世論調査の調査項目 に準拠しています。	
8	8 観戦	Q27	スポーツを観戦した日数を全部合わせると、1年間に何日くらいになりますか。現地での観戦、テレビ・インターネットでの観戦、 それぞれについてお答えください。		
9	スポーツ 9 ボランテ ィア	Q28	あなたは、この1年間に運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたかしたか。参加した活動をこの中からいくつでもお選びください。	世論調査の調査項目に準拠しています。	
		Q29	この1年間にスポーツに関するボランティア活動などに参加し た日を全部合わせると、何日くらいになりますか。		

3. 行政担当者を対象としたアンケート調査項目

地域住民を対象としたアンケート調査項目と同様にして、上記の図表に示した調査項目の全体像に則り、行政担当者を対象としたアンケート調査項目を作成した。

地域におけるスポーツの推進には、健康福祉や介護予防などの施策と連携した取組が不可欠である。 従って、行政担当者を対象としたアンケート調査項目には、調査結果を「地方スポーツ推進計画」等に 反映していくに当たり、スポーツ推進部局の担当者が保健福祉・介護予防部局等とも連携しながら、把 握していただくことが望ましい項目を盛り込んでいる(全ての自治体が確実に揃えられる情報以外のも のも含んだ調査項目としている。)。また、地域住民を対象としたアンケート調査項目と同様に、市町村 内でも、居住しているエリアによってスポーツの実施環境は大きく異なることが予期されることから、 可能な限り地域区分ごとの情報を把握できるような調査項目としている。

上記のような趣旨に鑑み、「運動・スポーツ実施環境」としては、遊歩道など体を動かすための環境が どの程度整っているか、検診の受診率や運動型健康増進施設数など健康を意識して運動する機会や場所 がどの程度整っているかを把握していただけるような項目としている。

続いて、「運動・スポーツに関する行政の施策」としては、行政によるスポーツイベントの実施状況やスポーツ施設の運営状況に加えて、スポーツイベントとしては健康教室等を含めた事業の実施状況、施設としては学校開放などの利用可能性について、把握していただけるような項目としている。

また、「子供の運動・スポーツ実施状況」としては、運動習慣やスポーツクラブ・少年団などにおける活動状況などの基本的な情報に加え、児童公園など身近に体を動かすための環境がどの程度整備されているかを把握していただけるような項目としている。

さらに、「高齢者や障がい者の運動・スポーツ実施状況」としては、高齢者については行政が提供している介護予防事業の実施状況、障がい者については利用可能なスポーツ施設数や指導員数などの基本的な事項を把握していただけるような項目としている。

最後に、「住民の運動・スポーツ推進による効果」については、要支援・要介護認定者数や改善状況、 介護保険の自治体負担額や医療費など、運動・スポーツ推進による具体的な効果の一つとして、健康増 進や介護予防の面での成果について把握していただけるような項目を入れている。これらの調査項目は、 経年で把握することにより、「スポーツ推進計画」等に基づく施策の実施効果を分析してもらうことを意 図したものである。

行政担当者を対象としたアンケート調査項目は下図表の通り。

図表 3 行政担当者を対象としたアンケート調査項目

	四次 3 11 以担当名を対象としたチング 「嗣且使日 細木日析						
	調査目的		調査項目				
		Q1-1	名称について、お答えください。				
1	1 基本情報	Q1-2	人口規模・面積について、お答えください。(行政区ごとにお答えください。)				
	<u> </u>	Q1-3	人口集中地区の面積・人口について、お答えください。(行政区ごとにお答えくだ さい。)				
		Q2-1	自治体内の遊歩道の整備距離ついて、お答えください。				
	運動・スポーツ	Q2-2	検診の受診率について、お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)				
2	実施環境	Q2-3	運動型健康増進施設(厚生労働省が認定した施設) の施設数について、お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)				
		Q2-4	スポーツ指導者数(居住者)について、お答えください。(可能であれば、行政区 ごとにお答えください。)				
		Q3-1	昨年度、主催したスポーツイベントの回数について、お答えください。また、可能 であれば、それらのイベントへの延べ参加者数をお答えください。				
2	運動・スポーツ	Q3-2	公共スポーツ施設数、及びそれらの施設の昨年度利用者数について、お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)				
3	3 に関する行政の施策	Q3-3	自治体が提供している健康教室や運動プログラムの実施回数、利用人数について、 お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)				
		Q3-4	公立学校体育施設の開放施設数について、お答えください。(可能であれば、行政 区ごとにお答えください。)				
		Q4-1	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点 (自治体平均) について、お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)				
4	子供の運動・ス ポーツ実施状	Q4-2	児童公園の数について、お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)				
	況	Q4-3	小中学校の児童・生徒数について、お答えください。また、その中で総合型スポーツクラブや少年団に所属している児童・生徒数について、お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)				
5	高齢者や障が い者の運動・ス	Q5-1	自治体が提供している介護予防のための教室数(プログラム数)、及びその利用人数について、お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)				
	3 ポーツ実施状 況	Q5-2	障がい者が利用可能なスポーツ施設数、及び障がい者スポーツ指導員数 について、お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)				
		Q6-1	要支援・要介護認定者数、及び要支援・要介護認定率について、お答えください。 (可能であれば、行政区ごとにお答えください。)				
6	住民の運動・スポーツ推進に	Q6-2	要支援・要介護認定者のうち、この1年間で介護度が改善した者の割合と、悪化したものの割合をそれぞれお答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)				
	よる効果	Q6-3	65 歳以上人口当たりの介護保険の自治体負担額について、お答えください。				
		Q6-4	人口当たりの「がん」の罹患者数について、お答えください。				
		Q6-5	国民医療費についてお答えください。				
	1						

第2章 調査票

1. 地域住民を対象としたアンケート調査票

上記の調査項目を基にアンケート調査票を作成した。地域住民を対象としたアンケート調査票は下図表の通り(後述するモデル調査の実施後に修正を加えた最終稿を掲載している)。

図表 4 地域住民を対象としたアンケート調査票

Q番号	回答対象者	回答方法	質問文	code	選択肢
Info for Q1∼Q6	ΔΙΙ	Info			自身についておうかがいします。
IIIO IOI Q1 - Q0	ALL	IIIIO			
Q1	ALL	SA	あなたの		ついてお答えください。 男性 10代
					男性 20代
				3	男性 30代
					男性 40代 男性 50代
				6	男性 60代
					男性 70代 以上 女性 10代
				9	女性 20代
					女性 30代 女性 40代
				12	女性 50代
					女性 60代 女性 70代 以上
				14	NE /OR NI
Q2	ALL	SA			お答えください。※「勤め人」とは、企業・団体・個人事業主などに雇われている人(被雇用者)を指します。(嘱託社員・期間従業
			貝・ハート		・アルバイト・臨時雇用者を含む) 自営業主-専門・技術職(開業医、弁護士事務所経営者など)
				2	自営業主-事務職
					自営業主-販売・サービス・保安職(小売店、飲食店、理髪店など) 自営業主-農林漁業職(植木職、造園師を含む)
				5	自営業主-生産・運輸・建設・労務職(個人タクシー、工務店経営など)
	-				自営業主-その他 家族従業者(家族が経営する事業の手伝い)
				8	勤め人(被雇用者)ー管理職(官庁・会社の課長以上)
					動め人(被雇用者) - 専門・技術職(教員、技術者、研究者、弁護士、病院勤務医師など)
					動め人(被雇用者) - 事務職(事務系会社員・公務員、営業職など) 動め人(被雇用者) - 販売・サービス・保安職(販売店の店員、ウェイター、守衛、インストラクターなど)
				12	勤め人(被雇用者)ー農林漁業職(植木職、造園師を含む)
				13	動め人(被雇用者) - 生産・輸送・建設・労務職(工場勤務、運転手など) 動め人(被雇用者) - その他
				15	主婦·主夫
					<u>学生</u>
					無暇 その他()
					答えたくない
Q3	ALL	SA	あなたの	体の状	況について(障がいの有無、運動の可否)をお答えください。
					障がいがある(障害者手帳を持っている)
					(この1年間)寝たきり等で運動できる状態にない (この1年間)運動することを医者から止められている
					上記のいずれにも当てはまらない
Q4	ALL	MA	あなたが	現在一	緒に住んでいるご家族をお答えください。
			0,000	1	配偶者
					父親・母親 子ども
				4	祖父母
					兄弟姉妹 孩子A.孩
					孫·ひ孫 その他()
				8	一人暮らし
				_ 9	答えたくない
Q5	ALL	SA	世帯年収		を一にする家族全員の収入の合算)は、去年1年間で、およそどれくらいになりましたか。税込みでお答えください。
					収入なし 100万円未満
				3	100~200万円未満
					200~300万円未満 300~400万円未満
					400~500万円未満
				7	500~600万円未満
					600~700万円未満 700~800万円未満
				10	800~1000万円未満
					1000~1200万円未満 1200万円以上
				13	わからない
					答えたくない
Q6		SA	あなたが	お住ま	いの地域をお答えください。
			2,3,2,0	1	A地区
			-		B地区 C地区
				4	D地区
					E地区
L	1				1777

Q番号	回答対象者	回答方法	質問文 code 選択肢	
	1			
Info for Q7∼Q8	ALL	Info	あなたの身体状況について教えてください。	

מטייוש וטו טווון	ALL	Into	めなたの分体化がについて致えてください。
Q7	ALL	SA	あなたは、自分の生活が充実していると思いますか。この中から1つお答えください。
			1 充実している
			2 どちらかといえば充実している
			3 どちらかといえば充実していない
			4 充実していない
			5 わからない

Q8	ALL	SA	あなたの1日あたりの平均歩数はどのくらいですか。この中から1つお答えください。※1,000歩=10分程度です。
			1 ~1,000歩
			2 1,001歩~2,000歩
			3 2,001歩~3,000歩
			4 3,001歩~4,000歩
			5 4,001歩~5,000歩
			6 5.001歩~6.000歩
			7 6.001歩~7.000歩
			8 7.001歩~8.000歩
			9 8,001歩~9,000歩
			10 9,001歩~10,000歩
			11 10,001歩~11,000歩
			12 11,001歩~12,000歩
			13 12,001歩~
			14 わからない

Info for Q9~Q14 ALL Info あなたの運動・スポーツの実施状況について教えてください。

Q9	ALL	MA	この中にあ		がこの1年間に行った運動やスポーツがあれば全部あげてください(学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったもの
			16kgc より		ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)
					階段昇降(2アップ3ダウン等)
					ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝
					プンーン () プライン ライン アイ・マックン () 小人 マック・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス
					自転車(BMX含む)・サイクリング
					ローラースケート・インラインスケート・一輪車
					トレーニング(筋力トレーニング・トレッドミル(ランニングマシーン)・室内運動器具を使ってする運動等)
					体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等)
					エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス
					縄跳び
					器械体操・新体操・トランポリン
					ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・フラダンス等)
					チアリーディング・バトントワリング
					水泳(競泳・水球・飛び込み・アーティスティックスイミング(シンクロナイズドスイミング)等)
				15	アクアエクササイズ・水中ウォーキング
				16	野球(硬式・軟式等)
				17	ソフトボール
				18	キャッチボール
					テニス・ソフトテニス
					バドミントン
					卓球(ラージボール含む)
					ゴルフ(コースでのラウンド)
					ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)
					グラウンドゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッグゴルフ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等
					グラウンドコルン・バーフコルフ・マレッドコルフ・ステックコルフ・ティスクコルフ・バラーコルフ す パレーボール・ビーチパレー・ソフトパレーボール
					パスケットボール・ポートボール
					バスクットホール・ホートホール ドッジボール
					ハンドボール・その他屋内球技
					サッカー
					フットサル
					ラグビー・アメリカンフットボール・タグラグビー
					グラウンドホッケー・ラクロス・その他屋外球技
					ボウリング
				34	ゲートボール
				25	レクリエーションスポーツ(ティーボール・フライングディスク・インディアカ・スポーツチャンバラ・ユニカール・アルティメット・キンボー
				33	ル・シャフルボード・ペタンク・綱引き・ダーツ・スポーツ吹き矢等)
				36	レスリング・相撲・ボクシング
				37	テコンドー・太極拳・合気道
					柔 道
					剣道・居合道・なざなた・銃剣道
					空手·少林寺拳法
					登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング
					フリークライミング・ボルダリング
					ファーファイスング イバルブラング キャンプ・オートキャンプ
					ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテーリング
					ボート・漕艇・カヌー・カヤック・ラフティング
					ヨット・水上スキー・ウェイクボード・水上バイク・ジェットスキー
					スクーバダイビング・スキンダイビング・フリーダイビング・シュノーケリング
					サーフィン・ボディボード・ボードセーリング・ウインドサーフィン
					희년
					<u> </u>
					スノーボード
					クロスカントリースキー・スノーシュー
					アイススケート・アイスホッケー・カーリング
					アーチェリー・弓道・射撃・クレー射撃
				55	グライダー・ハンググライダー・パラグライダー・スカイダイビング
					乗馬
					障がい者スポーツー種目名()
					その他()
					この1年間に運動・スポーツはしなかった
					わからない

Q10	Q9=1-58	SA	この1年間に運動やスポーツを実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。この中から1つだけお答えください。
			1 週に5日以上(年251日以上)
			2 週に3日以上(年151日~250日)
			3 週に2日以上(年101日~150日)
			4 週に1日以上(年51日~100日)
			5 月に1~3日(年12日~50日)
			6 3か月に1~2日(年4日~11日)
			7 年に1~3日
			8 わからない

Q番号	回答対象者	回答方法	質問文
Q11	ALL	SA	運動・スポーツをすることが好きですか。この中から1つだけお答えください。
			1 好き
			2 どちらかといえば好き
			3 どちらかといえば嫌い
			4 嫌い
			5 好きでも嫌いでもない

Q12	Q11=1,2,5 and Q9=59,60 or Q10=5-8	МА	運動・スポーツが嫌いではないにも関わらず、この1年間に、あなたが運動・スポーツをなかなか実施できなかったのはどのような理由からですか。(3つまで)						
			1 仕事や家事が忙しいから						
			2 育児が忙しいから						
			3 介護が忙しいから						
			4 病気や怪我をしているから						
			5 年をとったから						
			6 場所や施設が無いから						
			7 場所や施設はあるが、早朝深夜に利用できないから						
			8 場所や施設はあるが、興味がある運動・スポーツプログラムがないから						
			9 仲間がいないから						
			10 指導者が居ないから						
			11 お金に余裕が無いから						
			12 運動・スポーツに関する情報がないから						
			13 面倒くさいから						
			14 運動・スポーツ以上に大切なことがあるから						
	i		15 生活や仕事で体を動かしているから						
			16 その他()						
			17 特に理由は無い						
			18 わからない						

Q13	ALL	MA	今後あな	なたが行いたいと思う運動・スポーツ(現在行っている運動・スポーツも含めて)があればあげてください。
				1 ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)
				2 階段昇降(2アップ3ダウン等)
				3 ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝
				4 陸上競技
				5 自転車(BMX含む)・サイクリング
				6 ローラースケート・インラインスケート・一輪車
				7 トレーニング(筋力トレーニング・トレッドミル(ランニングマシーン)・室内運動器具を使ってする運動等)
				8 体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等)
				9 エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス
				10 縄跳び
				11 器械体操・新体操・トランポリン
				12 ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・フラダンス等)
				13 チアリーディング・バトントワリング
				14 水泳(競泳・水球・飛び込み・アーティスティックスイミング(シンクロナイズドスイミング)等)
				15 アクアエクササイズ・水中ウォーキング
				16 野球(硬式·軟式等)
				17 ソフトボール
				18 キャッチボール
				19 テニス・ソフトテニス
				20 バドミントン
				21 卓球(ラージボール含む)
				22 ゴルフ(コースでのラウンド)
				23 ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)
				24 グラウンドゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッグゴルフ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等
				25 パレーボール・ビーチパレー・ソフトパレーボール
				26 パスケットボール・ポートボール
				27 ドッジボール
				28 ハンドボール・その他屋内球技
				29 サッカー
				30 フットサル
				31 ラグビー・アメリカンフットボール・タグラグビー
				32 グラウンドホッケー・ラクロス・その他屋外球技
				33 ボウリング
				24 F L F 1
				35 レクリエーションスポーツ(ティーボール・フライングディスク・インディアカ・スポーツチャンバラ・ユニカール・アルティメット・キンボ 35 レクリエーションスポーツ(ティーボール・フライングディスク・インディアカ・スポーツチャンバラ・ユニカール・アルティメット・キンボ
				35 ル・シャフルボード・ペタンク・綱引き・ダーツ・スポーツ吹き矢等)
				36 レスリング・相撲・ボクシング
				37 テコンドー・太極拳・合気道
				38 柔道
				39 剣道・居合道・なざなた・銃剣道
				40 安手・少林・孝法
	1			41 登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング
				42 フリークライミング・ボルダリング
				43 キャンプ・オートキャンプ
				44 ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテーリング
				45 ボート・漕艇・カヌー・カヤック・ラフティング
				46 ヨット・水上スキー・ウェイクボード・水上パイク・ジェットスキー
				47 スクーパダイビング・スキンダイビング・フリーダイビング・シュノーケリング
				48 サーフィン・ボディボード・ボードセーリング・ウインドサーフィン
	1			49 904
	1			50 スキー
				51 スノーボード
				52 クロスカントリースキー・スノーシュー
				53 アイススケート・アイスホッケー・カーリング
				54 アーチェリー・弓道・射撃・クレー射撃
				55 グライダー・ハンググライダー・パラグライダー・スカイダイビング
				56 乗馬
				57 障がい者スポーツ→種目名()
				58 その他()
				59 今後始めてみたい運動やスポーツはない
				60 わからない
				T ooldyn 3.94.

Q14	ALL	SA	あなたはご自身が実施する運動・スポーツのために1年間にいくら程度費用をかけていますか(スポーツスクールの月謝やスポーツ用品の購入費などが該当します。飲料・サブリメント代等は含みません)。
			1 0円(まったくお金はかけていない)
			2 ~2,000円未満
			3 2,000円~5,000円未満
			4 5,000円~10,000円未満
			5 10,000円~15,000円未満
			6 15,000円~20,000円未満
			7 20,000円~30,000円未満
			8 30,000円~50,000円未満
			9 50,000円以上
			10 わからない

Q番号	回答対象者	回答方法	質問文	code	選択肢
				COUC	אנורען בא
Info for Q15∼18	3 ALL	Info	あなたの	周りのi	運動・スポーツを実施するための環境について教えてください。
			あたたは	現在	スポーツ団体、運動やスポーツに関する同好会、サークル等へ加入していますか。また、どのようなスポーツ団体等があれば加
Q15	ALL	MA Matrix	入したい		
			【表頭】		40.A. III.II.L. 12 0.1. 6 = -1
					総合型地域スポーツクラブ 総合型地域スポーツクラブ以外の地域のスポーツクラブ
				3	スポーツジムやフィットネスクラブなど民間のスポーツクラブ
					スポーツ競技団体
					地域(PTAなど学校関係のものも含む)のスポーツに関する同好会やサークル 職場のスポーツに関する同好会やサークル
				7	学校のスポーツに関する同好会やサークル
			-		学生時代の仲間など友人と作ったスポーツに関する同好会やサークル
					その他のスポーツに関する団体() スポーツに関する団体に所属していない
					身の周りにどのようなスポーツ団体等があっても加入したいとは思わない。
			【表側】		
					あなたが現在加入している団体 あなたの身の周りにあれば、加入したい団体
					のかにの名が向うためである。加入したが国際
Q16	ALL	MA Matrix		間に、ど	のようなスポーツイベント、大会に参加しましたか。また、どのようなスポーツイベント、大会であれば参加したいと思いますか。
			【表頭】	1	マラソン大会や競技会など本格的にスポーツを楽しめるイベント、大会
					ウォーキングイベントやレクリエーション的なスポーツイベントなど老若男女が楽しめるイベント、大会
					学校の運動会や地域のスポーツ大会など近隣住民が交流できるイベント、大会
					社内運動会や会社主催のボウリング大会など社員同士や同業者が交流できるイベント、大会 スポーツの指導、講習が受けられるイベント
					↑渡予防など健康づくりをテーマとしたイベント
				7	体カテスト、スポーツテストなど
					その他のスポーツイベント、大会()
					身の周りにどのようなスポーツイベント、大会にがあっても参加したいとは思わない
			【表側】		
			-		あなたがこの1年間に参加したスポーツイベント、大会
					あなたの身の周りにあれば、参加したいスポーツイベント、大会
Q17	ALL	MA Matrix			ペーツの指導やサポート(リーダー的な存在として運動・スポーツに一緒に取り組んでくれる人も含む)を受けていますか。また、自
Q17	ALL	IVIA IVIAU IX		周りに	どのような運動・スポーツ指導者(サポートしてくれる人)がいれば、指導を受けてみたいと思いますか。
			【表頭】	1	 各競技の専門的な指導者(有償、無償のいずれも含む)
					ヨガやエアロビ、レクリエーションなどのインストラクター
					パーソナルトレーナー
			-		健康運動指導士、健康運動実践指導者などの健康づくりのための運動・スポーツ指導者 スポーツ推進委員
					地域や職場の友人(リーダー的な存在として運動・スポーツに一緒に取り組んでくれる人も含む)
					その他の運動・スポーツ指導者()
			-		運動・スポーツ指導者の指導は受けていない。 身の周りどのような運動・スポーツ指導者がいても指導を受けてみたいとは思わない。
			【表側】	-	
				1	あなたが普段、運動・スポーツの指導を受けている指導者。
				2	あなたの身の周りにいれば、運動・スポーツの指導を受けてみたい指導者
Q18	Q2=8-14	MA	企業·団	体にお	動めの方にお聞きします。あなたの職場では、従業員の運動・スポーツ実施を支援するような取組が実施されていますか。
					就業中でも可能な範囲で体を動かす運動機会作り(昇降デスクやスタンディングチェアの導入によるスタンディングワークの実
		-	-	'	施、階段利用の奨励など)
			1		就業前後や空き時間を活用したスポーツ実施(朝や就業中の体操・ストレッチ時間の設定など) 社内スポーツイベントの実施、社外スポーツイベントへの参加(企業運動会やウォーキングイベントの実施や社外のスポーツイベ
				3	ントへの参加など)
				4	スポーツの奨励、インセンティブ(報奨金、表彰、景品など)の付与(クラブ活動の支援、徒歩通勤、自転車通勤の奨励(補助)、
		+	+	5	ウォーキングポイントの実施など) その他()
				6	特に取組は実施されていない。
				7	わからない

Q番号				
	回答対象者	回答方法	質問文	code 選択肢
	14.1	1. 4		
Info for Q19~22	ALL	Info	連動・ス7	ポーツの実施に関する行政サービスについて教えてください。
Q19	ALL	MA Matrix	次の施設	の中で知っているものを全てお答えください。またその中で利用したことがあるものを全てお答えください。
			【表頭】	1 施設A
				2 施設B
				3 施設C
				4 i 施設D 5 i 施設E
			r = /8/13	n 特にない。
			【表側】	1 知っている。
				2 利用したことがある。
Q20	ALL	MA	W#07	ポーツ施設に改善を望むことはなんですか。
QZU	ALL	IVIA	公共の人	1 利用時間の拡充(早朝、深夜など)
				2 施設の立地(通いやすい場所など)
			+	3 利用手続きの簡略化(予約、支払いなど) 4 設備の充実(空調、用具など)
				5 アメニティの充実(シャワー、トイレなど)
			-	6 駐車場・駐輪場の整備
				7 利用案内等の広報の充実 8 予約情報など施設の空き状況のHP上での公開
				9] 利用料金の低廉化(低額化)
				10 施設のパリエーションの拡充(具体的な施設の種類:) 11 その他()
				12 おおよそ満足しており、特に改善を望むことはない。
	1			
Q21	ALL	MA Matrix	【表頭】	(教室、セミナー等)の中で知っているものを全てお答えください。その中で利用、参加したことがあるものを全てお答えください。
			12000	1 事業A
				2 事業B
				3 事業C 4 事業D
				4. 事業D 5. 事業E
				4. 事業D 5. 事業E ···
			【表側】	4. 事業D 5. 事業E
			【表側】	4. 事業D 5. 事業E ・・・ n 特にない。 1 知っている。
			【表側】	4 事業D 5 事業E ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Info for Q22~23	Q4=3,6	Info		4. 事業D 5. 事業E ・・・ n 特にない。 1 知っている。
			子供の運	4 事業D 5 事業E ・・・ n 特にない。 1 知っている。 2 参加したことがある。 1動・スポーツの実施状況・環境についてお聞きします。
Info for Q22~23	Q4=3.6 Q4=3.6	Info	子供の運	4.事業D 5.事業E ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
			子供の運	4 事業D 5 事業E ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
			子供の運	4 事業D 5 事業E n 特にない。 1 知っている。 2 参加したことがある。 2 参加したことがある。 (下の子供と同居している方にお聞きします。お子様は定期的に運動・スポーツを実施していますか。どのような場(少年団、総合型など)ていますか。(小学生以下のお子様が複数いらっしゃる場合は上のお子様についてお答えください) 1 スポーツ少年団に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 2 総合登地域スポーツクラブに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 2 総合登地域スポーツクラブに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。
			子供の運	4 事業D 5 事業E n 特にない。 1 知っている。 2 参加したことがある。 1 動・スポーツの実施状況・環境についてお聞きします。 (下の子供と同居している方にお聞きします。お子様は定期的に運動・スポーツを実施していますか。どのような場(少年団、総合型など)でいますか。(小学生以下のお子様が複数にらっしゃる場合は上のお子様についてお答えください) 1 スポーツ少年団に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 2 総合型地域スポーツクラブに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 3 民間のスポーツクラブ、スクールに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 4 学校のクラブ、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 4 学校のクラブ、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。
			子供の運	4 事楽D 5 事業E ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
			子供の運	4 事業D 5 事業E
			子供の運	4 事楽D 5 事業E ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Q22	Q4=3,6	MA	子供の運小学生以で実施し	4 事業D 5 事業E ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
			子供の運小学生以で実施し	4 事業D 5 事業E n 特にない。 1 知っている。 2 参加したことがある。 2 参加したことがある。 2 参加したことがある。 (下の子供と同居している方にお聞きします。お子様は定期的に運動・スポーツを実施していますか。どのような場(少年団、総合型など)ていますか。(小学生以下のお子様が複数いらっしゃる場合は上のお子様についてお答えください) 1 スポーツ少年団に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 2 総合型地域・スポーツクラブに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 3 民間のスポーツクラブ、スクールに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 4 学校のクラブ、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 5 地域のサークル、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 6 その他の場で定期的に運動・スポーツを実施している。 7 定期的に運動・スポーツを実施している。 8 小学生以下の子供と同居していない。 8 小学生以下の子供と同居していない。
Q22	Q4=3,6	MA	子供の運小学生以で実施し	4 事業D 5 事業E n 特にない。 1 知っている。 2 参加したことがある。 2 参加したことがある。 2 参加したことがある。 (下の子供と同居している方にお聞きします。お子様は定期的に運動・スポーツを実施していますか。どのような場(少年団、総合型など)ていますか。(小学生以下のお子様が複数いらっしゃる場合は上のお子様についてお答えください) 1 スポーツ少年団に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 2 総合型地域スポーツクラブ、の所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 3 民間のスポーツクラブ、カノールに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 4 学校のクラブ、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 5 地域のサークル、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 6 その他の場で定期的に運動・スポーツを実施している。 6 その他の場で定期的に運動・スポーツを実施している。 8 小学生以下の子供と同居していない。 8 小学生以下の子供と同居していない。 2 環境が整えばくクラブ、施設、指導者など)、子供に運動・スポーツを実施させたいと思いますか。 1 子供だけで通える身近なスポーツクラブの充実 2 安備で気軽に通わることができるスポーツクラブ、スクールの充実
Q22	Q4=3,6	MA	子供の運小学生以で実施し	4 事業D 5 事業E n 特にない。 1 知っている。 2 参加したことがある。 2 参加したことがある。 2 参加したことがある。 (下の子供と同居している方にお聞きします。お子様は定期的に運動・スポーツを実施していますか。どのような場(少年団、総合型など)ていますか。(小学生以下のお子様が複数いらっしゃる場合は上のお子様についてお答えください) 1 スポーツ少年団に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 2 総合型地域スポーツクラブに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 3 民間のスポーツクラブ、スクールに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 4 学校のクラブ、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 5 地域のサークル、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 6 その他の場で定期的に運動・スポーツを実施している。 6 その他の場で定期的に運動・スポーツを実施している。 8 小学生以下の子供と同居していない。 3 小学生以下の子供と同居していない。 3 小学生以下の子供と同居していない。 1 子供だけで選覧、スポーツを実施している。 3 スポーツを実施している。 3 スポーツを実施している。 3 スポーツや年団やごないできるスポーツクラブの充実 2 安価で気軽に通わせることができるスポーツクラブ、スクールの充実 3 スポーツ少年団や学校のクラブ、同好会活動の活性化
Q22	Q4=3,6	MA	子供の運小学生以で実施し	4 事業D 5 事業E n 特にない。 1 知っている。 2 参加したことがある。 2 参加したことがある。 2 参加したことがある。 (下の子供と同居している方にお聞きします。お子様は定期的に運動・スポーツを実施していますか。どのような場(少年団、総合型など)ていますか。(小学生以下のお子様が複数いらっしゃる場合は上のお子様についてお答えください) 1 スポーツ少年団に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 2 総合型地域スポーツクラブ、万クールに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 3 民間のスポーツクラブ、スクールに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 4 学校のクラブ、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 5 地域のサークル、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 6 その他の場で定期的に運動・スポーツを実施している。 7 定期的に運動・スポーツを実施している。 8 小学生以下の子供と同居していない。 8 小学生以下の子供と同居していない。 1 子供だけで通える身近なスポーツクラブの充実 2 安価で気軽に通わせることができる求ポーツクラブ、スクールの充実 3 スポーツ少年団や学校のクラブ、同好会活動の活性化 4 身近に外域にができる場の充実 5 学校の運動能設の開放
Q22	Q4=3,6	MA	子供の運小学生以で実施し	4 事楽D 5 事楽E n 特にない。 1 知っている。 2 参加したことがある。 (下の子供と同居している方にお聞きします。お子様は定期的に運動・スポーツを実施していますか。どのような場(少年団、総合型など)でいますか。(小学生以下のお子様が複数いらっしゃる場合は上のお子様についてお答えください) 1 スポーツ少年団に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 2 総合型地域スポーツクラブに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 3 民間のスポーツクラブ、スクールに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 4 学校のクラブ、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 4 学校のクラブ、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 6 その他の場で定期的に運動・スポーツを実施している。 6 その他の場で定期的に運動・スポーツを実施している。 6 その他の場で定期的に運動・スポーツを実施している。 1 ア定期的に運動・スポーツを実施している。 1 ア定期的に運動・スポーツを実施している。 3 以常のサークル、同好会に所属し、定期的にで動・スポーツを実施している。 1 子供だけで通える身近なスポーツクラブの充実 2 安価で気軽に運動・スポーツを実施していない。 3 スポーツ少年団や学校のクラブ、同好会活動の活性化 4 身近に外遊びができる場の充実 5 学校の運動施設の開放 6 子供に運動・スポーツりの決とを教える教室やイベントの開催
Q22	Q4=3,6	MA	子供の運小学生以で実施し	4 事業D 5 事業E n 特にない。 1 知っている。 2 参加したことがある。 2 参加したことがある。 2 参加したことがある。 3 下の子供と同居している方にお聞きします。お子様は定期的に運動・スポーツを実施していますか。どのような場(少年団、総合型など)ていますか。(小学生以下のお子様が複数いらっしゃる場合は上のお子様についてお答えください) 1 スポーツ少年団に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 2 総合型地域スポーツクラブ、所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 3 民間のスポーツクラブ、元所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 4 学校のクラブ、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 5 地域のサークル、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 6 その他の場で定期的に運動・スポーツを実施している。 6 その他の場で定期的に運動・スポーツを実施している。 1 子供だけで通える身近なスポーツクラブ、のまの場ではいる。 3 水学生以下の子供と同居していない。 2 実際が整えば(クラブ、施設、指導者など)、子供に運動・スポーツを実施させたいと思いますか。 1 子供だけで通える身近なスポーツクラブの充実 2 安価で気軽に通わせることができるスポーツクラブの充実 3 スポーツ少年団や学校のクラブ、同好会活動の活性化 4 身近に入遊びができる場の充実 5 学校の運動施設の開放 6 子供に運動・スポーツ(遊び)の楽しきを教える教室やイベントの開催 7 親子で参加できる運動、スポーツの楽しきを学べる教室やイベントの開催 7 親子で参加できる運動、スポーツの楽しきを学べる教室やイベントの開催
Q22	Q4=3,6	MA	子供の運小学生以で実施し	4 事業D 5 事業E
Q22	Q4=3,6	MA	子供の運小学生以で実施し	4 事業D 5 事業E n 特にない。 1 知っている。 2 参加したことがある。 2 参加したことがある。 2 参加したことがある。 (下の子供と同居している方にお聞きします。お子様は定期的に運動・スポーツを実施していますか。どのような場(少年団、総合型など)ていますか。(小学生以下のお子様が複数いらっしゃる場合は上のお子様についてお答えください) 1 スポーツ少年団に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 2 総合型地域スポーツクラブに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 3 民間のスポーツクラブ、スクールに所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 4 学校のクラブ、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 5 地域のサークル、同好会に所属し、定期的に運動・スポーツを実施している。 6 その他の場で定期的に運動・スポーツを実施している。()) 7 定期的に運動・スポーツを実施している。() 7 定期的に運動・スポーツを実施している。() 1 定期的に運動・スポーツを実施している。() 2 定期的に運動・スポーツを実施している。()) 7 定期的に運動・スポーツを実施している。()) 7 定期的に運動・スポーツを実施している。()) 7 定期的に運動・スポーツクラの意味ができる。()) 7 定期的に運動・スポーツを実施している。()) 7 定期的に運動・スポーツを実施している。()) 7 定期のは一番サーンを実施されている。()) 7 定期のは一番サーンを実施されている。()) 7 定期の重動を設めているない。()) 7 定期の重動を設めているない。()) 7 定期の重要が、2 が、2 が、2 が、2 が、2 が、2 が、2 が、2 が、2 が、2

Q番号	回答対象者	回答方法	質問文	code 選択肢
Info for Q24~25	Q1=6,7,13,14	Info	60代以上	の方々の運動・スポーツに関連する活動状況についてお聞きします。
Q24	Q1=6,7,13,14	MA	あなたは	が定期的に実施している活動(趣味、町内会活動、老人クラブなど)はありますか。
				1 自治会、町内会の役員、事務局としての活動 2 地域の老人クラブでの活動
				3 友人や近隣住民とのサークル、同好会での活動
				4 カルチャースクールやスポーツクラブなどの習い事での活動 5 NPO団体の役員、事務局としての活動
				6 ボランティア団体での活動 7 その他()
				8 定期的な活動は実施していない
Q25	Q1=6,7,13,14	SA	行政などが	が提供している介護予防事業などに継続的に参加していますか。
				1 行政などが提供する介護予防プログラムに定期的に参加している。 2 行政などが提供する介護予防プログラムに不定期で参加している。
				3 行政などが提供する介護予防プログラムに参加したことはほとんどない。
Info for Q26~27	ALL	Info	スポーツ	現職についてお聞きします。
			あたたは	この1年間にスポーツを観戦したことがありますか。現地での観戦、テレビ・インターネットなどでの視聴のそれぞれについて、観戦した
Q26	ALL	MA Matrix		り中からいくつでもお選びください。
				1 プロ野球(NPB、メジャーリーグ含む) 2 高校野球
				3 その他野球、ソフトボール
				4 サッカー日本代表 5 Jリーグ(J1、J2、J3)
				6 海外サッカー
				7 その他サッカー 8 フットサル
				9 ラグビー(トップリーグ、大学・高校ラグビー、海外ラグビー含む) 10 アメリカンフットボール(NFL等含む)
				11 パレーボール(Vリーグ、日本代表含む)
				12 バスケットボール(Bリーグ、NBA含む) 13 大相撲
				14 テニス
				15 パドミントン 16 ゴルフ
				17 体操·新体操
				18 水泳(競泳、水球、飛び込み、アーティスティックスイミング(シンクロナイズドスイミング)等) 19 マラソン、駅伝
				20 陸上競技
				21 武道(剣道・柔道・空手)、ポクシング、レスリング 22 自転車競技(競輪を除く)、スケートボード、インラインスケート等
				23 ヨット、ボート、カヌー、サーフィン等マリンスポーツ(競艇を除く)
				24 スキー(アルベン、フリースタイル、ジャンプ、クロスカントリー他)、スノーボード 25 フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー
				26 障害者スポーツ(車いすバスケットボール、車いすテニス等)
				27 その他() 28 見なかった 27 2
			【表側】	1 スタジアム・体育館・沿道など現地で観戦
				2 テレビ・インターネットなどで視聴
Q27	ALL	SA Matrix		・観戦した日数を全部合わせると、1年間に何日くらいになりますか。現地での観戦、テレビ・インターネットなどでの視聴、それぞれにつ
Q27	ALL	SA Wad IX	いてお答:	えください。
			1200	1週に5日以上(年251日以上)
				2 週に3日以上(年151日~250日) 3 週に2日以上(年101日~150日)
				4 週に1日以上(年51日~100日)
				5 月に1~3日(年12日~50日) 6 3か月に1~2日(年4日~11日)
				7 年に1~3日
			【表側】	8 わからない
			+	1 スタジアム・体育館・沿道など現地で観戦 2 テレビ・インターネットなどで視聴
Info for Q28∼30	ALL	Info	7#- ***	D指導やスポーツ大会の運営支援などなど運動・スポーツに関するボランティア活動についてお聞きします。
Q28	ALL	MA	あなたは、	この1年間に運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたかしたか。参加した活動をこの中からいくつでもお選びください。 1 運動・スポーツの指導
				2 スポーツの審判
				3 スポーツクラブ・団体の運営や世話 4 スポーツ施設の管理の手伝い
				5 大会・イベントの運営や世話
				6 自身やご家族が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動(練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備、活動場所や施設の予約・手配、指導や審判の補助、役員や会計係等、ウェブサイトやチラシの作成、等)
				7 その他(8 わからない
				8/7からない 9/まったく実施しなかった
Q29	Q28=1,2,3,4,5,6,7,8	SA	この1年間	ポスポーツに関するボランティア活動などに参加した日を全部合わせると、何日くらいになりますか。
				1 週に5日以上(年251日以上) 2 週に3日以上(年151日~250日)
				2 週に3日以上(年151日~250日) 3 週に2日以上(年101日~150日)
				4 週に1日以上(年51日~100日)
				5 月に1~3日(年12日~50日) 6 3か月に1~2日(年4日~11日)
				7 年に1~3日 8 わからない
	1	1		י אשיביימערן ט'

2. 行政担当者を対象としたアンケート調査票

上記の調査項目を基にアンケート調査票を作成した。行政担当者を対象としたアンケート調査票は下 図表の通り(後述するモデル調査の実施後に修正を加えた最終稿を掲載している)。

図表 5 行政担当者を対象としたアンケート調査票

スポーツ庁 地方自治体におけるスポーツ実施率向上のための基盤構築 地方自治体における住民のスポーツ実施環境に関する調査

※最新年度の情報でご回答ください。

1. 基本情報についてお伺いします。

Q1-1. 名称について、お答えください。

()市·区·町·村

Q1-2. 人口規模・面積について、お答えください。(行政区ごとにお答えください。)

		年生	人口	生産年	輸入口	老年	人口	面積	
全体		()人	()人	()人	() m
() 地区	()人	()人	()人	() m
() 地区	()人	()人	()人	() ni
() 地区	()人	()人	()人	() ni
() 地区	()人	()人	()人	() m
() 地区	()人	()人	().人	() m
() 地区	()人	()人	()人	() ni
()地区	()人	()人	()人	() ni

Q1-3. 人口集中地区の面積・人口について、お答えください。(行政区ごとにお答えください。)

		人口	Į.	面積			
全体		() 人	() n		
() 地区	() 人	() n		
() 地区	()人	() n		
() 地区	()人	() n		
() 地区	()人	() m		
() 地区	() 人	() m		
() 地区	() 人	() m		
() 地区	() 人	() n		

2. 運動・スポーツ実施環境についてお伺いします。

Q2-1. 自治体内の遊歩道の整備距離ついて、お答えください。

() km

Q2-2. 検診の受診率について、お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)

全体		健康診断		胃がん検診		大腸がん検診		肺	肺がん検診		乳がん検診		子宮がん検診	
			() %	() %	() %	() %	() %	() 96
()	地区	() %	() %	() %	() %	() %	() %
()	地区	() %	() %	() %	() 96	() %	() %
()	地区	() %	() %	() 96	() %	() %	() %
()	地区	() 96	() %	() 96	() %	() %	() %
()	地区	() %	() %	() %	() 96	() %	() %
()	地区	() %	() %	() %	() %	() %	() %
()	地区	() %	() %	() 96	() %	() %	() %

Q2-3. 運動型健康増進施設 (厚生労働省が認定した施設) の施設数について、お答えください。 (可能であれば、 行政区ごとにお答えください。)

		運動型健康	普進施設数		
全体		()加設		
() 地区	()施設		
() 地区	()施設		
() 地区	()施設		
() 地区	()施設		
() 地区	()施設		
() 地区	()施設		
() 地区	() 施設		

Q2-4. スポーツ指導者数 (居住者) について、お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)

		スポーツ	推進委員	JSPO 有	資格者※1	健体有影	格者※2	日レク有	資格者※3	
全体		()人	() 人	()人	()人	
() 地区	()人	()人	()人	() 人	
() 地区	()人	()人	()人	() 人	
() 地区	()人	()人	()人	() 人	
() 地区	()人	()人	()人	() 人	
() 地区	()人	()人	()人	()人	
() 地区	()人	()人	()人	() 人	
() 地区	()人	()人	()人	(1 人	

- 3. 運動・スポーツに関する行政の施策についてお伺いします。
- Q3-1. 昨年度、主催したスポーツイベントの回数について、お答えください。また、可能であれば、それらのイベントへの延べ 参加者数をお答えください。

回数 () 回 参加者数 () 人 ※ スポーツイベントには、マランン大会や競技会など本格的にスポーツ大会、及びウォーキングイベントやレクリエーション的なスポーツイベント、スポーツ教室などスポーツの指導、講習が受けられるイベントに加え、介護予防など健康づくりをテーマとしたイベン

Q3-2. 公共スポーツ施設数、及びそれらの施設の昨年度利用者数について、お答えください。(可能であれば、行政区 ごとにお答えください。)

	910am.20am.00am.00 000.10	スポーツが	領設数	利用者数計	
全体		(〉 描码设	() 人
() 地区	()施强处	() 人
() 地区	()施國役	())
() 地区	()加設	() 人
() 地区	()が歴史	() 人
() 地区	() 施設	() 人
() 地区	()施設	() 人
() 地区	()施設	())

※スポーツ施設は、平成30年度社会教育調査の体育施設調査票で対象としている体育施設を指します。 (陸上競技場、野球場・ソフトボール場、球技場など)
※利用者数は、各地区内のスポーツ施設の利用者数の合計値をご記載ください。

Q3-3. 自治体が提供している健康教室や運動プログラムの実施回数、利用人数について、お答えください。(可能であ れば、行政区ごとにお答えください。)

		実施回娄	Ż	利用者数計		
全体		() 📵	() 人	
() 地区	() 🔟	())	
() 地区	() 💷	())	
() 地区	() 🗇	())	
() 地区	() 回	())	
() 地区	() 回	())	
() 地区	() 回	())	
() 地区	() 📵	())	

Q3-4. 公立学校体育施設の開放施設数について、お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)

		公立学	交数	開放学科	数	開放を検討中	の学校数
全体		() 校	() 校	() 校
() 地区	() 校	() 校	()校
() 地区	() 校	() 校	() 校
() 地区	()校	() 校	() 校
() 地区	() 校	() 校	() 校
() 地区	() 校	() 校	() 校
() 地区	()校	() 校	() 校
() 地区	() 校	() 校	() 校

※ 開放学校数には、屋外運動場、体育館、ブールなどの施設のうち、一施設でも開放されている学校数をお答えください。

4. 子供の運動・スポーツ実施状況についてお伺いします。

Q4-1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点(自治体平均)について、お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)

		小学	文 男子	小学校	炎 女子	中学的	災 男子	中学校	2 女子	
全体		()点		() 点	() 点	(点
() 地区	()点	(点(() 点	() ;	点
() 地区	()点	() 点	() 点	())	点
() 地区	() 点	() 点	() 点	())	点
() 地区	()点	() 点	() 点	() ;	点
() 地区	()点	() 点	()点	())	点
() 地区	() 点	() 点	() 点	())	点
() 地区	()点	() 点	() 点	())	点

Q4-2. 児童公園の数について、お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)

		児童公	團数
全体		()施設
() 地区	()加設
() 地区	()施設
() 地区	() 施設
() 地区	()加設
()地区	()施設
() 地区	()施設
() 地区	() 施設

[※] ここでの児童公園とは、都市公園法における、街区公園を指します。

Q4-3. 小中学校の児童・生徒数について、お答えください。また、その中で総合型地域スポーツクラブや少年団に所属している児童・生徒数について、お答えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)

		4	学生		年団に 3小学生		理クラブ に る小学生	#	学生	D2007036	年団に 5中学生		型クラブ に 3中学生
全体		()人	()人	()人	()人	()人	()人
() 地区	()人	()人	()人	()人	()人	()人
() 地区	()人	()人	()人	()人	()人	() 人
() 地区	()人	()人	()人	()人	()人	()人
() 地区	()人	()人	()人	()人	()人	()人
() 地区	()人	()人	()人	()人	()人	()人
() 地区	()人	()人	()人	()人	()人	()人
() 地区	()人	()人	()人	()人	()人	()人

- 5. 高齢者や障がい者の運動・スポーツ実施状況についてお伺いします。
- Q5-1. 自治体が提供している介護予防のための教室数 (プログラム数)、及びその利用人数について、お答えください。 (可能であれば、行政区ごとにお答えください。)

		実施回数	Ż.	利用者数計		
全体		() 回	() 人	
() 地区	() 回	()人	
() 地区	() 💷	() 人	
()地区	() 回	() 人	
() 地区	() 回	() 人	
() 地区	() 📵	() 人	
() 地区	() 💷	()人	
() 地区	() 📵	() 人	

Q5-2. 障がい者が利用可能なスポーツ施設数、及び障がい者スポーツ指導員数について、お答えください。(可能であ れば、行政区ごとにお答えください。)

		スポーツが	施設数	指導員数		
全体		()施强设	() 人	
() 地区	() 施盟设	() 人	
() 地区	()加强设	() 人	
() 地区	()施建设	() 人	
() 地区	()施設と	())	
() 地区	()が建设	() 人	
() 地区	()が歴史	())	
() 地区	()施設设	())	

[※] PROV でも今日、PP書音のできたがに利用できる施設に限らず、パリアプレー対応されているなど障害者が利用可能な施設の数をお答えください。 ※ 障が、者スポーツ指導者には、日本障が、者スポーツ協会が提供する初級障が、者スポーツ指導員、中級障が、者スポーツ 指導員、上級障が、者スポーツ指導員、障が、者スポーツコーチ、障が、者スポーツトレーナー、障が、者スポーツ医を含みます。

6. 住民の運動・スポーツ推進による効果についてお伺いします。

Q6-1. 要支援・要介護認定者数、及び要支援・要介護認定率について、お答えください。(可能であれば、行政区ごと にお答えください。)

		要支援	認定者数	要介護	認定者数	要支援	認定率	要介護	認定率	
全体		()		()人	()人	()人	
() 地区	()人	()人	()人	()人	
() 地区	()人	()人	()人	()人	
() 地区	()人	()人	()人	()人	
() 地区	()人	()人	()人	()人	
() 地区	()人	()人	()人	()人	
() 地区	()人	()人	()人	()人	
() 地区	()人	()人	()人	()人	

Q6-2. 要支援・要介護認定者のうち、この1年間で介護度が改善した者の割合と、悪化したものの割合をそれぞれお答 えください。(可能であれば、行政区ごとにお答えください。)

		介護度	思 化者数	介護度改善者数	
全体		()人	() 人
() 地区	()人	() 人
() 地区	()人	() 人
() 地区	()人	())
() 地区	()人	())
() 地区	()人	())
() 地区	()人	())
() 地区	()人	() 人

[※] 介護度悪化者数、介護度改善者数には、65歳未満も含む。介護度悪化者数には、この1年間で新たに要介護者、要支援者に認定された者も含む。介護度改善者数には、この1年間で要支援者、要介護者から脱した者も含む。

Q6-3, 65 歳以上人口当たり	の介護保険の自治体負担額こついて、お答えください
() 円/人
※国や都道府県負担分も含めた	決算額でご回答ください。
Q6-4. 人口当たりの「がん」の	罹患者数について、お答えください。
() 人
Q6-5. 国民医療費について	お答えください。

) 円

[※] 要支援認定者数、要介護認定者数には、65歳未満の者も含む。 ※ 要支援認定率、要介護認定率は、65歳以上の要介護・要支援認定者数・第1号被保険者数(65歳以上)とする。

第3章 モデル調査の実施

1. モデル調査の実施方法

上記の調査票に基づき、2自治体を対象としてモデル調査を実施し、調査票の効果を検証するともに、 分析イメージの作成を行った。

地域住民の運動・スポーツ参加に関する特徴及び課題を把握するために、男女別、世代別(20代、30代、40代、50代、60代)にある程度有意な分析が可能なように、セルごとに一定数(100サンプル程度)のサンプルを確保することを目指した(ただし、一部の属性については100サンプルをショートしている。)。

図表 6 サンプリングの方針

	20代	30代	40代	50代	60代
男性					
女性					

なお、上記の通り、本調査は調査票の検証と分析イメージ作成のためのモデル調査という位置づけであることから、効率性を鑑みてwebアンケート調査によって実施した。従って、webアンケート調査によって一定数のモニターを確保することが可能な人口規模の都市の中から首都圏の都市と地方都市から2自治体を選定して調査を実施した。モデル調査の概要は下図表の通り。

図表 7 調査の概要

調査の内容	・ 身体状況(健康、日常生活)について				
	・ 運動・スポーツの実施状況について				
	・ 運動・スポーツの実施環境について				
	・ 行政サービスについて				
	・ 子供の運動・スポーツ実施について				
	・ 高齢者の運動・スポーツ実施について				
	スポーツ観戦について				
	・スポーツボランティアについて				
	※上述の調査票の通り。				
調査の設計	調査地域 2 自治体				
	調査対象 20代~60代の男女				
	対象パネル 「Japan Cloud Panel」約 1,795 万人 ※2020 年度 1 月時点				
	調査方法 上記パネルの登録モニターを対象とした WEB アンケート調査				
	調査期間 令和2年2月7日~2月14日				
	調査機関 GMO リサーチ株式会社				

2. A 自治体の調査結果概要

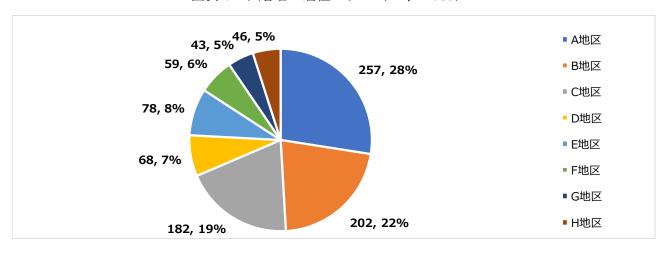
(1)回答者の属性

回答者の性別、年齢は下記の通り。上記の通り、20代 \sim 60代の男女を性別年代ごとに各 100 サンプルずつの回収を目指したが、男性 20代と女性 60代の 100 サンプルを回収することが不可だったため、下記のようなサンプル数となっている。

	20代	30代	40 代	50代	60代	合計
男性	62	100	100	100	100	462
女性	100	100	100	100	73	473
合計	162	200	200	200	173	935

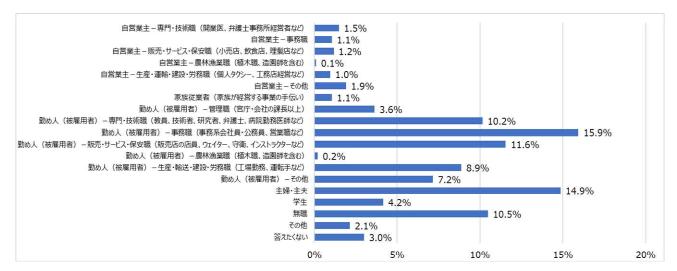
図表 8 年齢性別ごとのサンプル数

居住エリアの内訳は下記の通り。下記では、居住地域別の分析も行うが、D地区、E地区、F地区、G地区、H地区はサンプル数が限られている点には留意が必要。



図表 9 回答者の居住エリア (SA、n=935)

回答者の職業は、自営業者が 6~7%、勤め人が約 60%、主婦・主婦が約 15%、無職が約 10%となっている。



図表 10 回答者の居住エリア (SA、n=935)

回答者のうち、障がいがある方または身体上運動できない方は約5%を占めた。



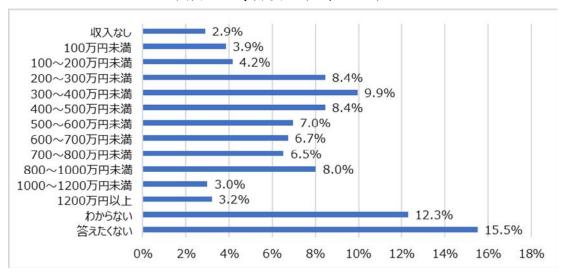
図表 11 障がいがある人または身体上運動できない人(SA、n=935)

回答者の5~6割は、配偶者がおり、4割弱が子供と同居している。

配偶者 55.6% 父親·母親 31.7% 子ども 37.8% 祖父母 4.0% 兄弟姉妹 8.4% 孫・ひ孫 **1.2%** その他 **1.7%** 一人暮らし 15.8% 答えたくない 0.9% 0% 30% 40% 50% 60% 10% 20%

図表 12 世帯構成 (MA、n=935)

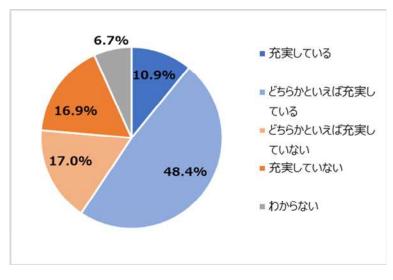
また、回答者の家計収入の状況は以下の通りだった。



図表 13 家計収入 (SA、n=935)

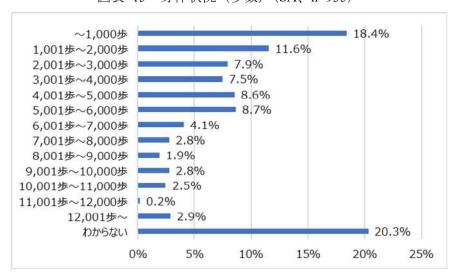
(2) 住民の身体状況

生活の充実感については、回答者の 6 割近くが「充実している」、「どちらかといえば充実している」 と回答している。



図表 14 身体状況(生活の充実感)(SA、n=935)

また、日常の身体活動の状況としては、回答者のうち一日の平均歩数が 6,000 歩以上と回答した者の割合は約 17%で、8,000 歩以上と回答した者の割合は約 10%だった。

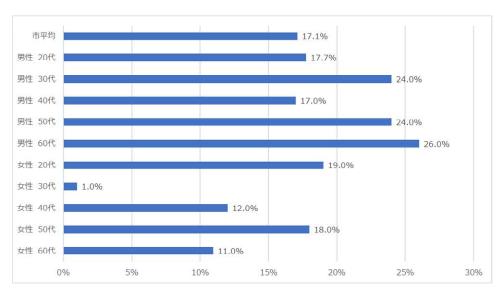


図表 15 身体状況 (歩数) (SA、n=935)

※厚生労働省/運動基準・運動指針の改定に関する検討会 報告書では8,000~10,000 歩を推奨。

※厚生労働省:平成30年度国民健康・栄養調査によると、一日の平均歩数は男性6,794歩、女性5,942歩。

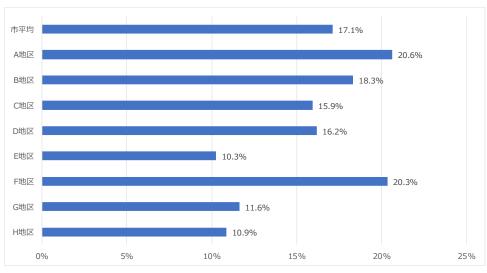
一日の平均歩数を性別年齢別に見てみると、男性に比べて女性は一日の活動量(一日当たりの平均歩数)が少ない。



図表 16 身体状況(歩数)【性別年齢別】

※上図表は1日6,001歩以上歩く人の割合を示している。

また、居住地域別に見てみると、人口が少なく、人口密度もそれほど高くない、E地区、G地区、H地区、D地区の住民は、一日の活動量(一日当たりの平均歩数)が少ないという結果になっている。



図表 17 身体状況(歩数)【居住地区別】

※上図表は1日6,001歩以上歩く人の割合を示している。

(3) 運動・スポーツの実施状況

この1年間で行った運動・スポーツとして最も多くの回答者があげているのがウォーキング(散歩・ ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)で、全体の約半数が回答している。これに次いで多いのが、階段 昇降 (2 アップ 3 ダウン等)、ランニング (ジョギング)・マラソン・駅伝、トレーニング (筋力トレーニング・トレッドミル (ランニングマシーン)・室内運動器具を使ってする運動等)で、それぞれ 10%以上 となっている。

一方で、この1年間に運動・スポーツはしなかったと回答した者も3割弱を占めている。

図表 18 運動・スポーツの実施状況 (実施したスポーツ) (MA、n=935)

	N	%
ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)	447	47.8%
階段昇降(2アップ3ダウン等)	101	10.8%
ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝	111	11.9%
陸上競技	5	0.5%
自転車(BMX含む)・サイクリング	74	7.9%
ローラースケート・インラインスケート・一輪車	2	0.2%
トレーニング(筋カトレーニング・トレッドミル(ランニングマ シーン) ・室内運動器具を使ってする運動等)	124	13.3%
体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等)	84	9.0%
エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス	50	5.3%
縄跳び	10	1.1%
器械体操・新体操・トランポリン	2	0.2%
ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス ・民謡踊り・フラダンス等)	14	1.5%
チアリーディング・バトントワリング	0	0.0%
水泳(競泳・水球・飛び込み・アーティスティックスイミング (シンクロナイズドスイミング)等)	27	2.9%
アクアエクササイズ・水中ウォーキング	12	1.3%
野球(硬式·軟式等)	15	1.6%
ソフトボール	5	0.5%
キャッチボール	19	2.0%
テニス・ソフトテニス	15	1.6%
バドミントン	22	2.4%
卓球(ラージボール含む)	27	2.9%
ゴルフ(コースでのラウンド)	33	3.5%
ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	29	3.1%
グラウンドゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・	2	0.2%
スナッグゴルフ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等	۷	0.2 /0
バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボール	12	1.3%
バスケットボール・ポートボール	12	1.3%
ドッジボール	4	0.4%
ハンドボール・その他屋内球技	1	0.1%
サッカー	15	1.6%
フットサル	12	1.3%

	N	%
ラグビー・アメリカンフットボール・タグラグビー	1	0.1%
グラウンドホッケー・ラクロス・その他屋外球技	1	0.1%
ボウリング	33	3.5%
ゲートボール	0	0.0%
レクリエーションスポーツ(ティーボール・フライングディスク・ インディアカ・スポーツチャンパラ等)	2	0.2%
レスリング・相撲・ボクシング	0	0.0%
テコンドー・太極拳・合気道	2	0.2%
柔道	2	0.2%
剣道・居合道・なぎなた・銃剣道	1	0.1%
空手・少林寺拳法	3	0.3%
登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング	37	4.0%
フリークライミング・ボルダリング	4	0.4%
キャンプ・オートキャンプ	19	2.0%
ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテーリング	8	0.9%
ボート・漕艇・カヌー・カヤック・ラフティング	4	0.4%
∃ット・水上スキー・ウェイクボード・水上バイク・ジェットス キー	3	0.3%
スクーバダイビング・スキンダイビング・フリーダイビング ・シュノーケリング	2	0.2%
サーフィン・ボディボード・ボードセーリング ・ウインドサーフィン	5	0.5%
නිර	29	3.1%
スキー	28	3.0%
スノーボード	26	2.8%
クロスカントリースキー・スノーシュー	0	0.0%
アイススケート・アイスホッケー・カーリング	5	0.5%
アーチェリー・弓道・射撃・クレー射撃	0	0.0%
グライダー・ハンググライダー・パラグライダー・スカイダイビン グ	0	0.0%
乗馬	0	0.0%
障がい者スポーツ	0	0.0%
その他	3	0.3%
この1年間に運動・スポーツはしなかった	271	29.0%
わからない	33	3.5%

運動・スポーツの実施頻度を見ると、A自治体では、女性のスポーツ実施率(週1日以上の運動実施率)が全般的に低く、特に30代以下の若年層と60代の高齢層のスポーツ実施率が低い状況にある。

図表 19 A 自治体での性別・年代別に見た週1日以上の運動実施率(%) (n=935)

	全体		男性		女性	
	一般	A 自治体	一般	A 自治体	一般	A 自治体
10代	63.3	-	67.5	-	58.8	-
20代	50.0	49.7	54.3	65.0	45.4	39.3
30代	45.4	39.2	49.9	55.3	40.7	22.8
40代	42.2	40.3	46.4	46.6	37.8	34.1
50代	45.5	44.4	45.5	42.4	45.4	46.3
60代	58.4	52.6	56.0	59.6	60.5	43.3
70代	71.3	-	71.1	-	71.5	-

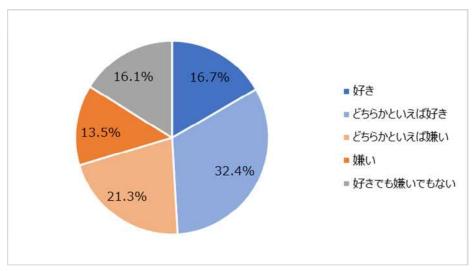
(出典) 一般: 平成 29 年度スポーツの実施状況等に関する世論調査、A 自治体: 本調査を基に作成

地域別に見ると、A自治体の中でも、特に一日の活動量(一日当たりの平均歩数)が少ない E地区、G地区、H地区はスポーツ実施率も低く、女性のスポーツ実施率も低い状況にある。

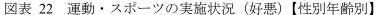
図表 20 A自治体の地域別に見た週1日以上の運動実施率 (%)

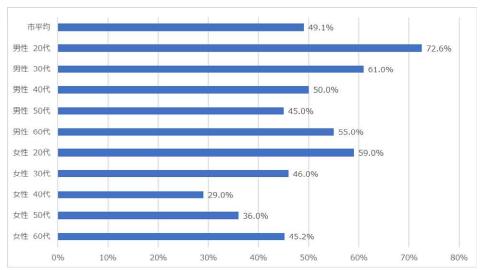


運動・スポーツの好き嫌いについては、運動・スポーツが「好き」「どちらかといえば好き」と回答した者が半数程度を占めており、特に女性は全般的に「好き」「どちらかといえば好き」と回答した者の割合が低くなっている。

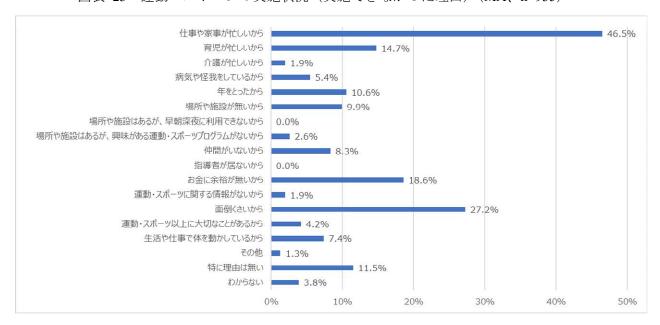


図表 21 運動・スポーツの実施状況 (好悪) (SA、n=935)





運動・スポーツが嫌いではないにもかかわらず、運動・スポーツを未実施の理由としては、「仕事や家事が忙しいから」が半数程度を占めており、次いで「面倒くさいから」、「お金に余裕がないから」などが多数を占めている。



図表 23 運動・スポーツの実施状況 (実施できなかった理由) (MA、n=935)

居住地域別に見ると、「仕事や家事が忙しいから」、「面倒くさいから」、「お金に余裕がないから」といった理由はどの地域でも同等に高い水準にある。一方で、スポーツ実施率が低い E 地区、G 地区、H 地区などの地域では「場所や施設が無いから」という回答が多く、スポーツを実施する場が課題として挙げられている。

場所や施 設はある 設はある 運動・ス 運動・ス 生活や仕 場所や施 面倒くさい ポーツ以上 介護が忙 が、早朝深 仲間がいな 指導者が ポーツに関 事で体を動 特に理由は 年をとった わからない 事が忙しい 我をしてい 設が無いか ある運動・ 裕が無いか その他 に大切なこ かしている とがあるから から しいから いから から 夜に利用 いから 居ないから する情報が から 無い できないか ないから ログラムが ないから 市平均 46.5% 10.6% 9.9% 0.0% 2.6% 0.0% 1.9% 4.2% 7.4% 11.5% 14.7% 1.9% 5.4% 27.2% 3.8% A地区 0.0% 0.0% 9.29 B地区 2.7% 4.19 8.19 0.0% 2.7% 0.0% 1.4% 2.79 5.4% 0.0% 8.1% 5.4% C地区 14.39 3.6% 0.0% 0.0% 0.0% 3.6% 1.8% 1.8% 1.8% 0.0% 5.4% D地区 10.0% 5.0% 5.0% E地区 0.0% 0.0% 5.9% 5.9% 5.9% 0.0% 5.9% 0.0% 0.0% 10.5% 0.0% 21.1% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 10.5%

図表 24 運動・スポーツの実施状況 (実施できなかった理由) 【居住地域別】

今後実施したいと思う運動・スポーツとしても最も多くの回答者があげているのは、ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)で、階段昇降(2 アップ 3 ダウン等)、ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝、トレーニング(筋力トレーニング・トレッドミル(ランニングマシーン)・室内運動器具を使ってする運動等)も多く挙げられている。この他にも、自転車(BMX 含む)・サイクリング、体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等)、エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティスも今後実施したい種目として 10%以上の者が回答している。今後始めてみたい運動・スポーツはないと回答した者は約 15%となっている。

図表 25 運動・スポーツの実施状況 (実施したいスポーツ) (MA、n=935)

	N	%
ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)	513	54.9%
階段昇降(2アップ3ダウン等)	119	12.7%
ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝	143	15.3%
陸上競技	11	1.2%
自転車(BMX含む)・サイクリング	98	10.5%
ローラースケート・インラインスケート・一輪車	6	0.6%
トレーニング(筋力トレーニング・トレッドミル(ランニングマシーン)・室内運動器具を使ってする運動等)	170	18.2%
体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等)	98	10.5%
エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス	102	10.9%
縄跳び	24	2.6%
器械体操・新体操・トランポリン	6	0.6%
ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・ フラダンス等)	40	4.3%
チアリーディング・バトントワリング	2	0.2%
水泳(競泳・水球・飛び込み・アーティスティックスイミング (シンクロナイズドスイミング)等)	66	7.1%
アクアエクササイズ・水中ウォーキング	28	3.0%
野球(硬式·軟式等)	30	3.2%
ソフトボール	6	0.6%
キャッチボール	27	2.9%
テニス・ソフトテニス	43	4.6%
バドミントン	43	4.6%
卓球(ラージボール含む)	47	5.0%
ゴルフ(コースでのラウンド)	40	4.3%
ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	40	4.3%
グラウンドゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッグゴル フ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等	6	0.6%
バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボール	19	2.0%
バスケットボール・ポートボール	19	2.0%
ドッジボール	2	0.2%
ハンドボール・その他屋内球技	1	0.1%
サッカー	17	1.8%
フットサル	17	1.8%

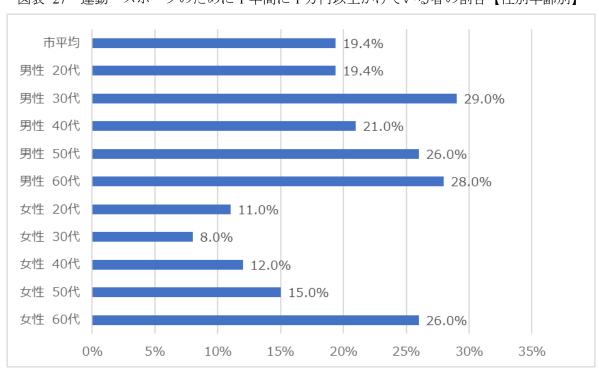
	N	%
ラグビー・アメリカンフットボール・タグラグビー	5	0.5%
グラウンドホッケー・ラクロス・その他屋外球技	1	0.1%
ボウリング	55	5.9%
ゲートボール	3	0.3%
レクリエーションスポーツ(ティーボール・フライングディスク・ インディアカ・スポーツチャンバラ・ユニカール・アルティメット 等)	9	1.0%
レスリング・相撲・ボクシング	11	1.2%
テコンドー・太極拳・合気道	5	0.5%
柔道	3	0.3%
剣道・居合道・なぎなた・銃剣道	2	0.2%
空手·少林寺拳法	12	1.3%
登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング	63	6.7%
フリークライミング・ボルダリング	19	2.0%
キャンプ・オートキャンプ	56	6.0%
ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテーリング	32	3.4%
ボート・漕艇・カヌー・カヤック・ラフティング	11	1.2%
ヨット・水上スキー・ウェイクボード・水上バイク・ジェットス キー	8	0.9%
スクーバダイビング・スキンダイビング・フリーダイビング・シュ ノーケリング	20	2.1%
サーフィン・ボディボード・ボードセーリング・ウインドサーフィン	9	1.0%
釣り	54	5.8%
スキー	62	6.6%
スノーボード	40	4.3%
クロスカントリースキー・スノーシュー	3	0.3%
アイススケート・アイスホッケー・カーリング	13	1.4%
アーチェリー・弓道・射撃・クレー射撃	7	0.7%
グライダー・ハンググライダー・パラグライダー・スカイダイビン グ	11	1.2%
- 乗馬	16	1.7%
障がい者スポーツ	0	0.0%
その他	2	0.2%
今後始めてみたい運動やスポーツはない	138	14.8%
わからない	53	5.7%

運動・スポーツのために1年間にかけた費用については、運動・スポーツにまったくお金をかけていないという回答が全体の半数程度を占めている。



図表 26 運動・スポーツの実施状況 (費用) (SA、n=935)

運動・スポーツのために1年間に1万円以上かけた者の割合を性別年齢別に見てみると、男性の方がお金をかけている者の割合が高く、また基本的には年を重ねるほど、お金をかけている者の割合が高い傾向にある。

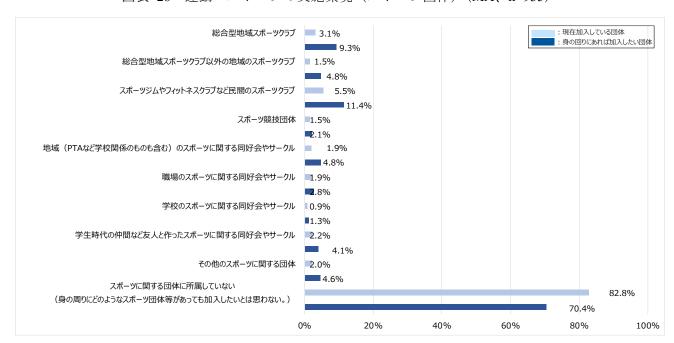


図表 27 運動・スポーツのために1年間に1万円以上かけている者の割合【性別年齢別】

(4) 運動・スポーツの実施環境

スポーツ団体、団体、運動やスポーツに関する同好会、サークル等への加入については、回答者の約8割がスポーツに関する団体に所属しておらず、約7割が加入の意欲も示していない状況にあるが、その差の1割は周囲に望ましいスポーツ団体等があれば加入したいと回答している。

特に総合型地域スポーツクラブや、スポーツジム・フィットネスクラブなど民間のスポーツクラブなどへの加入の意欲を示している者の割合が高い。



図表 28 運動・スポーツの実施環境 (スポーツ団体) (MA、n=935)

属性別に見てみても、全般的に、総合型地域スポーツクラブやスポーツジム・フィットネスクラブなど民間のスポーツクラブなどが、加入意欲はあるものの加入に至っていない者の割合が高い状況にある。性別年齢別にみると、特に高齢者や女性は総合型地域スポーツクラブに加入意欲はあるものの加入に至っていない者の割合が高く、若年層は、スポーツジム・フィットネスクラブなど民間のスポーツクラブに加入意欲はあるものの加入に至っていない者の割合が高い。

図表 29 運動・スポーツの実施環境 (スポーツ団体への加入意欲のギャップ) 【性別年齢別】

	総合型地域スポーツ クラブ	総合型地域スポーツ クラブ以外 の地域のスポーツクラブ	スポーツジ ムやフィット ネスクラブ など民間の スポーツク ラブ	スポーツ競 技団体	地域 (PTAなど 学校関係 のものも含む)のスポーツに関する同好 会やサークル	職場のスポーツに関する同好 会やサークル	学校のスポーツに関する同好 会やサークル	学生時代 の仲間など 友人と作っ たスポーツ に関する 同好会や サークル	その他のスポーツに関する団体	スポーツに 関する団 体に所属 していない	身の周りに どのような スポーツ団 体等があっ ても加入し たいとは思 わない。
市平均	6.2%	3.3%	6.0%	0.6%	2.9%	0.9%	0.4%	1.8%	2.6%	-82.8%	70.4%
男性 20代	-3.2%	9.7%	8.1%	-1.6%	4.8%	-1.6%	-1.6%	8.1%	1.6%	-69.4%	53.2%
男性 30代	1.0%	4.0%	6.0%	2.0%	1.0%	2.0%	1.0%	-2.0%	3.0%	-75.0%	72.0%
男性 40代	4.0%	0.0%	5.0%	1.0%	2.0%	1.0%	1.0%	6.0%	4.0%	-86.0%	73.0%
男性 50代	9.0%	2.0%	7.0%	-2.0%	2.0%	3.0%	0.0%	4.0%	2.0%	-84.0%	67.0%
男性 60代	10.0%	4.0%	3.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	1.0%	4.0%	-81.0%	69.0%
女性 20代	5.0%	9.0%	10.0%	3.0%	6.0%	5.0%	3.0%	1.0%	5.0%	-83.0%	66.0%
女性 30代	6.0%	2.0%	15.0%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	-92.0%	73.0%
女性 40代	7.0%	1.0%	1.0%	-1.0%	1.0%	-2.0%	-1.0%	0.0%	1.0%	-87.0%	79.0%
女性 50代	11.0%	2.0%	7.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	-1.0%	3.0%	-84.0%	75.0%
女性 60代	9.6%	1.4%	-4.1%	0.0%	4.1%	-1.4%	0.0%	1.4%	1.4%	-80.8%	69.9%

特にスポーツ実施率が低い G 地区では、他地域よりもそれらのスポーツ団体への加入意欲はあるものの加入に至っていない者の割合が高い。

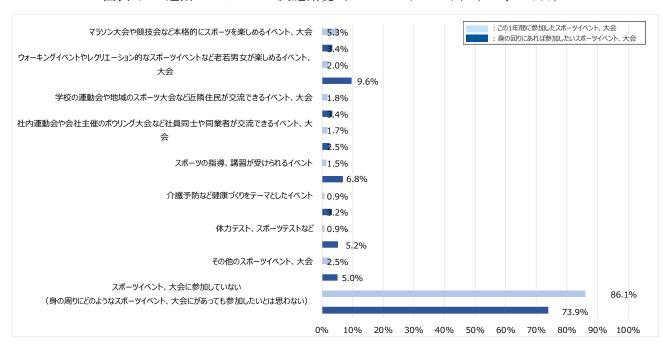
図表 30 運動・スポーツの実施環境 (スポーツ団体への加入意欲のギャップ) 【居住地域別】

	総合型地域スポーツクラブ	フラー ハリタル	スポーツジ ムやフィット ネスクラブ など民間の スポーツクラ ブ	スポーツ競技団体	地域 (PTAなど 学校関係 のものも含む)のス ポーツに関 する同好 会やサーク ル	職場のスポーツに関する同好 会やサークル		学生時代 の仲間など 友人と作っ たスポーツ に関する同 好会やサー クル	その他のス ポーツに関 する団体	スポーツに 関する団 体に所属し ていない	身の周りに どのようなスポーツ団体 等があって も加入した いとは思わ ない。
	6.2%	3.3%	6.0%	0.6%	2.9%	0.9%	0.4%	1.8%	2.6%	-82.8%	70.4%
A地区	4.7%	3.5%	5.1%	1.6%	4.7%	-0.4%	-0.4%	1.6%	1.9%	-79.0%	69.6%
B地区	7.4%	4.0%	7.9%	1.0%	5.0%	0.0%	1.0%	2.0%	4.5%	-81.7%	67.8%
C地区	6.0%	6.6%	3.8%	-0.5%	1.1%	2.7%	0.5%	2.2%	0.5%	-82.4%	69.8%
D地区	7.4%	0.0%	8.8%	0.0%	2.9%	1.5%	0.0%	1.5%	1.5%	-86.8%	69.1%
E地区	5.1%	2.6%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	5.1%	-88.5%	74.4%
F地区	5.1%	-3.4%	5.1%	0.0%	-1.7%	-3.4%	-1.7%	0.0%	1.7%	-81.4%	69.5%
G地区	11.6%	2.3%	9.3%	-2.3%	4.7%	7.0%	4.7%	2.3%	4.7%	-86.0%	72.1%
H地区	6.5%	2.2%	4.3%	4.3%	0.0%	4.3%	2.2%	4.3%	2.2%	-93.5%	82.6%

※上記の図表(スポーツ団体への加入意欲のギャップ)に示した割合(%)は、いずれも「身の回りにあれば加入したい団体」と回答した者の割合(%)から「現在加入している団体」と回答した者の割合(%)を引いて算出している。

スポーツイベント、大会への参加については、回答者の約85%がスポーツイベント、大会に参加したことがなく、約75%が参加の意欲も示していない状況にあるが、前問同様にその差の1割強は周囲に望ましいスポーツイベント、大会があれば参加したいと回答している。

特にウォーキングやレクリエーションなど老若男女が楽しめるイベントや、スポーツの指導講習が受けられるイベントなどは参加の意欲を示している者の割合が高い。



図表 31 運動・スポーツの実施環境 (スポーツイベント) (MA、n=935)

属性別に見てみても、全般的に、ウォーキングやレクリエーションなど老若男女が楽しめるイベントや、スポーツの指導講習が受けられるイベントなどについて、参加意欲はあるものの参加に至っていない者の割合が高い状況にある。

図表 32 運動・スポーツの実施環境 (スポーツイベントへの参加意欲のギャップ) 【性別年齢別】

	マラソン大 会や競技 会など本 格的にス ポーツを楽 しめるイベント、大会	ウォーキン グイベント やレクリン エーシスポー ツイベント など老若 男女がそれ、 大 しめる、大会	学校の運 動域のスポー ツ大隣流で が交流で るイベン ト、大会	同士や同	スポーツの 指導、講 習が受けら れるイベン ト	介護予防 など健康づ くりをテーマ としたイベ ント	体力テス ト、スポー ツテストな ど	その他のス ポーツイベ ント、大会	スポーツイ ベント、大 会に参加 していない	身の周りに どのような スポーツイ ベント、大 会にがあっ ても参加し たいとは思 わない
市平均	-1.9%	7.6%	1.6%	0.7%	5.3%	2.4%	4.4%	2.6%	-86.1%	73.9%
男性 20代	-9.7%	14.5%	1.6%	1.6%	3.2%	0.0%	3.2%	3.2%	-69.4%	58.1%
男性 30代	-2.0%	3.0%	2.0%	5.0%	5.0%	0.0%	8.0%	2.0%	-81.0%	70.0%
男性 40代	-2.0%	7.0%	4.0%	1.0%	6.0%	4.0%	6.0%	7.0%	-83.0%	70.0%
男性 50代	-2.0%	9.0%	-1.0%	0.0%	1.0%	3.0%	3.0%	4.0%	-85.0%	73.0%
男性 60代	-2.0%	11.0%	6.0%	0.0%	7.0%	3.0%	3.0%	-1.0%	-87.0%	74.0%
女性 20代	0.0%	7.0%	3.0%	-1.0%	5.0%	5.0%	3.0%	6.0%	-86.0%	72.0%
女性 30代	3.0%	3.0%	0.0%	1.0%	6.0%	2.0%	4.0%	-1.0%	-91.0%	79.0%
女性 40代	-2.0%	7.0%	-2.0%	-1.0%	4.0%	3.0%	3.0%	3.0%	-93.0%	79.0%
女性 50代	-4.0%	6.0%	2.0%	1.0%	6.0%	2.0%	4.0%	0.0%	-89.0%	84.0%
女性 60代	-1.4%	12.3%	0.0%	0.0%	11.0%	0.0%	6.8%	2.7%	-91.8%	74.0%

特にスポーツ実施率が低い G 地区では、スポーツ団体同様に、他地域よりもそれらのスポーツイベントに参加意欲はあるものの参加に至っていない者の割合が高い状況にある。

図表 33 運動・スポーツの実施環境 (スポーツイベントへの参加意欲のギャップ) 【居住地域別】

	マラソン大 会や競技 会など本格 的にスポー ツを楽しめ るイベント、 大会	ション的な スポーツイ ベントなど 老若男女	学校の運 域のスポット が交へれずな が交がで が交べへ るイベ会	社内運動会や会社主催の大量を 主催の大力リング大員を など社同交など社同交る 大大員業 者できる大	指導、講	介護予防 など健康づ くりをテーマ としたイベン ト		その他のス ポーツイベ ント、大会	スポーツイ ベント、大 会に参加し ていない	身の周りに どのようなスポーツイベント、大会 にがあって も参加した いとは思わない
市平均	-1.9%	7.6%	1.6%	0.7%	5.3%	2.4%	4.4%	2.6%	-86.1%	73.9%
A地区	-2.7%	8.2%	2.3%	0.0%	4.7%	1.9%	5.8%	1.9%	-84.8%	74.3%
B地区	-3.5%	8.4%	1.5%	3.0%	6.9%	4.0%	4.0%	3.0%	-85.1%	72.8%
C地区	-1.1%	6.6%	2.2%	1.1%	3.8%	2.7%	3.3%	2.2%	-85.7%	73.1%
D地区	-1.5%	7.4%	4.4%	0.0%	5.9%	2.9%	1.5%	0.0%	-89.7%	75.0%
E地区	0.0%	1.3%	-1.3%	0.0%	3.8%	1.3%	5.1%	5.1%	-88.5%	79.5%
F地区	-5.1%	8.5%	-1.7%	-6.8%	5.1%	0.0%	0.0%	6.8%	-81.4%	64.4%
G地区	4.7%	14.0%	4.7%	4.7%	9.3%	0.0%	11.6%	2.3%	-90.7%	67.4%
H地区	0.0%	8.7%	-2.2%	2.2%	6.5%	2.2%	4.3%	0.0%	-91.3%	87.0%

※上記の図表(スポーツイベントへの参加意欲のギャップ)に示した割合(%)は、いずれも「身の回りにあれば参加したいスポーツイベント、大会」と回答した者の割合(%)から「この1年間に参加したスポーツイベント、大会」と回答した者の割合(%)を引いて算出している。

行政担当者を対象としたアンケート調査票の中では、自治体が提供している健康教室や運動プログラムの実施回数、利用人数について、地域別に聴取している。

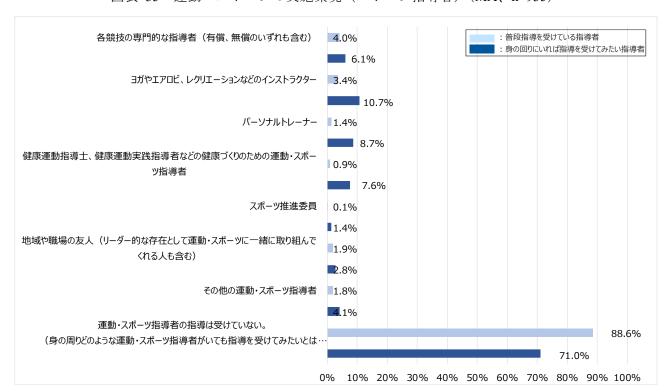
地域別に見ると、自治体が提供している健康教室や運動プログラムの実施回数、利用人数ともにG地区は少ない状況にある。

図表 34 自治体が提供している健康教室や運動プログラムの実施回数、利用人数

			実施回	回数	利用者数計
全体			(4,597) 回	(308,219)人
(A)地区	(951)回	(72,700)人
(В)地区	(240) 回	(46,915)人
(С)地区	(344) 回	(46,127)人
(D)地区	(227) 回	(42,043)人
(Е)地区	(163) 回	(54,143)人
(F) 地区	(667) 回	(9,172)人
(G)地区	(156) 回	(13,913)人
(Н)地区	(1,849) 回	(23,206)人

運動・スポーツの指導やサポートについては、回答者の約9割がスポーツ指導者の指導を受けたことがなく、約7割は指導を受けたいという意欲も示していない状況にあるが、その差の2割弱は周囲に望ましい指導者がいれば指導を受けてみたいと回答している。

特にヨガやエアロビ、レクリエーションなどのインストラクター、パーソナルトレーナー、健康指導 士、健康運動実践者などの健康づくりのための運動・スポーツ指導者などに指導を受けてみたいという 意欲を示している者の割合が高い。



図表 35 運動・スポーツの実施環境 (スポーツ指導者) (MA、n=935)

属性別に見てみても、全般的に、ヨガやエアロビ、レクリエーションなどのインストラクター、パーソナルトレーナー、健康指導士、健康運動実践者などの健康づくりのための運動・スポーツ指導者などに、指導を受ける意欲はあるものの、指導を受けるには至っていない者の割合が高い状況にある。

性別年齢別にみると、特に 20~30 代の女性はヨガやエアロビ、レクリエーションなどのインストラクターやパーソナルトレーナーに指導を受ける意欲はあるものの、指導を受けるには至っていない者の割合が高い。一方で、居住地域ごとのばらつきはそれほど大きくない。

図表 36 運動・スポーツの実施環境 (スポーツ指導者による指導への意欲のギャップ) 【性別年齢別】

		各競技の 専門的な 指導有償、 無償のい ずれも含 む)	3ガやエア ロビ、レクリ エーション などのイン ストラクター	パーソナル トレーナー	健康事動、 調事主選指 は は は は は は は さ い り の た め の が れ り り り り り り り り り り り り り り り り り り	スポーツ推 進委員	地域や職場の友人 (リー存在 として運 ポーツに一緒に 取り組んでくれるも)	その他の運 動・スポー ツ指導者	運動・ス ポーツ指導 者の指導 は受けてい ない。	身の周りどのような運動・スポーツ指導者がいても指導を受けてみたいとは思わない。
		2.1%	7.3%	7.3%	6.7%	1.3%	0.9%	2.2%	-88.6%	71.0%
男性	20代	0.0%	8.1%	3.2%	4.8%	0.0%	3.2%	0.0%	-80.6%	64.5%
男性	30代	4.0%	3.0%	8.0%	8.0%	2.0%	1.0%	1.0%	-87.0%	72.0%
男性	40代	7.0%	4.0%	6.0%	7.0%	1.0%	-1.0%	5.0%	-91.0%	76.0%
男性	50代	2.0%	5.0%	2.0%	11.0%	1.0%	2.0%	4.0%	-93.0%	71.0%
男性	60代	6.0%	8.0%	1.0%	4.0%	3.0%	4.0%	1.0%	-90.0%	77.0%
女性	20代	-1.0%	13.0%	13.0%	7.0%	1.0%	-2.0%	3.0%	-88.0%	69.0%
女性	30代	3.0%	21.0%	10.0%	3.0%	1.0%	1.0%	1.0%	-93.0%	66.0%
女性	40代	0.0%	6.0%	12.0%	6.0%	0.0%	-1.0%	2.0%	-95.0%	73.0%
女性	50代	-2.0%	0.0%	13.0%	7.0%	2.0%	2.0%	2.0%	-84.0%	74.0%
女性	60代	1.4%	4.1%	1.4%	9.6%	1.4%	0.0%	2.7%	-78.1%	63.0%

図表 37 運動・スポーツの実施環境 (スポーツ指導者による指導への意欲のギャップ) 【居住地域別】

	各競技の 専門的な 指導者 (有償、 無償のいず れも含む)		パーソナル トレーナー	健康事動、動場では 健康等では 健康というでは はないのでは はいるできる。 はいる。 はいるできる。 はいるできる。 はいるできる。 はいるできる。 はいるできる。 はいるできる。 はいるできる。 はいるできる。 はいるできる。 はいるでも	スポーツ推進委員	地域や職場の人の (リークを) してで (リークを) して (リークを) でくれる (リークを) 組ん (リークを) 組ん (リークを) して (リークを) になった (リーク	その他の運 動・スポー ツ指導者	運動・ス ポーツ指導 者の指導 は受けてい ない。	身の周りど のような運 動・スポー ツ指導者 がいても指 導を受けて みたいとは 思わない。
市平均	2.1%	7.3%	7.3%	6.7%	1.3%	0.9%	2.2%	-88.6%	71.0%
A地区	-0.8%	8.2%	4.3%	5.8%	0.8%	0.8%	2.3%	-87.5%	71.6%
B地区	1.0%	6.4%	7.9%	7.4%	2.0%	0.5%	3.0%	-85.6%	69.3%
C地区	1.6%	9.3%	9.9%	7.1%	1.1%	-0.5%	2.7%	-87.9%	69.2%
D地区	5.9%	4.4%	8.8%	5.9%	1.5%	2.9%	0.0%	-91.2%	69.1%
E地区	6.4%	5.1%	3.8%	7.7%	0.0%	1.3%	-1.3%	-93.6%	79.5%
F地区	1.7%	10.2%	10.2%	6.8%	1.7%	0.0%	1.7%	-86.4%	62.7%
G地区	7.0%	11.6%	9.3%	2.3%	2.3%	4.7%	9.3%	-93.0%	67.4%
H地区	8.7%	-2.2%	8.7%	10.9%	2.2%	2.2%	0.0%	-95.7%	84.8%

※上記の図表 (スポーツ指導者からの指導への参加意欲のギャップ) に示した割合 (%) は、いずれも「身の回りにいれば指導を受けてみたい指導者」と回答した者の割合 (%) から「普段指導を受けている指導者」と回答した者の割合 (%) を引いて算出している。

行政担当者を対象としたアンケート調査票の中では、自治体に居住するスポーツ指導者数について、 地域別に聴取している。

健康づくりのための運動スポーツ指導者については一定のニーズがあると思われるが、A 自治体においては、健康運動指導士、健康運動実践指導者などの健康体力づくり事業財団の有資格者については、地域ごとの数字は把握が難しい状況だった。

スポーツ推進委員 JSPO 有資格者※1 健体有資格者※2 日レク有資格者※3 全体) 人 (270) 人)人) 人 (A) 地区) 人) 人) 人 (39) 人) 人 (B) 地区 (47) 人 () 人 () 人 (C) 地区 () 人) 人 (26) 人)人 (((D) 地区 (26) 人 ()人 ()人 () 人 (E) 地区 (26) 人 ()人 ()人) 人 (F) 地区 (28) 人) 人) 人) 人 (G) 地区 (37) 人 () 人 () 人 () 人 (H) 地区 (() 人 ((41) 人)人) 人

図表 38 スポーツ指導者数(居住者)

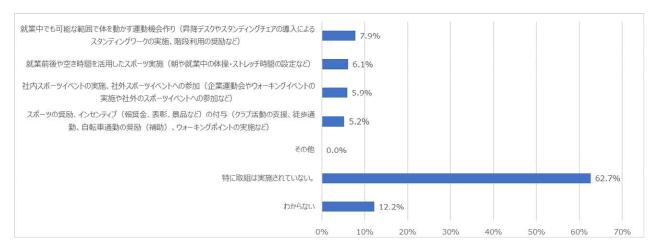
※JSPO (日本スポーツ協会) 有資格者には、スポーツ指導者基礎資格 (スポーツリーダー、コーチングアシスタント)、競技別指導者資格 (スタートコーチ、コーチ 1 (旧指導員)、コーチ 2 (旧上級指導員)、コーチ 3 (旧コーチ)、コーチ 4 (旧上級コーチ)、教師、上級教師)、フィットネス資格 (ジュニアスポーツ指導員、スポーツプログラマー、フィットネストレーナー)、メディカル・コンディショニング資格 (スポーツドクター、アスレティックトレーナー (JSPO - AT)、スポーツ栄養士、スポーツデンティスト)、マネジメント資格 (クラブマネジャー、アシスタントマネジャー)を含む。

※健体(健康体力づくり事業財団)有資格者には、健康運動指導士、健康運動実践指導者を含む。

※日レク(日本レクリエーション協会)有資格者には、レクリエーション・インストラクター、スポーツ・レクリエーション指導者、レクリエーション・コーディネーター、福祉レクリエーション・ワーカーを含む。

職場における従業員の運動・スポーツ実施を支援する取組については、職場でもなんらかの形で運動・スポーツを促している企業・団体が 2~3 割程度存在している。ただし、特に取組は実施されていないという回答が 6 割程度となっている。

図表 39 運動・スポーツの実施環境 (職場でのスポーツ実施) (MA、n=641)

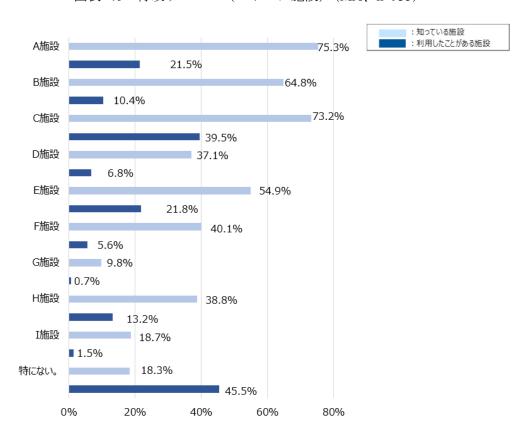


(5) 行政サービス

A 自治体内のスポーツ施設の認知度や利用経験について、全体でみると回答者の 8 割以上が A 自治体内のスポーツ施設について、いずれかの施設は知っていると回答しているが、いずれかを利用したことがあると回答した者の割合は半数程度となっている。

利用したことがあると回答した者の割合が最も高かったのはC施設で、A施設とE施設がそれに続いている。

また、知名度と利用割合のギャップが最も小さかったのは H 施設となっている。



図表 40 行政サービス (スポーツ施設) (MA、n=935)

属性別に見ると、特に居住地域によってスポーツ施設の利用状況に若干差があるようであり、特にスポーツ施設の利用実績が低かったのが H 地区となっている。スポーツ施設を利用したことがないと回答したものが 3/4 を占めており、スポーツ施設の利用面に課題を抱えている可能性が示唆される。

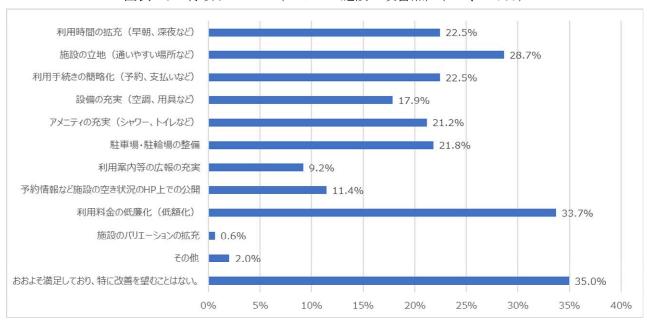
図表 41 行政サービス (利用したスポーツ施設) 【性別年齢別】

	A施設	B施設	C施設	D施設	E施設	F施設	G施設	H施設	I施設	特にない。
	21.5%	10.4%	39.5%	6.8%	21.8%	5.6%	0.7%	13.2%	1.5%	45.5%
男性 20代	22.6%	4.8%	35.5%	4.8%	11.3%	3.2%	3.2%	9.7%	3.2%	50.0%
男性 30代	28.0%	11.0%	39.0%	6.0%	18.0%	10.0%	1.0%	15.0%	3.0%	44.0%
男性 40代	29.0%	12.0%	41.0%	11.0%	21.0%	11.0%	1.0%	11.0%	2.0%	42.0%
男性 50代	21.0%	7.0%	38.0%	13.0%	25.0%	11.0%	0.0%	12.0%	1.0%	42.0%
男性 60代	23.0%	4.0%	36.0%	7.0%	23.0%	6.0%	0.0%	12.0%	0.0%	47.0%
女性 20代	22.0%	17.0%	36.0%	4.0%	21.0%	1.0%	1.0%	11.0%	0.0%	50.0%
女性 30代	15.0%	12.0%	40.0%	2.0%	14.0%	3.0%	1.0%	13.0%	1.0%	47.0%
女性 40代	21.0%	19.0%	47.0%	5.0%	28.0%	2.0%	1.0%	14.0%	3.0%	43.0%
女性 50代	19.0%	8.0%	42.0%	9.0%	31.0%	3.0%	0.0%	18.0%	1.0%	45.0%
女性 60代	12.3%	5.5%	38.4%	5.5%	21.9%	4.1%	0.0%	15.1%	1.4%	46.6%

図表 42 行政サービス (利用したスポーツ施設) 【居住地域別】

	A施設	B施設	C施設	D施設	E施設	F施設	G施設	H施設	I施設	特にない。
市平均	21.5%	10.4%	39.5%	6.8%	21.8%	5.6%	0.7%	13.2%	1.5%	45.5%
A地区	24.9%	10.9%	40.1%	9.3%	27.6%	6.2%	0.8%	14.4%	1.2%	43.6%
B地区	28.2%	14.4%	46.0%	5.9%	27.7%	5.9%	1.0%	15.3%	1.0%	39.1%
C地区	19.8%	10.4%	38.5%	7.1%	19.2%	6.0%	0.0%	12.1%	1.1%	45.1%
D地区	22.1%	5.9%	38.2%	2.9%	16.2%	1.5%	0.0%	5.9%	2.9%	48.5%
E地区	14.1%	7.7%	39.7%	9.0%	16.7%	7.7%	1.3%	12.8%	1.3%	48.7%
F地区	13.6%	8.5%	40.7%	6.8%	13.6%	8.5%	3.4%	8.5%	3.4%	44.1%
G地区	14.0%	11.6%	34.9%	4.7%	16.3%	0.0%	0.0%	30.2%	2.3%	46.5%
H地区	8.7%	2.2%	15.2%	0.0%	6.5%	2.2%	0.0%	2.2%	2.2%	76.1%

公共のスポーツ施設に改善を望むことについては、回答者の 1/3 以上が「おおよそ満足しており、特に 改善を望むことはない」と回答している。一方で、改善を望むこととしては、「利用料金の低廉化」、「施 設の立地」などが多く回答されている。



図表 43 行政サービス (スポーツ施設の改善点) (MA、n=935)

属性別に見ると、「利用料金の低廉化」、「施設の立地」ついては全般的に改善要望が強いが、性別年齢別に見てみると、特に女性は施設の立地に関する改善の要望が強いようである。

図表 44 行政サービス (スポーツ施設の改善点) 【性別年齢別】

	利用時間 の拡充 (早朝、 深夜など)	施設の立 地 (通い やすい場 所など)	利用手続 きの簡略 化(予 約、支払 いなど)	設備の充 実(空 調、用具 など)	アメニティの 充実 (シャ ワー、トイ レなど)	駐車場・ 駐輪場の 整備	利用案内 等の広報 の充実	予約情報 など施設の 空き状況 のHP上で の公開	利用料金 の低廉化 (低額 化)	施設のバリ エーション の拡充	その他	おおよそ満 足してお り、特に改 善を望むこ とはない。
市平均	22.5%	28.7%	22.5%	17.9%	21.2%	21.8%	9.2%	11.4%	33.7%	0.6%	2.0%	35.0%
男性 20代	22.6%	24.2%	24.2%	14.5%	21.0%	12.9%	3.2%	4.8%	27.4%	0.0%	0.0%	35.5%
男性 30代	29.0%	33.0%	20.0%	25.0%	24.0%	18.0%	5.0%	8.0%	29.0%	0.0%	1.0%	32.0%
男性 40代	32.0%	20.0%	21.0%	14.0%	20.0%	21.0%	9.0%	9.0%	30.0%	1.0%	0.0%	32.0%
男性 50代	21.0%	23.0%	12.0%	15.0%	21.0%	18.0%	6.0%	6.0%	25.0%	2.0%	3.0%	44.0%
男性 60代	20.0%	24.0%	27.0%	23.0%	16.0%	28.0%	16.0%	10.0%	39.0%	0.0%	3.0%	35.0%
女性 20代	32.0%	35.0%	26.0%	22.0%	28.0%	24.0%	7.0%	12.0%	31.0%	0.0%	3.0%	36.0%
女性 30代	20.0%	32.0%	24.0%	15.0%	19.0%	25.0%	12.0%	21.0%	27.0%	1.0%	1.0%	34.0%
女性 40代	17.0%	26.0%	21.0%	13.0%	18.0%	24.0%	9.0%	17.0%	40.0%	1.0%	3.0%	39.0%
女性 50代	19.0%	32.0%	22.0%	18.0%	25.0%	25.0%	11.0%	13.0%	43.0%	0.0%	3.0%	31.0%
女性 60代	8.2%	38.4%	30.1%	17.8%	19.2%	17.8%	12.3%	11.0%	46.6%	1.4%	2.7%	30.1%

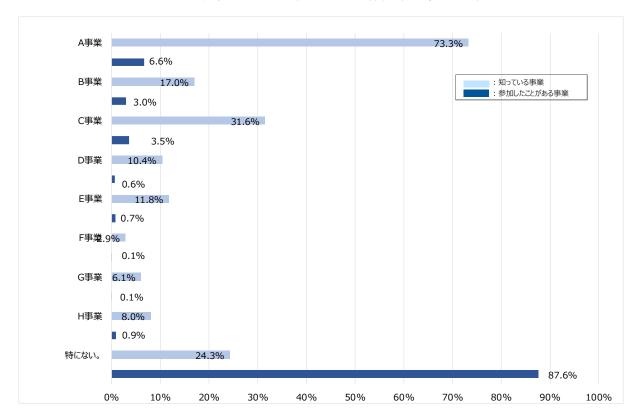
また、居住地域別にみると、F地区の住民が他と比べてやや満足度が低いという結果となっている。

図表 45 行政サービス (スポーツ施設の改善点) 【居住地域別】

	利用時間 の拡充 (早朝、深 夜など)	施設の立 地 (通い やすい場所 など)	利用手続きの簡略 化(予 約、支払いなど)	設備の充 実(空 調、用具な ど)	分主(シヤ	駐車場・駐 輪場の整 備	利用案内 等の広報 の充実	予約情報 など施設の 空き状況 のHP上で の公開	利用料金 の低廉化 (低額 化)	施設のバリ エーションの 拡充	その他	おおよそ満足しており、特に改善を望むことはない。
市平均	22.5%	28.7%	22.5%	17.9%	21.2%	21.8%	9.2%	11.4%	33.7%	0.6%	2.0%	35.0%
A地区	21.0%	30.7%	27.6%	17.5%	21.4%	19.8%	8.2%	13.2%	32.7%	1.2%	1.6%	34.2%
B地区	27.7%	26.2%	19.8%	17.8%	21.3%	20.8%	9.4%	9.9%	37.6%	0.5%	2.0%	34.2%
C地区	26.9%	29.7%	22.0%	21.4%	25.3%	27.5%	12.6%	10.4%	29.1%	0.5%	2.7%	32.4%
D地区	13.2%	32.4%	20.6%	17.6%	10.3%	22.1%	2.9%	7.4%	35.3%	0.0%	1.5%	47.1%
E地区	14.1%	21.8%	19.2%	14.1%	19.2%	15.4%	6.4%	9.0%	34.6%	0.0%	1.3%	41.0%
F地区	30.5%	32.2%	23.7%	18.6%	16.9%	30.5%	11.9%	11.9%	39.0%	0.0%	5.1%	22.0%
G地区	18.6%	27.9%	20.9%	16.3%	34.9%	11.6%	7.0%	20.9%	32.6%	0.0%	2.3%	30.2%
H地区	10.9%	26.1%	15.2%	13.0%	15.2%	23.9%	13.0%	13.0%	30.4%	2.2%	0.0%	45.7%

A 自治体内におけるスポーツ事業の認知度や利用経験について、全体でみると回答者の 3/4 以上が A 自治体におけるスポーツ事業のいずれかについては知っていると回答しているが、いずれかに参加したことがあると回答した者の割合は 10%強にとどまっている。

参加したことがある回答した者の割合が最も高かったのは A 事業で、C 事業がそれに続いている。



図表 46 行政サービス (スポーツ事業) (MA、n=935)

性別年齢別に見てみると、男性(特に20~30代)の方が何らかの事業に参加したことがあると回答している割合が高い(参加したことがないと回答した者の割合が低い)。

図表 47 行政サービス (参加したスポーツ事業) 【性別年齢別】

	A事業	B事業	C事業	D事業	E事業	F事業	G事業	H事業	特にない。
市平均	6.6%	3.0%	3.5%	0.6%	0.7%	0.1%	0.1%	0.9%	87.6%
男性 20代	11.3%	9.7%	3.2%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.8%
男性 30代	10.0%	7.0%	3.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	79.0%
男性 40代	13.0%	1.0%	4.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.0%
男性 50代	8.0%	6.0%	11.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	2.0%	82.0%
男性 60代	3.0%	0.0%	10.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88.0%
女性 20代	9.0%	4.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	87.0%
女性 30代	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	95.0%
女性 40代	3.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	2.0%	96.0%
女性 50代	5.0%	2.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	92.0%
女性 60代	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	95.9%

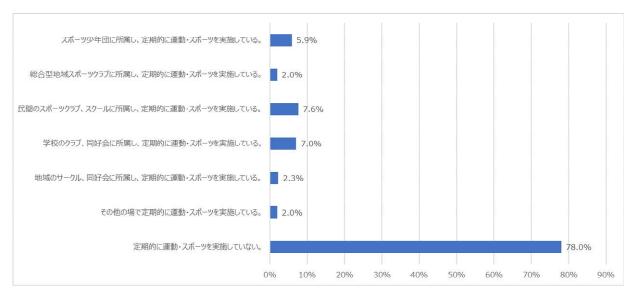
居住地域別にみると、スポーツ実施率の低い E 地区、G 地区、H 地区は市のスポーツ事業に参加したことがないと回答した者の割合も高い。

図表 48 行政サービス (参加したスポーツ事業) 【居住地域別】

	A事業	B事業	C事業	D事業	E事業	F事業	G事業	H事業	特にない。
市平均	6.6%	3.0%	3.5%	0.6%	0.7%	0.1%	0.1%	0.9%	87.6%
A地区	6.6%	3.1%	4.7%	0.8%	0.4%	0.0%	0.0%	0.8%	86.8%
B地区	7.4%	5.0%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	85.1%
C地区	7.1%	2.7%	3.3%	1.1%	0.5%	0.0%	0.0%	1.6%	87.4%
D地区	8.8%	1.5%	4.4%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	86.8%
E地区	2.6%	2.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	94.9%
F地区	10.2%	3.4%	5.1%	3.4%	5.1%	1.7%	1.7%	1.7%	83.1%
G地区	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	93.0%
H地区	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	93.5%

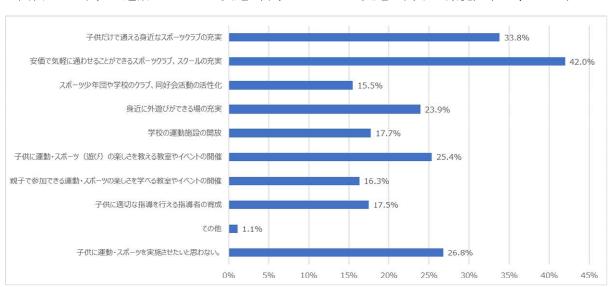
(6) 子供の運動・スポーツ実施

小学生以下の子供と同居している者の中で、子供が定期的に運動・スポーツを実施していない者が約8割を占めている。



図表 49 子供の運動・スポーツ実施 (子供のスポーツ実施状況) (MA、n=355)

子供の運動・スポーツ実施を促すための環境としては、「安価で気軽に通わせることができるスポーツクラブ、スクールの充実」、「子供だけで通える身近なスポーツクラブの充実」、「子供に運動・スポーツ(遊び)の楽しさを教える教室やイベントの開催」、「身近に外遊びができる場の充実」などがあげられている。



図表 50 子供の運動・スポーツ実施(子供のスポーツ実施に向けた環境)(MA、n=355)

行政担当者を対象としたアンケート調査票の中では、子供の運動・スポーツ実施状況に関する情報として、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点や児童公園数、総合型地域スポーツクラブや少年団に所属している児童・生徒数について、地域別に聴取している。

A 自治体においては、児童公園数などは地域差が若干存在している。

図表 51 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点

			小学校 男子	小学校 女子	中学校 男子	中学校 女子
全体			(55.08) 点	(57.75) 点	(44.67)点	(53.23) 点
(A)地区	(55.57) 点	(58.30) 点	(44.64) 点	(53.64) 点
(В)地区	(55.68) 点	(57.74) 点	(44.84) 点	(53.80) 点
(С)地区	(55.11) 点	(58.64) 点	(44.20)点	(53.12) 点
(D)地区	(55.56) 点	(58.27) 点	(44.34) 点	(53.47) 点
(Е)地区	(55.39) 点	(58.49) 点	(44.18) 点	(54.72) 点
(F)地区	(55.01) 点	(56.94) 点	(43.25) 点	(52.59) 点
(G)地区	(56.54) 点	(58.30) 点	(44.54)点	(54.22) 点
(Н)地区	(55.36) 点	(57.97) 点	(43.79)点	(52.37) 点

図表 52 児童公園数

				児童公園	数
	全体	•	(1,296)施設
(A)地区	(229)施設
(В)地区	(263)施設
(С)地区	(227)施設
(D)地区	(140)施設
(Е)地区	(124)施設
(F)地区	(163)施設
(G)地区	(69)施設
(Н)地区	(81)施設

なお、A自治体においては、総合型地域スポーツクラブや少年団に所属している児童・生徒数は把握することが難しいということだったが、把握可能なスポーツクラブに所属している子供の割合をみると、G地区、B地区の子供は対地域に比べてやや低い。

図表 53 小中学校の児童・生徒数、その中で総合型地域スポーツクラブや少年団に 所属している児童・生徒数

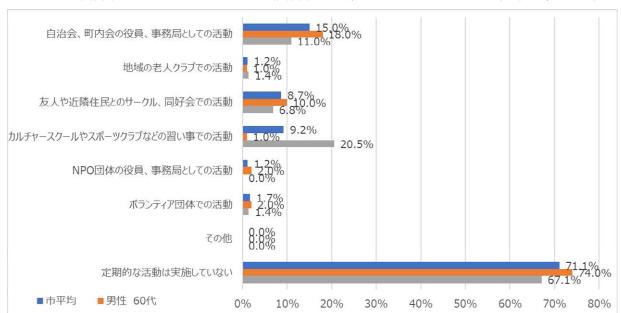
	小学生	少年団に属する小		総合型ク属する小		中学生	少年団属する		総合型ク属する中	
全体	(37,382) 人	()人	()人	(18,191) 人	()人	()人
(A) 地区	(7,963) 人	()人	()人	(3,434) 人	()人	()人
(B) 地区	(7,822) 人	()人	()人	(3,647) 人	()人	()人
(C) 地区	(6,141) 人	()人	()人	(3,361) 人	()人	()人
(D) 地区	(3,538) 人	()人	()人	(1,671) 人	()人	()人
(E) 地区	(3,603) 人	()人	()人	(1,813) 人	()人	()人
(F) 地区	(3,894) 人	()人	()人	(1,948) 人	()人	()人
(G) 地区	(2,029) 人	()人	()人	(1,003) 人	()人	()人
(H) 地区	(2,392) 人	()人	()人	(1,314) 人	()人	()人

図表 54 《参考》地域のスポーツクラブに所属している子供の割合

	小学校 男子	小学校 女子	中学校 男子	中学校 女子
全体	(45.0) %	(28.1) %	(16.1) %	(10.3) %
(A) 地区	(45.7) %	(26.4) %	(14.6) %	(9.8) %
(B) 地区	(44.6) %	(25.1) %	(10.2) %	(6.9) %
(C) 地区	(43.6) %	(21.6) %	(18.1) %	(9.6) %
(D) 地区	(45.7) %	(23.1) %	(17.5) %	(10.1) %
(E) 地区	(47.5) %	(35.0) %	(15.8) %	(10.6) %
(F) 地区	(44.2) %	(33.5) %	(13.3) %	(9.7) %
(G) 地区	(47.3) %	(27.4) %	(9.5) %	(4.5) %
(H) 地区	(44.7) %	(28.3) %	(13.4) %	(9.9) %

(7) 高齢者の運動・スポーツ実施

定期的な活動は実施していな高齢者が全体の約7割を占めており、特に男性の方がその割合が高い。 男性は自治会、町内会の役員、事務局としての活動を実施している者の割合が高く、女性はカルチャー スクールやスポーツクラブなどの習い事での活動している者の割合が高い。



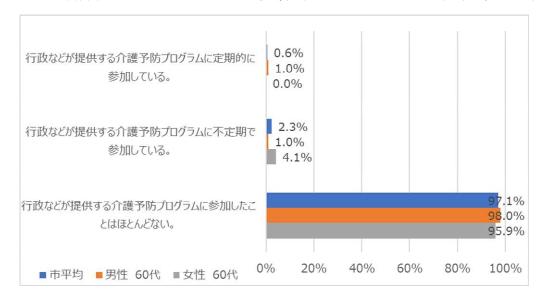
図表 55 高齢者の運動・スポーツ実施(高齢者の定期的に実施している活動)(MA、n=173)

図表 56 高齢者の運動・スポーツ実施(高齢者の定期的に実施している活動)【居住地域別】

	自治会、町 内会の役 員、事務局 としての活 動	地域の老 人クラブで の活動	友人や近 隣住民との サークル、 同好会で の活動	カルチャー スクールや スポーツクラ ブなどの習 い事での活 動	の役員、事務局として	ボランティア 団体での 活動	その他	定期的な活 動は実施し ていない
市平均	15.0%	1.2%	8.7%	9.2%	1.2%	1.7%	0.0%	71.1%
A地区	14.0%	1.8%	10.5%	10.5%	3.5%	1.8%	0.0%	71.9%
B地区	17.1%	0.0%	11.4%	11.4%	0.0%	2.9%	0.0%	60.0%
C地区	19.2%	0.0%	11.5%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	76.9%
D地区	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	78.6%
E地区	11.1%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%	77.8%
F地区	10.0%	10.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	70.0%
G地区	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%
H地区	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%

行政などが提供する介護予防事業については、プログラムに参加したことがかないと回答した者が約97%を占めるという結果となった。

図表 57 高齢者の運動・スポーツ実施(介護予防プログラムへの参加)(SA、n=173)



行政担当者を対象としたアンケート調査票の中では、高齢者や障がい者のスポーツ実施に関する情報として、介護予防教室(プログラム)数や障がい者が利用可能なスポーツ施設、指導者数について、地域別に聴取している。下図表のような状況となっている。

図表 58 自治体が提供している介護予防のための教室数 (プログラム数)、利用人数

	実施回数	利用者数計
全体	(293) 回	(3,126) 人
(A) 地区	(63) 回	(788) 人
(B) 地区	(71) 回	(503) 人
(C) 地区	(56) 回	(710) 人
(D) 地区	(8) 回	(54) 人
(E) 地区	(13) 回	(146) 人
(F) 地区	(42) 回	(457) 人
(G) 地区	(16) 回	(236) 人
(H) 地区	(24) 回	(232) 人

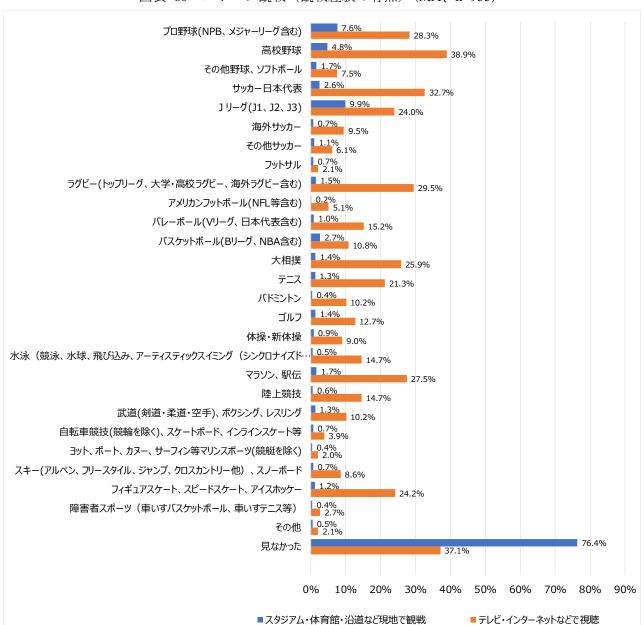
図表 59 障がい者が利用可能なスポーツ施設数、障がい者スポーツ指導員数

	スポーツ施設数	指導員数
全体	(97) 施設	(147) 人
(A) 地区	(11) 施設	(28) 人
(B) 地区	(11) 施設	(25) 人
(C) 地区	(7) 施設	(16) 人
(D) 地区	(5) 施設	(22)人
(E) 地区	(11) 施設	(17) 人
(F) 地区	(16) 施設	(6) 人
(G) 地区	(16) 施設	(26) 人
(H) 地区	(20) 施設	(7) 人

(8) スポーツ観戦

この1年間のスポーツ観戦の状況としては、現地観戦したスポーツとしてはJリーグ、プロ野球、高校野球の順で多かった。一方で見なかったと回答した者も3/4程度を占めている。

テレビ・インターネットでの視聴についてはJリーグ、プロ野球、高校野球に加えて、サッカー日本代表やラグビー、マラソン、駅伝などが多くを占めている。テレビ・インターネットでも視聴しなかったと回答している者の割合は4割弱となっている。

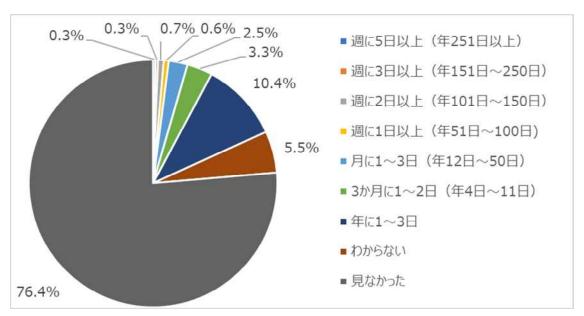


図表 60 スポーツ観戦 (観戦経験の有無) (MA、n=935)

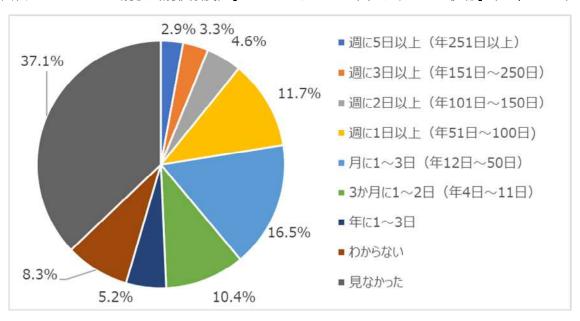
スポーツ観戦の頻度については、スタジアム・体育館・沿道などでの観戦は、年に1日以上と回答している者の割合は2割となっており、週に1日以上と回答している者の割合は約2%となっている。

テレビ・インターネットでの視聴については、年に1日以上と回答している者の割合は半数以上を占めており、週に1日以上と回答している者の割合も2割以上を占めている。

図表 61 スポーツ観戦 (観戦頻度) 【スタジアム・体育館・沿道など現地での観戦】(SA、n=935)

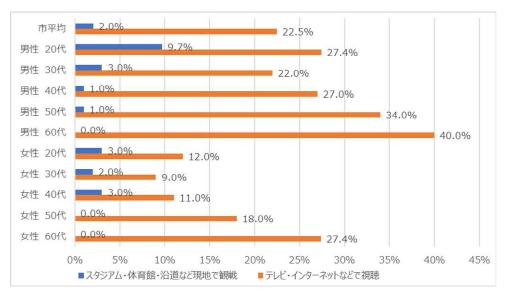


図表 62 スポーツ観戦 (観戦頻度) 【テレビ・インターネットなどでの視聴】(SA、n=935)



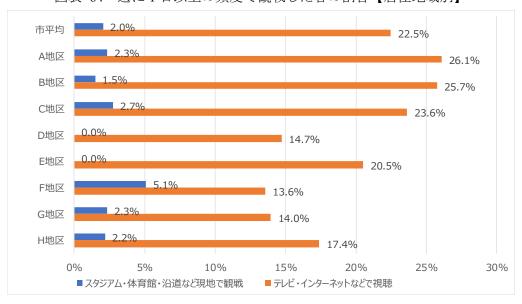
性別年齢別にみると、テレビ・インターネットでの視聴については、男性の方が週に1日以上の頻度で観戦した者の割合が高く、また中高年齢層ほど観戦の頻度が高かった。

一方で、スタジアム・体育館・沿道などでの観戦は若年層の方が、観戦頻度が高い。



図表 63 週に1日以上の頻度で観戦した者の割合【性別年齢別】

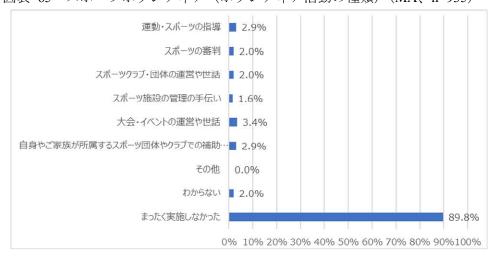
居住地域別にみると、テレビ・インターネットでの視聴については、D地区、F地区、G地区などが、低めとなっている。



図表 64 週に1日以上の頻度で観戦した者の割合【居住地域別】

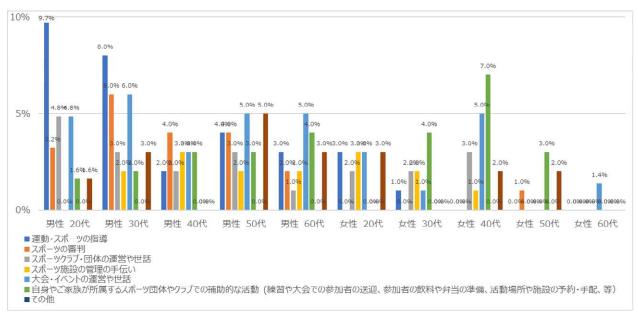
(9) スポーツボランティア

運動・スポーツに関するボランティア活動については、全く実施しなかったと回答したものが約9割を占めている。実施されたものとしては、運動・スポーツの指導、大会・イベントの運営や世話、自身やご家族が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動 (練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備、活動場所や施設の予約・手配、等)が多い。



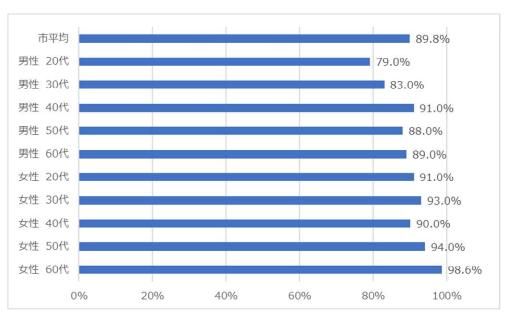
図表 65 スポーツボランティア (ボランティア活動の種類) (MA、n=935)

性別年齢別に見ると、若年層の男性は、運動・スポーツの指導やスポーツの審判などの実施割合が高い。中高年層(特に女性)は自身やご家族が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動 (練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備、活動場所や施設の予約・手配、等)の割合が高い。



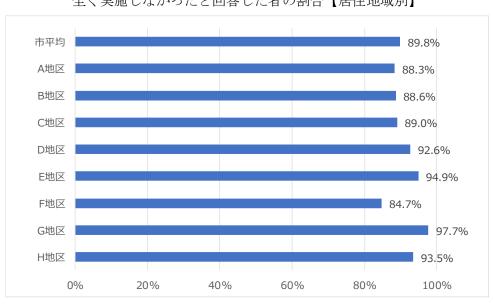
図表 66 スポーツボランティア (ボランティア活動の種類) 【性別年齢別】

全く実施しなかったと回答した者については、性別年齢別にみると女性の方が高く、特に中高年齢層ほど高くなっている。



図表 67 スポーツボランティア (ボランティア活動の種類) 全く実施しなかったと回答した者の割合【性別年齢別】

居住地域別にみると、スポーツ実施率同様に、E地区、G地区、H地区などが、スポーツボランティアについても全く実施しなかったと回答した者の割合が高くなっている。



図表 68 スポーツボランティア (ボランティア活動の種類) 全く実施しなかったと回答した者の割合【居住地域別】

スポーツに関するボランティア活動の実施頻度については、年に1回以上と回答した者の割合が約8%であり、週に1日以上と回答した高頻度の実施者は3~4%となっている。

0.3% 1.1% -0.4% -1.6%1.2% 1.9% 1.4% 2.2%
 週に3日以上(年151日~250日)
 週に2日以上(年101日~150日)
 週に1日以上(年51日~100日)
 月に1~3日(年12日~50日)
 3か月に1~2日(年4日~11日)
 年に1~3日
 わからない
 まったく実施しなかった

図表 69 スポーツボランティア (ボランティア活動の頻度) (SA、n=935)

3. B 自治体の調査結果概要

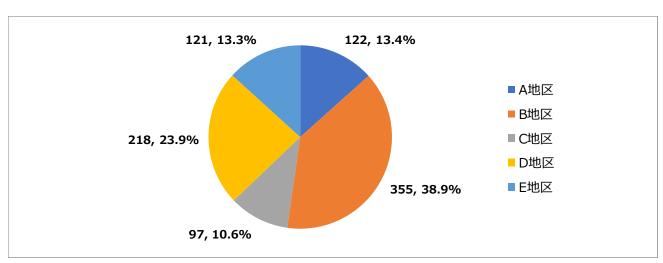
(1)回答者の属性

回答者の性別、年齢は下記の通り。20 代 \sim 60 代の男女を性別年代ごとに各 100 サンプルずつ回収した(ただし、調査会社の保有サンプルが不足しているため、男性 20 代と女性 60 代のサンプル数は 100 に達していない。)。

20代 30代 40代 50代 60代 合計 男性 53 100 100 100 100 453 女性 100 100 100 100 60 460 合計 200 200 200 160 913 153

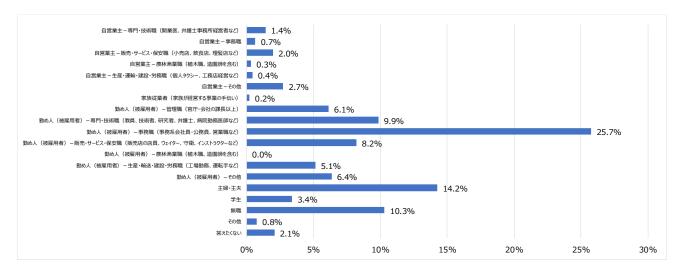
図表 70 年齢性別ごとのサンプル数

居住エリアの内訳は下記の通り。



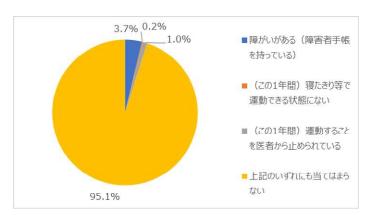
図表 71 回答者の居住エリア (SA、n=913)

回答者の職業は、自営業者が 7~8%、勤め人が約 60%、主婦・主夫が約 14%、無職が約 10%を占めている。



図表 72 回答者の職業 (SA、n=913)

回答者のうち、障がいがある方または身体上運動できない方は約5%を占めた。



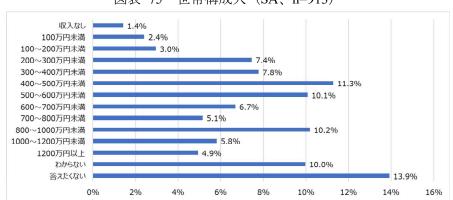
図表 73 障がいがある人または身体上運動できない人(SA、n=913)

回答者の5~6割は、配偶者がおり、4割弱が子供と同居している。

配偶者 57% 父親·母親 21% 子ども 38% 祖父母 1% 兄弟姉妹 **7**% 孫・ひ孫 1% その他 **1**% 一人暮らし 19% 答えたくない 🔳 2% 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%

図表 74 世帯構成人 (MA、n=913)

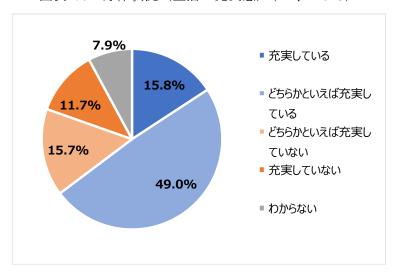
また、回答者の家計収入の状況は以下の通りだった。



図表 75 世帯構成人 (SA、n=913)

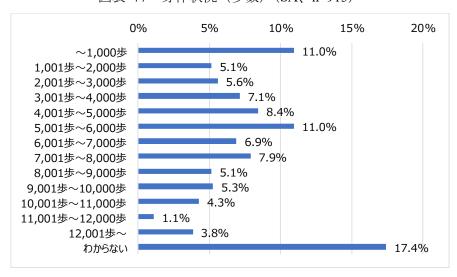
(2) 住民の身体状況

生活の充実感については、回答者の 6 割以上が「充実している」、「どちらかといえば充実している」 と回答している。



図表 76 身体状況(生活の充実感)(SA、n=913)

また、日常の身体活動の状況としては、回答者のうち一日の平均歩数が 6,000 歩以上と回答した者の割合は約 35%で、8,000 歩以上と回答した者の割合は約 20%だった(A 自治体と比較すると身体活動量は多かった。)。

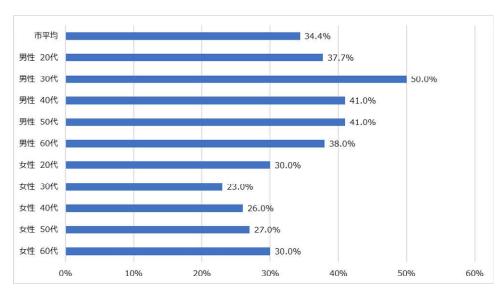


図表 77 身体状況 (歩数) (SA、n=913)

※厚生労働省/運動基準・運動指針の改定に関する検討会 報告書では8,000~10,000 歩を推奨。

※厚生労働省:平成30年度国民健康・栄養調査によると、一日の平均歩数は男性6,794歩、女性5,942歩。

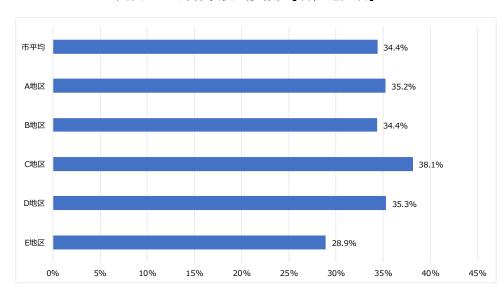
一日の平均歩数を性別年齢別に見てみると、男性に比べて女性は一日の活動量(一日当たりの平均歩数)が少ない。



図表 78 身体状況(歩数)【性別年齢別】

※上図表は1日6,001歩以上歩く人の割合を示している。

また、居住地域別に見ると、人口が少なく、人口密度もそれほど高くない、E 地区の住民は、一日の活動量(一日当たりの平均歩数)が少ないという結果になっている。



図表 79 身体状況(歩数)【居住地区別】

※上図表は1日6,001歩以上歩く人の割合を示している。

(3) 運動・スポーツの実施状況

この1年間で行った運動・スポーツとして最も多くの回答者があげているのがウォーキング(散歩・ ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)で、全体の約半数が回答している。これに次いで多いのが、階段 昇降 (2 アップ 3 ダウン等)、ランニング (ジョギング)・マラソン・駅伝、トレーニング (筋力トレーニング・トレッドミル (ランニングマシーン)・室内運動器具を使ってする運動等)で、それぞれ 10%以上 となっている。

一方で、この1年間に運動・スポーツはしなかったと回答した者も1/4程度を占めている。

図表 80 運動・スポーツの実施状況 (実施したスポーツ) (MA、n=913)

図衣 80 連動・スホーク	り天旭	21/1/1/1	(美施したスかーソ) (MA、n=913)		
	Ν	%		N	%
ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)	495	54.2%	ラグビー・アメリカンフットボール・タグラグビー	0	0.0%
階段昇降(2アップ3ダウン等)	128	14.0%	グラウンドホッケー・ラクロス・その他屋外球技	0	0.0%
ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝	98	10.7%	ボウリング	38	4.2%
陸上競技	3	0.3%	ゲートボール	0	0.0%
自転車(BMX含む)・サイクリング	74	8.1%	レクリエーションスポーツ(ティーボール・フライングディスク・ インディアカ・スポーツチャンバラ等)	1	0.1%
ローラースケート・インラインスケート・一輪車	4	0.4%	レスリング・相撲・ボクシング	2	0.2%
トレーニング(筋カトレーニング・トレッドミル(ランニングマ シーン) ・室内運動器具を使ってする運動等)	106	11.6%	テコンドー・太極拳・合気道	1	0.1%
体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等)	60	6.6%	柔道	0	0.0%
エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス	57	6.2%	剣道・居合道・なぎなた・銃剣道	2	0.2%
縄跳び	9	1.0%	空手・少林寺拳法	2	0.2%
器械体操・新体操・トランポリン	2	0.2%	登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング	33	3.6%
ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・ フラダンス等)	14	1.5%	フリークライミング・ボルダリング	4	0.4%
チアリーディング・バトントワリング	0	0.0%	キャンプ・オートキャンプ	23	2.5%
水泳(競泳・水球・飛び込み・アーティスティックスイミング (シンクロナイズドスイミング)等)	40	4.4%	ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテーリング	16	1.8%
アクアエクササイズ・水中ウォーキング	16	1.8%	ボート・漕艇・カヌー・カヤック・ラフティング	3	0.3%
野球(硬式·軟式等)	27	3.0%	ヨット・水上スキー・ウェイクボード・水上バイク・ジェットス キー	2	0.2%
ソフトボール	3	0.3%	スクーバダイビング・スキンダイビング・フリーダイビング ・シュノーケリング	6	0.7%
キャッチボール	16	1.8%	サーフィン・ボディボード・ボードセーリング ・ウインドサーフィン	5	0.5%
テニス・ソフトテニス	30	3.3%	釣り	27	3.0%
バドミントン	20	2.2%	スキー	19	2.1%
卓球(ラージボール含む)	23	2.5%	スノーボード	24	2.6%
ゴルフ(コースでのラウンド)	38	4.2%	クロスカントリースキー・スノーシュー	1	0.1%
ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	35	3.8%	アイススケート・アイスホッケー・カーリング	4	0.4%
グラウンドゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッグゴル フ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等	2	0.2%	アーチェリー・弓道・射撃・クレー射撃	2	0.2%
バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボール	4	0.4%	グライダー・ハンググライダー・パラグライダー・スカイダイビン グ	1	0.1%
バスケットボール・ポートボール	10	1.1%	乗馬	6	0.7%
ドッジボール	2	0.2%	障がい者スポーツ	0	0.0%
ハンドボール・その他屋内球技	0	0.0%	その他	9	1.0%
サッカー	11	1.2%	この1年間に運動・スポーツはしなかった	237	26.0%
フットサル	17	1.9%	わからない	40	4.4%

運動・スポーツの実施頻度を見ると、B自治体は、30代以下の若年層のスポーツ実施率が低く、特に30代以下の女性のスポーツ実施率が低い。

図表 81 B自治体の性別・年代別に見た週1日以上の運動実施率(%)(n=913)

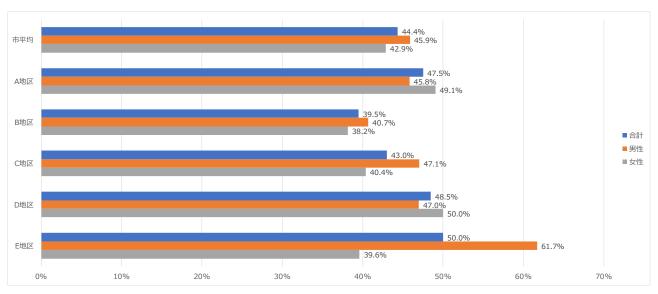
	全	体	男	男性 女性		性
	一般	B自治体	一般	B自治体	一般	B自治体
10代	63.3	-	67.5	-	58.8	-
20代	50.0	40.0	54.3	53.2	45.4	33.0
30代	45.4	38.5	49.9	41.9	40.7	34.9
40代	42.2	44.3	46.4	43.0	37.8	45.6
50代	45.5	43.3	45.5	38.2	45.4	48.4
60代	58.4	56.4	56.0	55.9	60.5	57.1
70代	71.3	-	71.1	-	71.5	-

(出典) 一般: 平成 29 年度スポーツの実施状況等に関する世論調査、B自治体: 本調査を基に作成

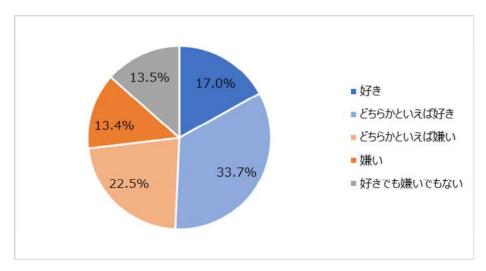
地域別に見ると、B自治体の中でも、一日の活動量(一日当たりの平均歩数)が最も少ないE地区が最もスポーツ実施率が高く、特に男性のスポーツ実施率が高い。

一方で、スポーツ実施率が低い地域は、B地区、C地区の順となっている。

図表 82 B自治体の地域別に見た週1日以上の運動実施率(%)

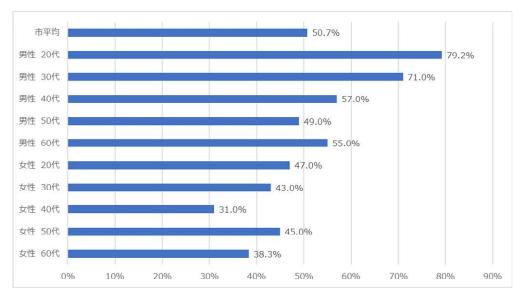


運動・スポーツの好き嫌いについては、運動・スポーツが「好き」「どちらかといえば好き」と回答した者が半数程度を占めており、特に女性は全般的に「好き」「どちらかといえば好き」と回答した者の割合が低くなっている。

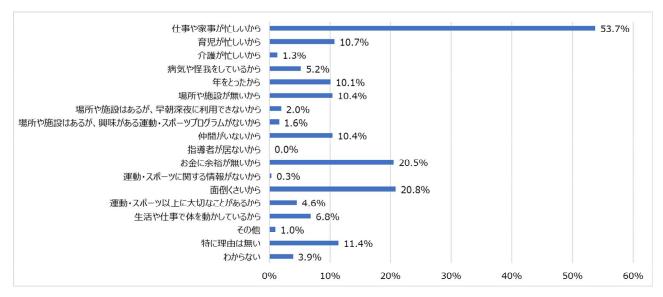


図表 83 運動・スポーツの実施状況 (好悪) (SA、n=913)





運動・スポーツが嫌いではないにもかかわらず、運動・スポーツを未実施の理由としては、「仕事や家事が忙しいから」が半数程度を占めており、次いで「面倒くさいから」、「お金に余裕がないから」が約2割を占めている。



図表 85 運動・スポーツの実施状況 (実施できなかった理由)

居住地域別に見ると、「仕事や家事が忙しいから」、「面倒くさいから」、「お金に余裕がないから」といった理由はどの地域でも同等に高い水準にある。一方で、スポーツ実施率が低い B 地区、C 地区では、「場所や施設が無いから」という回答が高くなっており、スポーツを実施する場が課題として挙げられている。

場所や施 場所や施 設はある 運動・ス 運動・ス 生活や仕 仕事や家 事が忙しい 設はある 病気や怪 場所や施 が、興味が お金に金 特に理由はわからない が、早朝深 育児が忙 介護が忙 年をとった 仲間がいな 指導者が ポーツに関 面倒くさい ポーツ以上 事で体を動 我をしてい 設が無いか ある運動・ 裕が無いか その他 に大切なこ かしている とがあるから から しいから しいから から 夜に利用 いから 居ないから する情報が から 無い るから スポーツブ できないか ないから ログラムが 市平均 53.7% 10.7% 1.3% 5.2% 10.1% 10.4% 2.0% 1.6% 10.4% 0.0% 20.5% 0.3% 20.8% 4.6% 6.8% 1.0% 11.4% 3.9% A地区 41.2% 2.9% 0.0% 8.8% 8.8% 2.9% 2.9% 0.0% 26.59 0.0% 14.7% 5.9% 8.8% 0.0% 14.79 0.0% 14.79 11.8 B地区 5.8% 6.5% 0.0% 0.0% 4.3% 1.4% 2.2% 2.9% 2.9% 6.5% 0.7% 0.0% 0.0% 3.2% C地区 3.2% 16.19 0.0% 9.79 0.0% 0.0% 0.0% 9.7% 16.19 D地区 0.0% 1.4% 10.19 0.0% 0.0% 0.0% 7.2% 7.2% 5.7% 0.0% 0.0%

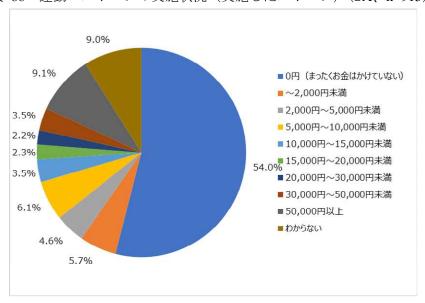
図表 86 運動・スポーツの実施状況 (実施できなかった理由) 【居住地域別】

今後実施したいと思う運動・スポーツとしても最も多くの回答者があげているのがウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)で、階段昇降(2 アップ 3 ダウン等)、ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝、トレーニング(筋力トレーニング・トレッドミル(ランニングマシーン)・室内運動器具を使ってする運動等)も多く挙げられている。この他にも、自転車(BMX 含む)・サイクリング、エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティスも今後実施したい種目として 10%以上の者が回答している。今後始めてみたい運動・スポーツはないと回答した者は約 14%となっている。

図表 87 運動・スポーツの実施状況 (実施したスポーツ) (MA、n=913)

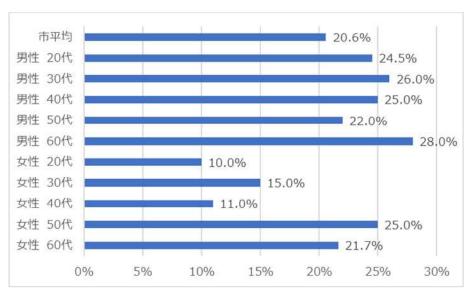
	->) \ //	3.07.00	(天旭 したハホーナ) (MA、II-913)		
	N	%		N	%
ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)	524	57.4%	ラグビー・アメリカンフットボール・タグラグビー	3	0.3%
階段昇降(2アップ3ダウン等)	126	13.8%	グラウンドホッケー・ラクロス・その他屋外球技	0	0.0%
ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝	130	14.2%	ボウリング	58	6.4%
陸上競技	5	0.5%	ゲートボール	3	0.3%
自転車(BMX含む)・サイクリング	91	10.0%	レクリエーションスポーツ(ティーボール・フライングディスク・ インディアカ・スポーツチャンバラ・ユニカール・アルティメット 等)	9	1.0%
ローラースケート・インラインスケート・一輪車	10	1.1%	レスリング・相撲・ボクシング	7	0.8%
トレーニング(筋カトレーニング・トレッドミル(ランニングマ シーン)・室内運動器具を使ってする運動等)	150	16.4%	テコンドー・太極拳・合気道	10	1.1%
体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等)	84	9.2%	柔道	1	0.1%
エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス	120	13.1%	剣道・居合道・なぎなた・銃剣道	4	0.4%
縄跳び	18	2.0%	空手・少林寺拳法	13	1.4%
器械体操・新体操・トランポリン	11	1.2%	登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング	61	6.7%
ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・ フラダンス等)	42	4.6%	フリークライミング・ボルダリング	21	2.3%
チアリーディング・バトントワリング	2	0.2%	キャンプ・オートキャンプ	54	5.9%
水泳(競泳・水球・飛び込み・アーティスティックスイミング (シンクロナイズドスイミング) 等)	81	8.9%	ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテーリング	37	4.1%
アクアエクササイズ・水中ウォーキング	40	4.4%	ボート・漕艇・カヌー・カヤック・ラフティング	10	1.1%
野球(硬式·軟式等)	37	4.1%	ヨット・水上スキー・ウェイクボード・水上バイク・ジェットス キー	12	1.3%
ソフトボール	11	1.2%	スクーバダイビング・スキンダイビング・フリーダイビング・シュ ノーケリング	34	3.7%
キャッチボール	23	2.5%	サーフィン・ボディボード・ボードセーリング・ウインドサーフィン	19	2.1%
テニス・ソフトテニス	68	7.4%	釣り	61	6.7%
バドミントン	47	5.1%	スキー	51	5.6%
卓球(ラージボール含む)	35	3.8%	スノーボード	49	5.4%
ゴルフ(コースでのラウンド)	49	5.4%	クロスカントリースキー・スノーシュー	5	0.5%
ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	42	4.6%	アイススケート・アイスホッケー・カーリング	20	2.2%
グラウンドゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッグゴルフ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等	6	0.7%	アーチェリー・弓道・射撃・クレー射撃	17	1.9%
バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボール	13	1.4%	グライダー・ハンググライダー・パラグライダー・スカイダイビン グ	13	1.4%
バスケットボール・ポートボール	21	2.3%	乗馬	27	3.0%
ドッジボール	4	0.4%	障がい者スポーツ	1	0.1%
ハンドボール・その他屋内球技	5	0.5%	その他	2	0.2%
サッカー	22	2.4%	今後始めてみたい運動やスポーツはない	127	13.9%
フットサル	26	2.8%	わからない	59	6.5%

運動・スポーツのために1年間にかけた費用については、運動・スポーツにまったくお金をかけていないという回答が全体の半数程度を占めている。



図表 88 運動・スポーツの実施状況 (実施したスポーツ) (SA、n=913)

運動・スポーツのために1年間に1万円以上かけた者の割合を性別年齢別に見てみると、男性の方がお金をかけている者の割合が高く、また基本的には年を重ねるほど、お金をかけている割合が高い傾向にある。

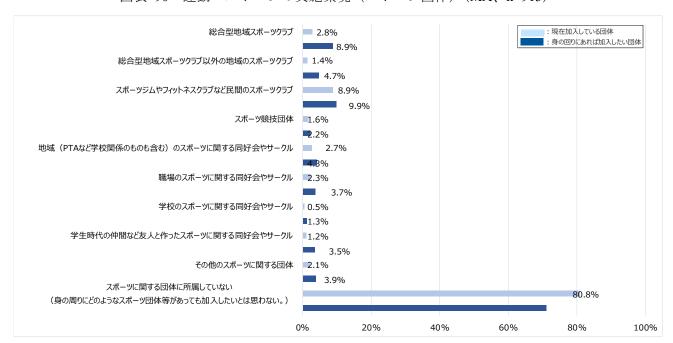


図表 89 運動・スポーツのために1年間に1万円以上かけている者の割合【性別年齢別】

(4) 運動・スポーツの実施環境

スポーツ団体、団体、運動やスポーツに関する同好会、サークル等への加入については、回答者の約8割がスポーツに関する団体に所属しておらず、約7割が加入の意欲も示していない状況にあるが、その差の1割は周囲に望ましいスポーツ団体等があれば加入したいと回答している。

特に総合型地域スポーツクラブや、スポーツジム・フィットネスクラブなど民間のスポーツクラブなどは加入の意欲を示している者の割合が高い。



図表 90 運動・スポーツの実施環境 (スポーツ団体) (MA、n=913)

属性別に見てみても、全般的に、総合型地域スポーツクラブなどは、加入意欲はあるものの加入に至っていない者の割合が高い状況にある。

性別年齢別にみると、スポーツ実施率が低かった 30 代、50 代の男性、20 代、30 代の女性などは、総合型地域スポーツクラブ以外のスポーツ団体への加入意欲も高く、スポーツ実施の意欲は低くなく、スポーツを実施する場に課題を抱えている状況がうかがえる。

図表 91 運動・スポーツの実施環境 (スポーツ団体への加入意欲のギャップ) 【性別年齢別】

	総合型地 域スポーツ クラブ	総合型地域スポーツクラブ以外の地域のスポーツクラブ	スポーツジ ムやフィット ネスクラブ など民間の スポーツクラ ブ	スポーツ競 技団体	地域 (PTAなど 学校関係のもののののののです。 のもののののののです。 おっツに関する同好 会やサークル	職場のスポーツに関する同好 会やサークル	学校のスポーツに関する同好 会やサークル		その他のス ポーツに関 する団体	スポーツに 関する団 体に所属し ていない	身の周りに どのようなスポーツ団体 等があって も加入した いとは思わない。
市平均	6.0%	3.3%	1.0%	0.5%	1.5%	1.4%	0.8%	2.3%	1.9%	-80.8%	71.1%
男性 20代	7.5%	0.0%	1.9%	0.0%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	-1.9%	-69.8%	54.7%
男性 30代	7.0%	10.0%	-8.0%	0.0%	3.0%	1.0%	3.0%	8.0%	1.0%	-72.0%	69.0%
男性 40代	2.0%	1.0%	-3.0%	1.0%	1.0%	-5.0%	1.0%	-1.0%	4.0%	-83.0%	77.0%
男性 50代	9.0%	3.0%	8.0%	2.0%	-2.0%	1.0%	-1.0%	3.0%	1.0%	-84.0%	68.0%
男性 60代	1.0%	2.0%	0.0%	2.0%	-1.0%	1.0%	-1.0%	1.0%	3.0%	-86.0%	82.0%
女性 20代	11.0%	1.0%	11.0%	0.0%	6.0%	7.0%	1.0%	5.0%	3.0%	-85.0%	64.0%
女性 30代	7.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	5.0%	3.0%	3.0%	3.0%	-77.0%	67.0%
女性 40代	6.0%	6.0%	-1.0%	0.0%	-1.0%	2.0%	1.0%	1.0%	1.0%	-84.0%	78.0%
女性 50代	4.0%	3.0%	5.0%	-1.0%	5.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	-84.0%	70.0%
女性 60代	6.7%	5.0%	-8.3%	1.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	-76.7%	75.0%

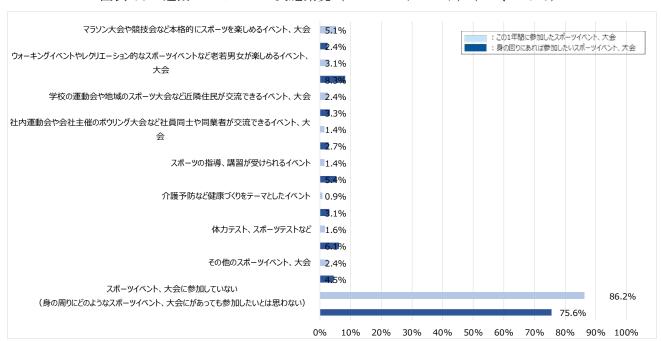
図表 92 運動・スポーツの実施環境 (スポーツ団体への加入意欲のギャップ) 【居住地域別】

		クラノ以外	スポーツジ ムやフィット ネスクラブ など民間の スポーツクラ ブ	スポーツ競 技団体	地域 (PTAなど 学校関係 のものもの か)のス ポーツに関 する同好 会やサーク ル	職場のス ポーツに関 する同好 会やサーク ル	学校のスポーツに関する同好 会やサークル		ホーツに関	スポーツに 関する団 体に所属し ていない	身の周りに どのようなスポーツ団体 等があって も加入した いとは思わない。
	6.0%	3.3%	1.0%	0.5%	1.5%	1.4%	0.8%	2.3%	1.9%	-80.8%	71.1%
A地区	11.5%	7.4%	1.6%	3.3%	3.3%	0.8%	1.6%	0.0%	1.6%	-78.7%	71.3%
B地区	5.9%	3.1%	0.0%	-0.6%	3.1%	1.7%	0.6%	3.4%	3.1%	-82.3%	71.0%
C地区	1.0%	1.0%	-2.1%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	-1.0%	1.0%	-76.3%	78.4%
D地区	3.7%	2.8%	1.8%	1.8%	0.5%	2.3%	1.4%	4.6%	0.5%	-78.9%	65.1%
E地区	9.1%	2.5%	4.1%	-1.7%	-2.5%	0.8%	0.0%	0.0%	1.7%	-86.0%	76.0%

※上記の図表 (スポーツ団体への加入意欲のギャップ) に示した割合 (%) は、いずれも「身の回りにあれば加入したい団体」と回答した者の割合 (%) から「現在加入している団体」と回答した者の割合 (%) を引いて算出している。

スポーツイベント、大会への参加については、回答者の約85%がスポーツイベント、大会に参加したことがなく、約75%が参加の意欲も示していない状況にあるが、その差の1割強は周囲に望ましいスポーツイベント、大会があれば参加したいと回答している。

特にウォーキングやレクリエーションなど老若男女が楽しめるイベントや、体力テスト、スポーツテスト、スポーツの指導講習が受けられるイベントなどは参加の意欲を示している者の割合が高い。



図表 93 運動・スポーツの実施環境 (スポーツイベント) (MA、n=913)

属性別に見ると、特に女性はウォーキングやレクリエーションなど老若男女が楽しめるイベントについて、参加意欲はあるものの参加に至っていない者の割合が、男性以上に高い状況にある。

図表 94 運動・スポーツの実施環境 (スポーツイベントへの参加意欲のギャップ) 【性別年齢別】

		マラソン大 会や競技 会など本格 的にスポー ツを楽しめ るイベント、 大会	ウォーキン グイベント やレクリエー ションドー スポーツ など スペント 若楽しめ、 イベ会 イベ会	学校の運 動会のスポー ツ大会は民 が交イベント るイベント 大会	社内運動会や会社 主催の大会 リング大員同 など社同業 者が交イイ会 できる大	スポーツの 指導、講 習が受けら れるイベン ト	くりをテーマ	体力テス ト、スポー ツテストなど	その他のス ポーツイベ ント、大会	スポーツイ ベント、大 会に参加し ていない	身の周りに どのようなスポーツイベ ント、大会 にがあって も参加した いとは思わ ない
市平均	匀	-2.7%	5.3%	0.9%	1.3%	3.9%	2.2%	4.5%	2.1%	-86.2%	75.6%
男性	20代	-9.4%	0.0%	7.5%	1.9%	3.8%	0.0%	1.9%	-3.8%	-66.0%	62.3%
男性	30代	-8.0%	2.0%	3.0%	3.0%	5.0%	3.0%	9.0%	6.0%	-80.0%	69.0%
男性	40代	-4.0%	-1.0%	1.0%	-1.0%	4.0%	-1.0%	2.0%	2.0%	-83.0%	80.0%
男性	50代	-5.0%	11.0%	0.0%	0.0%	5.0%	2.0%	3.0%	2.0%	-88.0%	71.0%
男性	60代	-3.0%	2.0%	3.0%	1.0%	3.0%	0.0%	6.0%	3.0%	-86.0%	80.0%
女性	20代	-2.0%	6.0%	2.0%	2.0%	1.0%	1.0%	4.0%	0.0%	-90.0%	78.0%
女性	30代	0.0%	6.0%	-3.0%	2.0%	7.0%	2.0%	3.0%	0.0%	-89.0%	78.0%
女性	40代	1.0%	9.0%	0.0%	2.0%	-1.0%	3.0%	7.0%	2.0%	-93.0%	80.0%
女性	50代	0.0%	10.0%	0.0%	1.0%	8.0%	5.0%	5.0%	3.0%	-93.0%	78.0%

図表 95 運動・スポーツの実施環境 (スポーツイベントへの参加意欲のギャップ) 【居住地域別】

	マラソン大 会や競技 会など本格 的にスポー ツを楽しめ るイベント、 大会	ション的な スポーツイ	学校の運 域のスポー ッ大殊住民 が交流でき るイベン 大会	社内運動会や会ができるイベ会では、 主催の大会には、 リング大会には、 など社同業者が交えイベ会にます。 できる大会には、 ないた、	指導、講	介護予防 など健康づ くりをテーマ としたイベン ト		その他のス ポーツイベ ント、大会		身の周りに どのようなスポーツイベ ント、大会 にがあって も参加した いとは思わ ない
市平均	-2.7%	5.3%	0.9%	1.3%	3.9%	2.2%	4.5%	2.1%	-86.2%	75.6%
A地区	0.0%	3.3%	-0.8%	0.8%	6.6%	3.3%	7.4%	1.6%	-86.1%	74.6%
B地区	-2.8%	7.6%	0.6%	1.4%	4.5%	1.7%	5.6%	1.7%	-87.0%	76.1%
C地区	-3.1%	-2.1%	2.1%	0.0%	3.1%	-1.0%	4.1%	1.0%	-85.6%	79.4%
D地区	-5.0%	8.3%	2.8%	3.2%	3.2%	2.8%	1.8%	3.2%	-84.4%	70.2%
E地区	-0.8%	0.8%	-0.8%	-0.8%	1.7%	4.1%	3.3%	2.5%	-87.6%	81.8%

※上記の図表 (スポーツイベントへの参加意欲のギャップ) に示した割合 (%) は、いずれも「身の回りにあれば参加したいスポーツイベント、大会」と回答した者の割合 (%) から「この1年間に参加したスポーツイベント、大会」と回答した者の割合 (%) を引いて算出している。

行政担当者を対象としたアンケート調査票の中では、自治体が提供している健康教室や運動プログラムの実施回数、利用人数について、地域別に聴取している。

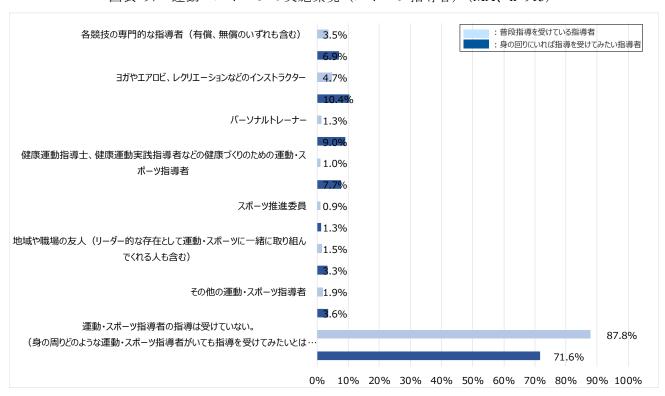
地域別に、自治体が提供している健康教室や運動プログラムの実施回数、利用人数ともに A 地区が多く、E 地区は少ない状況にある。

図表 96 自治体が提供している健康教室や運動プログラムの実施回数、利用人数

			実施[可数		利用者数計
全体			((6,540) 回	(218,083)人
(A) 地区	(124) 回	(2,982)人
(В) 地区	(83) 回	(2,172)人
(С) 地区	(83) 回	(2,480)人
(D) 地区	(64) 回	(2,996)人
(F)地区	(42) 回	(1,348)人

運動・スポーツの指導やサポートについては、回答者の約9割がスポーツ指導者の指導を受けたことがなく、約7割指導を受けたいという意欲も示していない状況にあるが、その差の2割弱は周囲に望ましい指導者がいれば指導を受けてみたいと回答している。

特にヨガやエアロビ、レクリエーションなどのインストラクター、パーソナルトレーナー、健康指導 士、健康運動実践者などの健康づくりのための運動・スポーツ指導者などに指導を受けてみたいという 意欲を示している者の割合が高い。



図表 97 運動・スポーツの実施環境 (スポーツ指導者) (MA、n=913)

属性別に見てみても、全般的に、ヨガやエアロビ、レクリエーションなどのインストラクター、パーソナルトレーナー、健康指導士、健康運動実践者などの健康づくりのための運動・スポーツ指導者などに、指導を受ける意欲はあるものの、指導を受けるには至っていない者の割合が高い状況にある。

特に女性は全世代でヨガやエアロビ、レクリエーションなどのインストラクター、パーソナルトレーナー、健康指導士、健康運動実践者などの健康づくりのための運動・スポーツ指導者などに指導を受ける意欲はあるものの、指導を受けるには至っていない者の割合が高い。一方で、居住地域ごとのばらつきはそれほど大きくない。

図表 98 運動・スポーツの実施環境 (スポーツ指導者による指導への意欲のギャップ) 【性別年齢別】

		各競技の 専門的な 指導者 (有償、 無償のいず れも含む)	ヨガやエアロ ビ、レクリ エーションな どのインスト ラクター	パーソナル トレーナー	健康運動 指導東土 動 実者などのの まめの運 ための運 か・ス導者	スポーツ推 進委員	地域や職場の友子の (リークを) いて運りにです (リークを) して運りに (リークを) して (リークを) はんでくれる (リークを) はんもも (リークを) はんしょう (リークを) はんしょんしょう (リークを) はんしょう (リークを) はんしょう (リークを) はんしょう (リークを) はんしょう (リークを) はんしょう (リーの	その他の運 動・スポー ツ指導者	運動・ス ポーツ指導 者の指導 は受けてい ない。	身の周りどのような運動・スポーツ指導者がいても指導を受けてみたいとは思わない。
		3.4%	5.7%	7.7%	6.7%	0.4%	1.8%	1.8%	-87.8%	71.6%
男性	20代	1.9%	7.5%	9.4%	1.9%	3.8%	0.0%	3.8%	-83.0%	67.9%
男性	30代	11.0%	-1.0%	7.0%	4.0%	0.0%	6.0%	3.0%	-90.0%	74.0%
男性	40代	-1.0%	2.0%	3.0%	2.0%	0.0%	0.0%	3.0%	-88.0%	80.0%
男性	50代	7.0%	3.0%	4.0%	6.0%	1.0%	1.0%	-1.0%	-93.0%	76.0%
男性	60代	1.0%	4.0%	1.0%	7.0%	-1.0%	-1.0%	1.0%	-91.0%	82.0%
女性	20代	2.0%	13.0%	12.0%	8.0%	0.0%	1.0%	5.0%	-86.0%	64.0%
女性	30代	1.0%	18.0%	9.0%	9.0%	0.0%	-1.0%	3.0%	-86.0%	63.0%
女性	40代	7.0%	5.0%	12.0%	7.0%	0.0%	2.0%	0.0%	-91.0%	77.0%
女性	50代	3.0%	3.0%	10.0%	10.0%	0.0%	2.0%	-1.0%	-83.0%	67.0%
女性	60代	-1.7%	1.7%	11.7%	11.7%	3.3%	10.0%	1.7%	-83.3%	58.3%

図表 99 運動・スポーツの実施環境 (スポーツ指導者による指導への意欲のギャップ) 【居住地域別】

	各競技の 専門的な 指導者 (有償、 無償のいず れも含む)	ヨガやエアロ ビ、レクリ エーションな どのインスト ラクター	パーソナル トレーナー	健康事動、動導とは はままなどのの をあいる。 はないのでは、 ないのでは、 はいのでは、	スポーツ推進委員	地域や職場の友子の (リークを) して運 ツに スポール (リークを) して運 ツに スポース (日本	その他の運 動・スポー ツ指導者	ボーツ指導 者の指導 は受けてい	身の周りどのような運動・スポーツ指導者がいても指導を受けてみたいとは思わない。
市平均	3.4%	5.7%	7.7%	6.7%	0.4%	1.8%	1.8%	-87.8%	71.6%
A地区	-0.8%	4.9%	4.1%	2.5%	0.8%	-1.6%	1.6%	-82.0%	74.6%
B地区	5.6%	6.8%	8.2%	5.6%	0.6%	2.5%	0.8%	-89.3%	71.5%
C地区	4.1%	-2.1%	10.3%	6.2%	0.0%	2.1%	3.1%	-87.6%	72.2%
D地区	2.3%	6.0%	10.1%	10.6%	0.5%	3.7%	2.3%	-87.6%	68.8%
E地区	2.5%	9.1%	3.3%	7.4%	0.0%	-0.8%	2.5%	-90.1%	73.6%

※上記の図表(スポーツ指導者からの指導への参加意欲のギャップ)に示した割合(%)は、いずれも「身の 回りにいれば指導を受けてみたい指導者」と回答した者の割合(%)から「普段指導を受けている指導者」と 回答した者の割合(%)を引いて算出している。 行政担当者を対象としたアンケート調査票の中では、自治体に居住するスポーツ指導者数について、 地域別に聴取している。

健康づくりのための運動・スポーツ指導者は全般的にニーズが高かったが、C 地区の健康運動指導士、健康運動実践指導者などの健康体力づくり事業財団の有資格者は他地域よりやや少ない状況にある。

	スポーツ推進委員	JSPO 有資格者※1	健体有資格者※2	日レク有資格者※3
全体	(200)人	()人	(159)人	(110)人
(A) 地区	(35)人	()人	(30)人	(6)人
(B) 地区	(36)人	()人	(40)人	(33)人
(C) 地区	(32)人	()人	(16)人	(20)人
(D) 地区	(48)人	()人	(39)人	(25)人
(E) 地区	(49)人	()人	(34)人	(26)人

図表 100 スポーツ指導者数 (居住者)

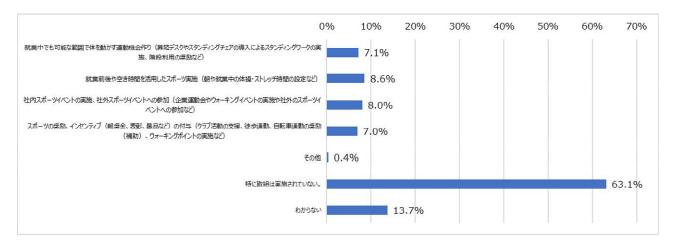
※JSPO (日本スポーツ協会) 有資格者には、スポーツ指導者基礎資格 (スポーツリーダー、コーチングアシスタント)、競技別指導者資格 (スタートコーチ、コーチ 1 (旧指導員)、コーチ 2 (旧上級指導員)、コーチ 3 (旧コーチ)、コーチ 4 (旧上級コーチ)、教師、上級教師)、フィットネス資格 (ジュニアスポーツ指導員、スポーツプログラマー、フィットネストレーナー)、メディカル・コンディショニング資格 (スポーツドクター、アスレティックトレーナー (JSPO - AT)、スポーツ栄養士、スポーツデンティスト)、マネジメント資格 (クラブマネジャー、アシスタントマネジャー)を含む。

※健体(健康体力づくり事業財団)有資格者には、健康運動指導士、健康運動実践指導者を含む。

※日レク(日本レクリエーション協会)有資格者には、レクリエーション・インストラクター、スポーツ・レクリエーション指導者、レクリエーション・コーディネーター、福祉レクリエーション・ワーカーを含む。

職場における従業員の運動・スポーツ実施を支援する取組については、職場でもなんらかの形で運動・スポーツを促している企業・団体が 2~3 割程度存在している。ただし、特に取組は実施されていないという回答は 6 割程度となっている。

図表 101 スポーツ指導者数 (居住者) 従業員の運動・スポーツ実施を支援するような取組 (MA、n=561)

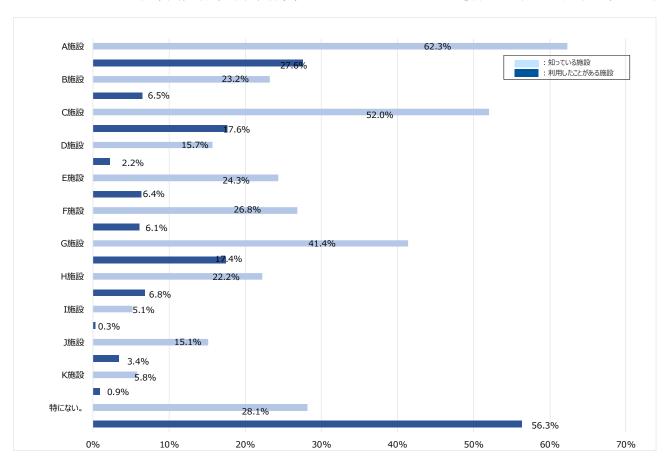


(5) 行政サービス

B自治体内のスポーツ施設の認知度や利用経験について、全体でみると回答者の約7割がB自治体内のスポーツ施設について、いずれかの施設は知っていると回答しているが、いずれかを利用したことがあると回答した者の割合は半数程度となっている。

利用したことがあると回答した者の割合が最も高かったのは A 施設で、C 施設と G 施設がそれに続いている。

図表 102 スポーツ指導者数 (居住者) 従業員の運動・スポーツ実施を支援するような取組 (MA、n=913)



性別年齢別に見ると、特に女の性 20 代~40 代はスポーツ施設を利用したことがないと回答した者の割合が高かった。また、20 代~30 代の男性と 50~60 代の女性は比較的利用したことがあると回答している者の割合が高い(利用したことがないと回答した者の割合が低い)。

図表 103 行政サービス (利用したスポーツ施設) 【性別年齢別】

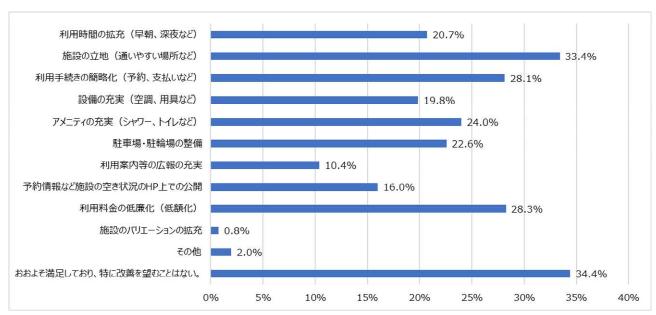
	A施設	B施設	C施設	D施設	E施設	F施設	G施設	H施設	I施設	J施設	K施設	特にない。
市平均	27.6%	6.5%	17.6%	2.2%	6.4%	6.1%	17.4%	6.8%	0.3%	3.4%	0.9%	56.3%
男性 20代	32.1%	13.2%	17.0%	1.9%	11.3%	11.3%	15.1%	11.3%	0.0%	3.8%	0.0%	52.8%
男性 30代	31.0%	11.0%	24.0%	2.0%	15.0%	9.0%	25.0%	12.0%	2.0%	6.0%	2.0%	48.0%
男性 40代	32.0%	5.0%	14.0%	4.0%	7.0%	8.0%	16.0%	12.0%	0.0%	4.0%	1.0%	55.0%
男性 50代	27.0%	4.0%	15.0%	1.0%	10.0%	6.0%	21.0%	4.0%	0.0%	4.0%	0.0%	58.0%
男性 60代	26.0%	8.0%	16.0%	1.0%	3.0%	4.0%	18.0%	6.0%	1.0%	4.0%	1.0%	58.0%
女性 20代	25.0%	5.0%	21.0%	3.0%	5.0%	5.0%	15.0%	6.0%	0.0%	2.0%	3.0%	63.0%
女性 30代	27.0%	4.0%	13.0%	0.0%	2.0%	3.0%	14.0%	3.0%	0.0%	1.0%	0.0%	61.0%
女性 40代	25.0%	3.0%	11.0%	3.0%	2.0%	5.0%	17.0%	2.0%	0.0%	3.0%	0.0%	61.0%
女性 50代	28.0%	8.0%	25.0%	2.0%	6.0%	5.0%	15.0%	9.0%	0.0%	4.0%	1.0%	52.0%
女性 60代	23.3%	6.7%	21.7%	5.0%	3.3%	8.3%	16.7%	3.3%	0.0%	1.7%	0.0%	50.0%
全体	27.6%	6.5%	17.6%	2.2%	6.4%	6.1%	17.4%	6.8%	0.3%	3.4%	0.9%	56.3%

居住地域別に見ると、スポーツ施設の利用実績が低かったのがC地区とA地区となっている。スポーツ施設を利用したことがないと回答したものがE制以上を占めており、スポーツ施設の利用面に課題を抱えている可能性が示唆される。

図表 104 行政サービス (利用したスポーツ施設) 【居住地域別】

	A施設	B施設	C施設	D施設	E施設	F施設	G施設	H施設	I施設	J施設	K施設	特にない。
市平均	27.6%	6.5%	17.6%	2.2%	6.4%	6.1%	17.4%	6.8%	0.3%	3.4%	0.9%	56.3%
A地区	27.9%	10.7%	15.6%	1.6%	7.4%	6.6%	15.6%	5.7%	0.0%	4.9%	0.8%	61.5%
B地区	25.6%	7.9%	14.6%	2.3%	6.8%	6.8%	18.0%	7.6%	0.3%	2.8%	1.7%	55.5%
C地区	20.6%	2.1%	19.6%	4.1%	5.2%	4.1%	14.4%	6.2%	0.0%	3.1%	1.0%	61.9%
D地区	29.4%	3.7%	23.4%	2.3%	5.5%	6.4%	17.4%	6.4%	0.0%	3.7%	0.0%	54.1%
E地区	35.5%	6.6%	16.5%	0.8%	6.6%	5.0%	19.8%	6.6%	1.7%	3.3%	0.0%	52.9%

公共のスポーツ施設に改善を望むことについては、回答者の 1/3 以上が「おおよそ満足しており、特に 改善を望むことはない」と回答している。一方で、改善を望むこととしては、「施設の立地」、「利用料金 の低廉化」、「利用手続きの簡略化」などが多く回答されている。



図表 105 行政サービス (スポーツ施設の改善点) (MA、n=913)

属性別に見ると、「利用料金の低廉化」、「施設の立地」ついては全般的に改善要望が強いが、性別年齢別に見てみると、特に女性は「施設の立地」、「利用手続きの簡略化」に関する改善の要望が強いようである。

図表 106 行政サービス (スポーツ施設の改善点) 【性別年齢別】

	利用時間 の拡充 (早朝、深 夜など)	施設の立 地(通い やすい場所 など)	利用手続 きの簡略 化(予 約、支払い など)	設備の充 実(空 調、用具な ど)	アメニティの 充実(シャ ワー、トイレ など)	駐車場・駐 輪場の整 備	利用案内 等の広報 の充実	予約情報 など施設の 空き状況 のHP上で の公開	利用料金 の低廉化 (低額 化)	施設のバリ エーションの 拡充	その他	おおよそ満 足してお り、特に改 善を望むこ とはない。
市平均	20.7%	33.4%	28.1%	19.8%	24.0%	22.6%	10.4%	16.0%	28.3%	0.8%	2.0%	34.4%
男性 20代	26.4%	26.4%	30.2%	20.8%	24.5%	13.2%	5.7%	11.3%	20.8%	1.9%	0.0%	35.8%
男性 30代	27.0%	29.0%	33.0%	25.0%	35.0%	31.0%	9.0%	23.0%	27.0%	0.0%	1.0%	33.0%
男性 40代	21.0%	23.0%	22.0%	19.0%	18.0%	22.0%	9.0%	10.0%	24.0%	0.0%	2.0%	44.0%
男性 50代	21.0%	25.0%	20.0%	16.0%	21.0%	27.0%	7.0%	10.0%	28.0%	0.0%	3.0%	40.0%
男性 60代	12.0%	22.0%	21.0%	15.0%	14.0%	19.0%	9.0%	11.0%	27.0%	1.0%	3.0%	40.0%
女性 20代	25.0%	38.0%	24.0%	11.0%	29.0%	12.0%	10.0%	14.0%	31.0%	1.0%	0.0%	37.0%
女性 30代	25.0%	42.0%	31.0%	24.0%	31.0%	23.0%	11.0%	18.0%	33.0%	2.0%	3.0%	30.0%
女性 40代	18.0%	39.0%	28.0%	18.0%	19.0%	19.0%	6.0%	16.0%	29.0%	0.0%	2.0%	32.0%
女性 50代	21.0%	47.0%	37.0%	26.0%	28.0%	29.0%	18.0%	27.0%	27.0%	2.0%	2.0%	25.0%
女性 60代	8.3%	43.3%	41.7%	26.7%	18.3%	28.3%	21.7%	18.3%	35.0%	0.0%	3.3%	23.3%

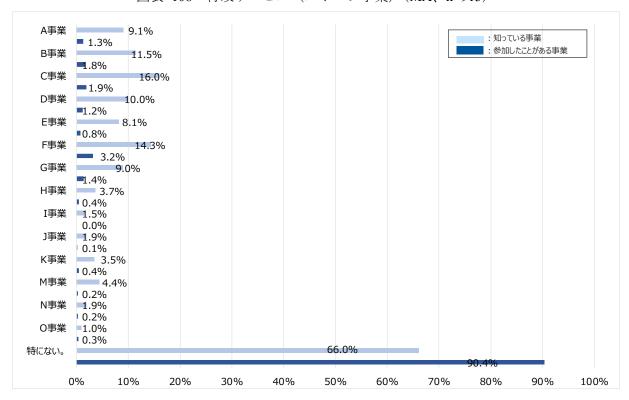
居住地域別にみると、「施設の立地」については A 地区、B 地区、D 地区などの改善要望が強く、「利用料金の低廉化」は北部地区の改善要望が強い。中部地区は全般的に施設面での改善の要望はそれほど強くない。

図表 107 行政サービス (スポーツ施設の改善点) 【居住地域別】

	利用時間 の拡充 (早朝、深 夜など)	施設の立 地 (通い やすい場所 など)	利用手続 きの簡略 化(予 約、支払い など)	設備の充 実(空 調、用具な ど)	アメニティの 充実(シャ ワー、トイレ など)	駐車場・駐 輪場の整 備	利用案内 等の広報 の充実	予約情報 など施設の 空き状況 のHP上で の公開	利用料金 の低廉化 (低額 化)	施設のバリ エーションの 拡充	その他	おおよそ満 足してお り、特に改 善を望むこ とはない。
市平均	20.7%	33.4%	28.1%	19.8%	24.0%	22.6%	10.4%	16.0%	28.3%	0.8%	2.0%	34.4%
A地区	23.0%	36.9%	29.5%	17.2%	30.3%	24.6%	13.9%	20.5%	24.6%	0.8%	1.6%	31.1%
B地区	18.9%	34.1%	29.3%	21.1%	23.1%	23.7%	11.3%	17.7%	29.9%	0.8%	1.7%	35.5%
C地区	19.6%	22.7%	17.5%	10.3%	16.5%	14.4%	8.2%	1.0%	18.6%	0.0%	1.0%	48.5%
D地区	22.0%	38.1%	30.7%	24.8%	24.8%	24.8%	10.6%	16.5%	29.4%	0.9%	1.4%	28.9%
E地区	22.3%	28.1%	27.3%	17.4%	24.8%	19.8%	5.8%	17.4%	33.1%	0.8%	5.0%	33.1%

B自治体内におけるスポーツ事業の認知度や利用経験について、全体でみると回答者の約 1/3 が船橋市のスポーツ事業のいずれかについては知っていると回答しているが、いずれかに参加したことがあると回答した者の割合は約1割にとどまっている。

参加したことがある回答した者の割合が最も高かったのは事業 F で、事業 C と事業 B がそれに続いている。



図表 108 行政サービス (スポーツ事業) (MA、n=913)

性別年齢別に見てみると、男性(特に 20 代 \sim 30 代)の方が何らかの事業に参加したことがあると回答している者の割合が高い(参加したことがないと回答した者の割合が低い)。最も参加した者の割合が高かった事業 F は、特に 60 代の参加割合が高い。

図表 109 行政サービス (参加したスポーツ事業) 【性別年齢別】

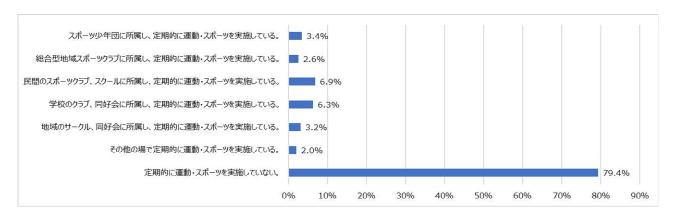
	A事業	B事業	C事業	D事業	E事業	F事業	G事業	H事業	I事業	J事業	K事業	L事業	M事業	N事業	O事業	特にない。
市平均	1.3%	1.8%	1.9%	1.2%	0.8%	3.2%	1.4%	0.4%	0.0%	0.1%	0.4%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	90.4%
男性 20代	7.5%	1.9%	5.7%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.0%
男性 30代	3.0%	1.0%	4.0%	2.0%	2.0%	5.0%	2.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.0%
男性 40代	1.0%	4.0%	3.0%	2.0%	2.0%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88.0%
男性 50代	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	96.0%
男性 60代	0.0%	2.0%	3.0%	2.0%	0.0%	6.0%	4.0%	1.0%	0.0%	1.0%	3.0%	2.0%	2.0%	1.0%	1.0%	85.0%
女性 20代	2.0%	3.0%	0.0%	1.0%	2.0%	2.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	93.0%
女性 30代	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	5.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	90.0%
女性 40代	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.0%
女性 50代	0.0%	1.0%	2.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	94.0%
女性 60代	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.0%

図表 110 行政サービス (参加したスポーツ事業) 【居住地域別】

	A事業	B事業	C事業	D事業	E事業	F事業	G事業	H事業	I事業	J事業	K事業	L事業	M事業	N事業	O事業	特にない。
市平均	1.3%	1.8%	1.9%	1.2%	0.8%	3.2%	1.4%	0.4%	0.0%	0.1%	0.4%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	90.4%
A地区	4.1%	0.8%	0.8%	0.8%	0.0%	2.5%	0.8%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	91.0%
B地区	0.3%	2.0%	1.4%	0.8%	1.4%	2.5%	1.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	91.8%
C地区	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	5.2%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.7%
D地区	1.8%	1.8%	3.7%	1.4%	0.9%	3.7%	1.8%	0.0%	0.0%	0.5%	0.9%	0.9%	0.9%	0.5%	0.9%	87.2%
E地区	0.8%	2.5%	1.7%	2.5%	0.0%	3.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.9%

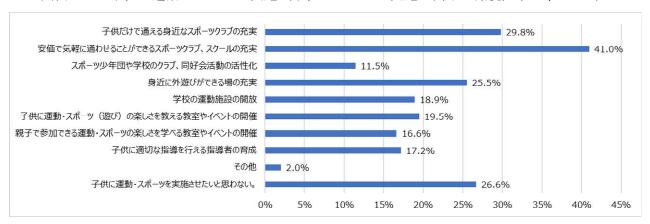
(6) 子供の運動・スポーツ実施

小学生以下の子供と同居している者の中で、子供が定期的に運動・スポーツを実施していない者が約8割を占めている。



図表 111 子供の運動・スポーツ実施 (子供のスポーツ実施状況) (MA、n=349)

子供の運動・スポーツ実施を促すための環境としては、「安価で気軽に通わせることができるスポーツクラブ、スクールの充実」、「子供だけで通える身近なスポーツクラブの充実」、「身近に外遊びができる場の充実」などがあげられている。



図表 112 子供の運動・スポーツ実施(子供のスポーツ実施に向けた環境)(MA、n=349)

行政担当者を対象としたアンケート調査票の中では、子供の運動・スポーツ実施状況に関する情報として、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点や児童公園数、総合型地域スポーツクラブや少年団に所属している児童・生徒数について、地域別に聴取している。

B自治体では、児童公園数や、総合型地域スポーツクラブ、少年団の活動状況に若干の地域差が存在 しているようである。

図表 113 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点

	小学校 男子	小学校 女子	中学校 男子	中学校 女子
全体	(46.2)点	(47.3)点	(41.0)点	(49.0)点
(A)地	区 (46.2)点	(47.0)点	(40.0)点	(48.3)点
(B)地	区 (46.2)点	(46.0)点	(42.3)点	(49.7)点
(C)地	区 (45.5)点	(47.2)点	(40.3)点	(50.3)点
(D)地	区 (45.5)点	(45.7)点	(41.0)点	(50.0)点
(E)地	区 (46.2)点	(48.0)点	(40.3)点	(50.0)点

図表 114 児童公園数

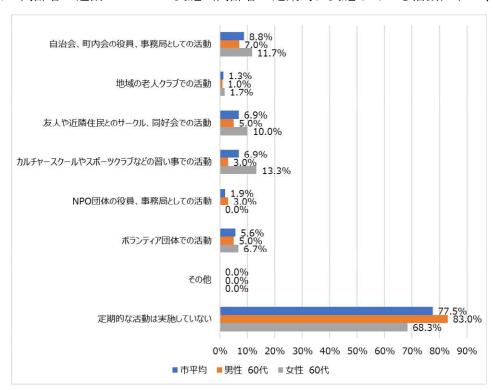
			児童公園数
	全位	本	(574)施設
(A)地区	(71)施設
(В)地区	(131)施設
(С)地区	(72)施設
(D)地区	(145)施設
(Е)地区	(155)施設

図表 115 小中学校の児童・生徒数、その中で総合型地域スポーツクラブや少年団に 所属している児童・生徒数

	小学生	少年団に 属する小学生	総合型クラブに 属する小学生	中学生	少年団に 属する中学生	総合型クラブに 属する中学生
全体	(33,931) 人	(527) 人	(331) 人	(14,916) 人	(47) 人	(32) 人
(A) 地区	(6,968) 人	(25) 人	()人	(2,351) 人	(3) 人	()人
(B) 地区	(7,563) 人	(156) 人	()人	(3,409) 人	(5) 人	() 人
(C) 地区	(4,269) 人	(1) 人	()人	(2,800) 人	(2) 人	()人
(D) 地区	(9,176) 人	(253) 人	(10) 人	(4,117) 人	(26) 人	(0) 人
(E) 地区	(5,955) 人	(92) 人	(321) 人	(2,239) 人	(11) 人	(32) 人

(7) 高齢者の運動・スポーツ実施

定期的な活動は実施していない高齢者が全体の8割弱を占めており、特に男性の方がその割合が高い。 全般的に女性の方が定期的に活動を実施しており、カルチャースクールやスポーツクラブなどの習い 事での活動、自治会、町内会の役員、事務局としての活動、友人や近隣住民とのサークル、同好会での 活動などを実施している者の割合が高い。



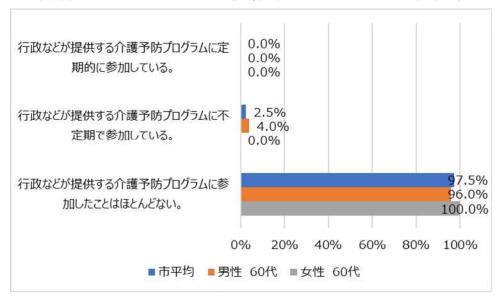
図表 116 高齢者の運動・スポーツ実施(高齢者の定期的に実施している活動)(MA、n=160)

図表 117 高齢者の運動・スポーツ実施(高齢者の定期的に実施している活動)【居住地域別】

	自治会、町 内会の役 員、事務局 としての活 動	地域の老 人クラブで の活動	友人や近 隣住民との サークル、 同好会で の活動		の役員、事務局として	ボランティア 団体での 活動	その他	定期的な 活動は実 施していな い
市平均	8.8%	1.3%	6.9%	6.9%	1.9%	5.6%	0.0%	77.5%
A地区	9.5%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	76.2%
B地区	7.0%	1.4%	2.8%	1.4%	1.4%	2.8%	0.0%	85.9%
C地区	5.6%	5.6%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	61.1%
D地区	13.2%	0.0%	2.6%	7.9%	2.6%	7.9%	0.0%	76.3%
E地区	8.3%	0.0%	33.3%	0.0%	8.3%	33.3%	0.0%	58.3%

行政などが提供する介護予防事業については、プログラムに参加したことがかないと回答した者が約 98%を占めるという結果となった。

図表 118 高齢者の運動・スポーツ実施(介護予防プログラムへの参加)(SA、n=160)



行政担当者を対象としたアンケート調査票の中では、高齢者や障がい者のスポーツ実施に関する情報として、介護予防教室(プログラム)数や障がい者が利用可能なスポーツ施設、指導者数について、地域別に聴取している。下図表のような状況となっている。

図表 119 自治体が提供している介護予防のための教室数 (プログラム数)、利用人数

	実施回数	利用者数計		
全体	(7,005) 回	(221,426)人		
(A) 地区	(743) 回	(6,089)人		
(B)地区	(440) 回	(7,431)人		
(C)地区	(1,254) 回	(70,798)人		
(D)地区	(3,004) 回	(83,839)人		
(E)地区	(1,564) 回	(53,269)人		

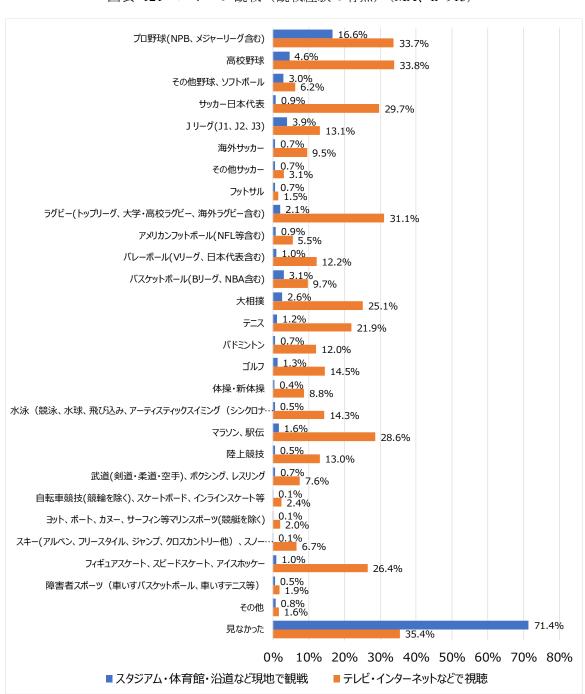
図表 120 障がい者が利用可能なスポーツ施設数、障がい者スポーツ指導員数

			スポ	ーツ	が施設数	指導員数
全体			(12)施設	(78)人
(A)地区	(2)施設	(11)人
(В)地区	(2)施設	(19)人
(С)地区	(3)施設	(10)人
(D)地区	(4)施設	(1)人
(Е)地区	(2)施設	(17)人

(8) スポーツ観戦

この1年間のスポーツ観戦の状況としては、現地観戦したスポーツとしてはプロ野球、高校野球、J リーグの順で多かった。一方で見なかったと回答した者も7割強を占めている。

テレビ・インターネットでの視聴についてはJリーグ、プロ野球、高校野球に加えて、サッカー日本代表やラグビー、マラソン、駅伝などが多くを占めている。テレビ・インターネットで視聴しなかったと回答している者の割合は3~4割となっている。

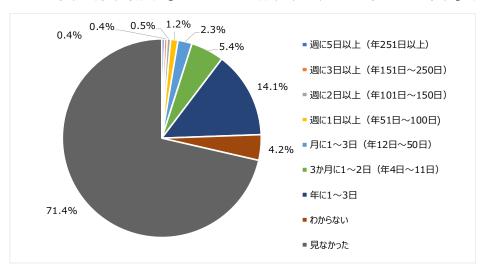


図表 121 スポーツ観戦 (観戦経験の有無) (MA、n=913)

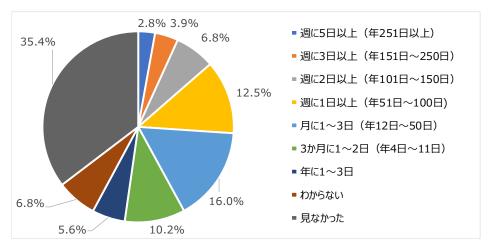
スポーツ観戦の頻度については、スタジアム・体育館・沿道などでの観戦は、年に1日以上と回答している者の割合は2割強となっており、週に1日以上と回答している者の割合は2%強となっている。 テレビ・インターネットでの視聴については、年に1日以上と回答している者の割合は6割以上を占

図表 122 スポーツ観戦 (観戦頻度) 【スタジアム・体育館・沿道など現地での観戦】(SA、n=913)

めており、週に1日以上と回答している者の割合も2~3割を占めている。

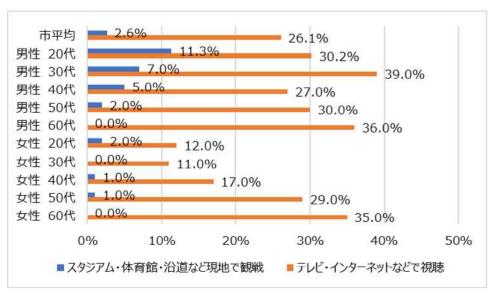


図表 123 スポーツ観戦 (観戦頻度) 【テレビ・インターネットなどでの視聴】(SA、n=913)

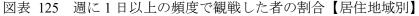


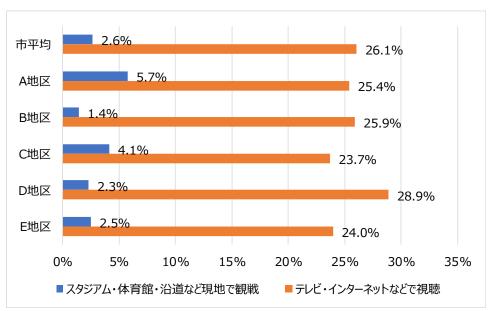
性別年齢別にみると、テレビ・インターネットでの視聴については、男性の方が週に1日以上の頻度で観戦した者の割合が高く、女性は中高年齢層ほど観戦の頻度も高かった。

スタジアム・体育館・沿道などでの観戦も男性の方が、観戦頻度が高く、特に若年層の観戦頻度が高かった。



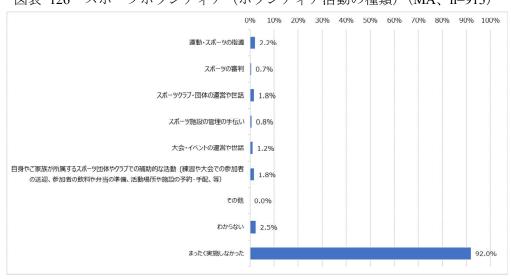
図表 124 週に1日以上の頻度で観戦した者の割合【性別年齢別】





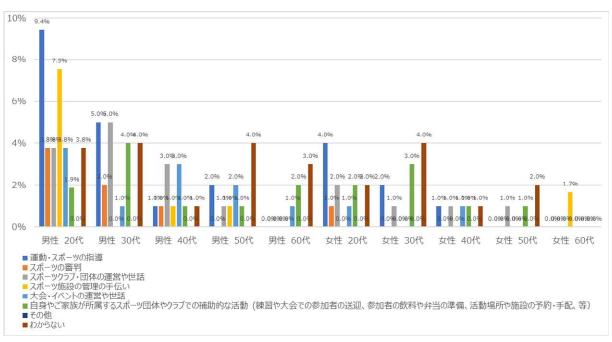
(9) スポーツボランティア

運動・スポーツに関するボランティア活動については、全く実施しなかったと回答したものが約9割を占めている。実施されたものとしては、運動・スポーツの指導、スポーツクラブ・団体の運営や世話、自身やご家族が所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動(練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備、活動場所や施設の予約・手配、等)が多い。



図表 126 スポーツボランティア (ボランティア活動の種類) (MA、n=913)

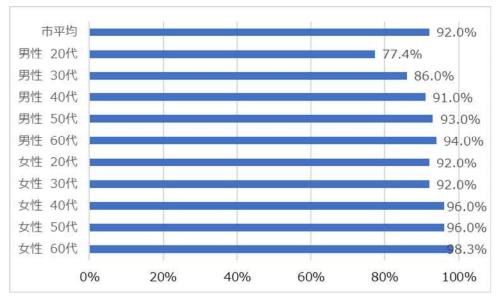
性別年齢別に見ると、若年層の男性は、運動・スポーツの指導やスポーツ施設の管理の手伝いの実施 割合が高い。



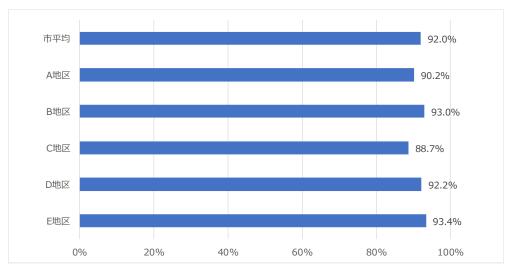
図表 127 スポーツボランティア (ボランティア活動の種類)【性別年齢別】

全く実施しなかったと回答した者については、性別年齢別にみると女性の方が高く、特に中高年齢層ほど高くなっている。

図表 128 スポーツボランティア (ボランティア活動の種類) 全く実施しなかったと回答した者の割合【性別年齢別】

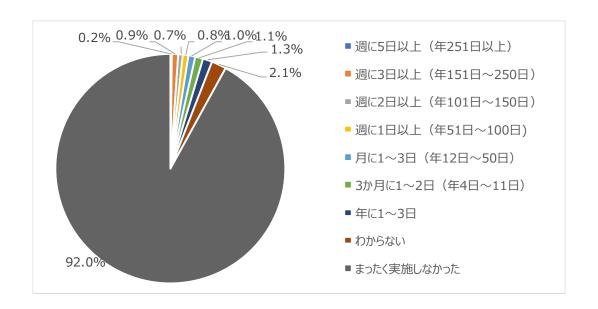


図表 129 スポーツボランティア (ボランティア活動の種類) 全く実施しなかったと回答した者の割合【居住地域別】



スポーツに関するボランティア活動について、年に1回以上と回答した者の割合が6%であり、週に1日以上と回答した高頻度の実施者は $2\sim3\%$ となっている。

図表 130 スポーツボランティア (ボランティア活動の頻度) (SA、n=913)



4. モデル調査から得られた示唆

上記のモデル調査では、各調査項目について、性別年齢別、および居住地域別の傾向について分析 を実施した。

モデル調査対象となった2自治体ともに、女性の若年層のスポーツ実施率が低いことが課題の一つとなっている状況が見受けられたが、地域のスポーツ団体や、スポーツイベント、スポーツ指導者などの利用可能性などが、そういった層のスポーツ実施率に影響を与えている可能性などが示唆された。スポーツの実施状況(スポーツ実施率など)と、スポーツ実施率に影響を与えると考えられる要因を属性別に詳細に分析することにより、特にスポーツ実施率が低い層に効果的にアプローチすることが可能となり、自治体におけるスポーツ推進に向けた施策の策定や環境整備等に寄与することが可能であると思料する。

また、本モデル調査においては、スポーツ実施状況等の把握に当たっては、スポーツ庁の実施している世論調査との比較分析が可能なように、基本的には世論調査の調査項目に準拠させている。世論調査に示されている日本全体のスポーツ実施率との比較分析により、当該自治体のスポーツ実施状況の特徴や課題を明確化することが可能になる。なお、今回は2自治体のみのモデル調査であるため、自治体間の比較はあまり意味をなさないが、今後同じ調査項目を用いて多数の自治体が調査を実施するようになれば、地勢、人口規模が類似した自治体との比較分析により、当該自治体の課題をより詳細に分析することも可能になると思料する。

加えて、今回はモデル調査ということもあり、サンプル数が限られていることには留意する必要があるが、居住地域別の傾向を分析することにより、同一自治体内であっても居住地域によって、スポーツの実施状況に違いがあることが明らかになった。特に A 自治体の調査結果からは、比較的人口が少なく、市街地から離れたエリアではスポーツ実施率が低く、近隣にスポーツをする場(スポーツ施設やスポーツ団体)が限られていることがスポーツ実施率に影響している可能性が示唆された。自治体におけるスポーツ推進に向けた施策の策定や環境整備等を検討していく際には、地域単位ごとの視点も持ちながら、基礎データの収集、分析、施策の検討を進めていくことが必要になると思料する。

モデル調査の実施に当たっては、地域住民を対象としたアンケート調査に加えて、対象自治体の担当者に、行政担当者を対象としたアンケート調査票にもご回答いただいている。自治体によっては回答が難しい項目が含まれているという指摘もなされたが、可能な範囲で収集し、分析に活用していただきたいという意図で、回答が難しい項目についてもそのまま調査票に残している。

これらの調査項目の中には、スポーツ推進部局では回答が難しく、保健福祉・介護予防部局等とも 連携しながら把握することが必要な項目が多数含まれている。スポーツ推進に関わる様々な部局に連 携していただきながら、継続的にデータの蓄積を図り、スポーツ関連の施策、環境整備が住民のスポ ーツ実施にどのような影響を与え、スポーツ実施率の改善が地域住民の健康増進や介護予防等にどの ように寄与したかを分析していただきたいと思料する(モデル調査ということで、経年の分析結果を お示しすることはできなかった。)。

第4章 本事業の成果と課題

本事業では、地方自治体がスポーツ推進に向けた課題の抽出・分析に取り組むために活用可能な、 地域住民の運動・スポーツ参加に関する特徴及び課題を把握するためのアンケート調査票を作成し、 モデル調査を通じて調査票の検証と分析イメージの作成を実施した。2自治体へのモデル調査の調査結 果概要に示したように、本調査票を活用することにより、当該自治体のスポーツ推進に向けた課題に ついて、分析をすることが可能である。

上記の通り、本調査票は世論調査の調査項目と揃えることで、まずは日本全体の傾向と比較分析が可能なようにしているが、地勢、人口規模が類似した自治体との比較分析が可能になれば、当該自治体の課題をより詳細に分析することが可能になる。つまり、本調査票を活用して調査、分析を実施する自治体が増えれば、活用可能性がさらに高まるものとなる。本調査票が多数の自治体に活用されることを期待したい。

なお、本調査票(特に行政担当者を対象としたアンケート調査票)の中には、経年でデータを収集 し、分析してもらうことを意図している項目も含まれている。これらのデータについては、単年のモ デル調査の中では十分に活用できていないため、今後経年で活用していただく中で、データのとり方 や分析方法について改善が図られることを期待した。

また、本調査票はそのまま使っていただき、モデル調査のような形で分析していただくことで、自 治体のスポーツ推進に向けた課題が明らかなるように作成しているが、もちろん一部のみを活用して いただき、自治体ごとにカスタマイズして活用していただくことも可能である。自治体の方々に活用 していただく中で、さらなる改善が図られることも期待したい。

2019 年度スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト・ ビジネスパーソン向け国民運動 (地方自治体におけるスポーツ実施率向上のための基盤構築) 事業報告書

> 令和2年3月 株式会社日本総合研究所